

資料3-1

加須市

健康・医療・スポーツ

推進計画（素案）

- 加須市健康づくり推進計画
- 加須市食育推進計画
- 加須市歯と口の健康づくり基本計画
- 加須市地域医療ビジョン
- 加須市スポーツ・レクリエーション推進計画

地域の医療体制を確保し
市民一人ひとりが「いきいき」と健康で
スポーツを通じて「はつらつ」と元気で
笑顔に暮らし続けることができるまち 加須

令和8年3月

加須市

目次（素案）

第1編 総 論.....	1
第1章 計画策定に当たって	3
第1節 計画の背景と趣旨	3
第2節 計画の位置付け、期間	4
第3節 S D G s の推進	6
第2章 加須市における現状と課題	7
第1節 統計から見る現状	7
第2節 前計画の達成状況	37
第3節 市民アンケート調査の結果	48
第4節 本市の現状を踏まえた課題	79
第3章 計画の基本的な考え方	82
第1節 計画の基本理念	82
第2節 計画の目標	83
第3節 計画の体系	85
第4節 S D G s における17の目標と本計画の基本目標の対応.....	87
第2編 各 論.....	89
第1章 健康づくり推進の取組 【加須市健康づくり推進計画】	91
基本目標1 病気の予防	91
基本目標2 スポーツを通じた健康づくりの推進（身体活動・運動）.....	98
基本目標3 休養・こころの健康推進	100
基本目標4 飲酒・喫煙対策の推進	104
基本目標5 感染症対策の迅速・適切な実施.....	107
第2章 食育推進の取組 【加須市食育推進計画】	108
基本目標1 食育の推進	108
第3章 歯・口腔の健康推進の取組 【加須市歯と口の健康づくり基本計画】	115
基本目標1 歯・口腔の健康推進	115
第4章 地域医療体制確保の取組 【加須市地域医療ビジョン】	120
基本目標1 地域医療体制の確保	120
第5章 スポーツ推進の取組 【加須市スポーツ・レクリエーション推進計画】	142
基本目標1 スポーツを通じた健康づくりの推進.....	142
基本目標2 誰もが多様なスポーツに参加できる機会の創出.....	148
基本目標3 スポーツ環境の整備	153
第3編 計画の推進・評価体制.....	157
第1章 計画の推進・評価体制	159

資料編.....	161
1. 加須市健康・医療・スポーツ推進計画策定の経過.....	163
2. 加須市健康づくり推進委員会設置要綱.....	164
3. 加須市健康づくり推進委員会委員名簿.....	166
4. 加須市医療連携推進会議設置要綱	167
5. 加須市医療連携推進会議委員名簿	168
6. 加須市スポーツ推進審議会条例	169
7. 加須市スポーツ推進審議会委員名簿.....	171

第1編 総論

第1章 計画策定に当たって	3
第1節 計画の背景と趣旨	3
第2節 計画の位置付け、期間	4
第3節 SDGs の推進	6
第2章 加須市における現状と課題	7
第1節 統計から見る現状	7
第2節 前計画の達成状況	37
第3節 市民アンケート調査の結果	48
第4節 本市の現状を踏まえた課題	79
第3章 計画の基本的な考え方	82
第1節 計画の基本理念	82
第2節 計画の目標	83
第3節 計画の体系	85
第4節 SDGs における17の目標と本計画の基本目標の対応	87

第1章 計画策定に当たって

第1節 計画の背景と趣旨

幸せな暮らしの原点は、生涯を通じて心身ともに健やかであることであり、その実現には市民の健康づくりと医療体制の整備が重要です。また、日常生活においてスポーツに親しむ人を増やす取組は、健康づくりを進めるとともに、スポーツの「楽しさ」、「喜び」を通じて豊かな人生を送ることができる人を増やすことであり、市民がより幸せで豊かな生活を送る上で重要な取組です。

我が国の健康づくりの状況を見ると、日本人の平均寿命は、生活環境の改善や医学の進歩により伸び続け、世界有数の長寿国になっています。しかし、高齢化やライフスタイルの変化により、生活習慣病の発症と重症化予防が課題となっています。

このような状況の中、国では令和6年度から「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」「個人の行動と健康状態の改善」等を健康増進の推進に関する基本的な方向として掲げた「健康日本21（第三次）」を策定し、「誰一人取り残さない健康づくり」と「より実効性をもつ取組」を重点に置き、国民の健康づくりを推進しています。

県では、令和6年度に、埼玉県健康長寿計画、埼玉県食育推進計画、埼玉県歯科口腔保健推進計画、地域医療構想等を組み込んだ「第8次埼玉県地域保健医療計画」を策定しました。

一方、我が国のスポーツ推進の状況を見ると、平成23年6月に、スポーツを通じてすべての人々が、幸福で豊かな生活を営むことができる社会づくりを目標とする、スポーツ基本法が制定され、また、令和4年3月に策定された第3期スポーツ基本計画のもと、スポーツ実施率の向上や女性活躍推進に関する政策、障がい者スポーツや学校体育・運動部活動に関する政策などが進められています。

また、県でも令和5年3月に「第3期埼玉県スポーツ推進計画」を策定し、障がいの有無や年齢、性別、国籍に関わらず、誰もがスポーツを身近に楽しむことができる環境づくりを進めています。

本市においては、平成24年3月に、市民の健康全体を捉える視点から「加須市健康づくり推進計画」を策定し、いきいきと健康で安心して暮らせるよう市民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進を図ってきました。一方、同月、「加須市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツを通じて、はつらつと輝けるようスポーツの振興を図ってきました。

さらに、本市では、令和6年度、健康づくりとスポーツを一体的に推進することにより、誰もがいつまでも自分らしく元気に暮らすことができるよう健康スポーツ部を設置しました。

本計画は、令和7年度が最終年度である「第3次加須市健康づくり推進計画（食育推進計画含む）」「第2次加須市歯と口の健康づくり基本計画」「加須市地域医療ビジョン」「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」を一体化し、“地域の医療体制を確保し 市民一人ひとりが「いきいき」と健康でスポーツを通じて「はつらつ」と元気で 笑顔に暮らし続けることができるまち 加須”を基本理念に、第2次加須市総合振興計画と整合性を図りつつ、他部門計画と連携を図り、令和8年度を初年度とする「加須市健康・医療・スポーツ推進計画（以下「本計画」という。）」として策定するものです。

第2節 計画の位置付け、期間

(1) 計画の位置付け

本計画は、第2次加須市総合振興計画（令和3年度～令和12年度）を上位計画とし、健康スポーツ部を設置したことや密接に関わる各計画の取り組みの相乗効果と推進力を高めるため、「加須市健康づくり推進計画」「加須市食育推進計画」「加須市歯と口の健康づくり基本計画」「加須市地域医療ビジョン」「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」を一体的に策定するものです。

また、本計画は、国、県の各計画との整合を図るとともに本市の各種関連計画と関連しながら推進します。

■ 国の関連計画

健康日本21（第三次）（健康増進計画：令和6年度～令和17年度）

第4次食育推進基本計画（食育推進計画：令和3年度～令和7年度）

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第二次）（令和6年度～令和17年度）

第3期スポーツ基本計画（令和4年度～令和8年度）

■ 県の関連計画

埼玉県地域保健医療計画（第8次）（令和6年度～令和11年度）

（医療計画、健康長寿計画、食育推進計画、歯科口腔保健推進計画）

埼玉県スポーツ推進計画（令和5年度～令和9年度）

■ 主な市の関連計画

加須市こども・若者・子育て支援計画

地域ささえあいプラン（加須市地域福祉計画（第3次）・地域福祉活動計画（第2次））

加須市障害者計画及び障害福祉計画（第7期）・加須市障害児福祉計画（第3期）

加須市高齢者支援計画（高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画・認知症施策推進計画）

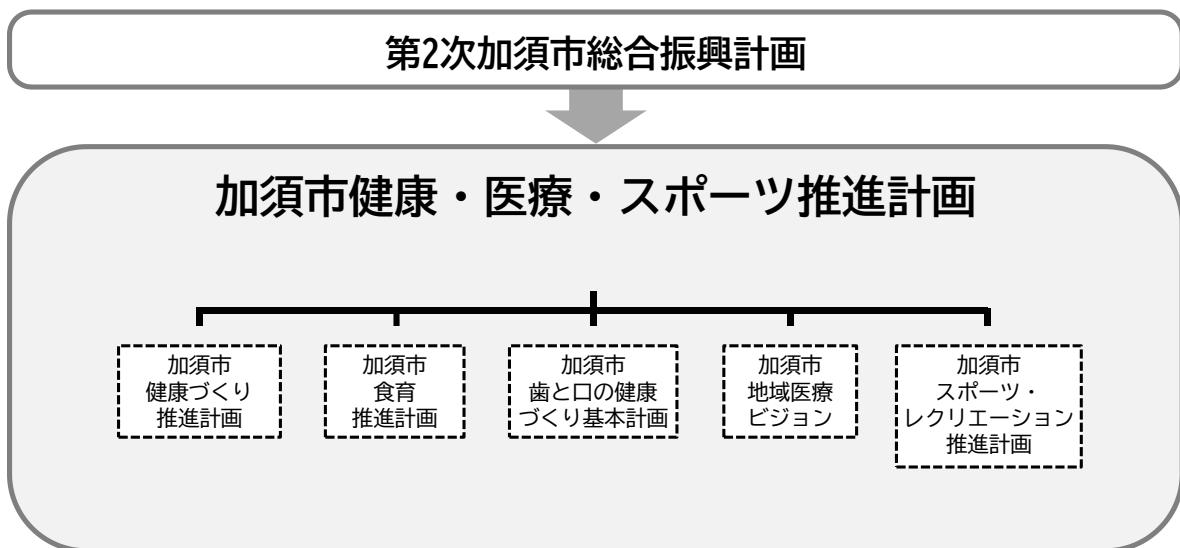
加須市国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画

加須市自殺対策計画

加須市新型インフルエンザ等対策行動計画

【市の各計画の定義について】

- 「加須市健康づくり推進計画」：健康増進法第8条第2項に基づく市町村健康増進計画
- 「加須市食育推進計画」：食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画
- 「加須市歯と口の健康づくり基本計画」：加須市歯と口の健康づくり条例第10条に基づく計画
- 「加須市地域医療ビジョン」：埼玉県地域保健医療計画（第8次）と整合を図り策定される計画
- 「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」：スポーツ基本法第10条第1項に定める地方スポーツ推進計画



(2) 計画の期間

本計画は、令和8年度を初年度とし、令和12年度を目標年度とする5か年計画を計画期間とします。なお、法制度の改正や社会情勢の変化等により見直しが必要な場合は、適宜対応することとします。

年 度 計画名	令和 3年度 (2021)	令和 4年度 (2022)	令和 5年度 (2023)	令和 6年度 (2024)	令和 7年度 (2025)	令和 8年度 (2026)	令和 9年度 (2027)	令和 10年度 (2028)	令和 11年度 (2029)	令和 12年度 (2030)
第2次加須市総合振興計画 基本構想	(令和3年度～令和12年度)									
第2次加須市総合振興計画 基本計画	前期基本計画 (令和3年度～令和7年度)					後期基本計画 (令和8年度～令和12年度)				
加須市 健康・医療・ スポーツ 推進計画	第3次加須市健康づくり推進計画(食育推進計画含む) (令和3年度～令和7年度)					(令和8年度～令和12年度) ○加須市健康づくり推進計画 ○加須市食育推進計画 ○加須市歯と口の健康づくり基本計画 ○加須市地域医療ビジョン ○加須市スポーツ・レクリエーション 推進計画				

第3節 SDGsの推進

SDGs（エス・ディー・ジーズ<Sustainable Development Goals>）とは、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて掲げられた、2016年から2030年までの国際目標です。

発展途上国だけでなく、先進国も含めたすべての国々、人々を対象としており、「誰一人として取り残さない」を基本理念に、環境・経済・社会の諸課題を統合的に解決し持続可能な世界を実現するため、17の目標が掲げられています。

国が示す「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針（令和5年12月）」では、地方自治体には様々な計画にSDGsの要素を反映することなどが期待されています。

この計画を推進していくに当たり、関連する項目を位置付け、意識的に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第2章 加須市における現状と課題

第1節 統計から見る現状

1. 加須市全体の状況

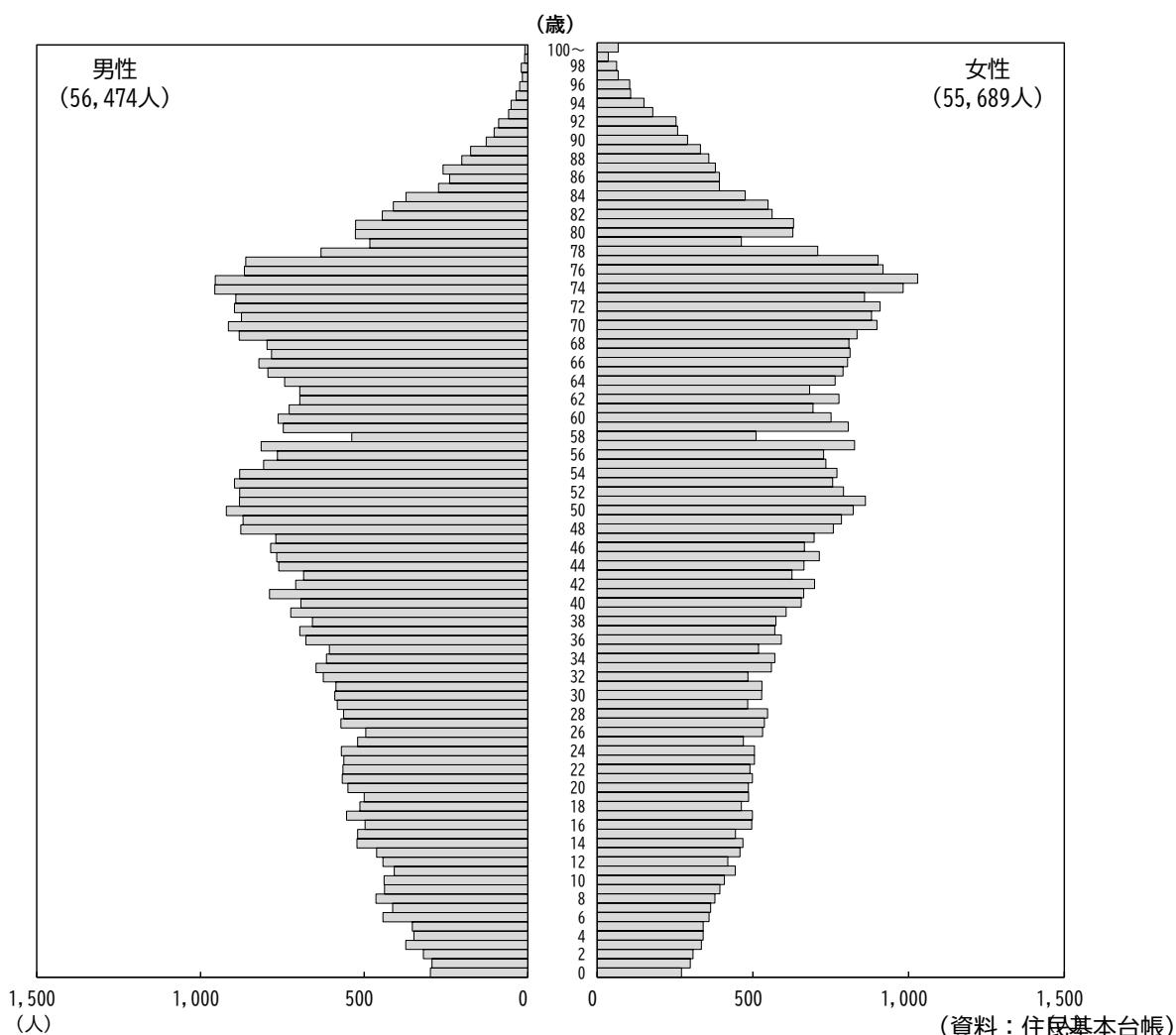
1 人口・世帯の動向

(1) 人口ピラミッド

本市の令和7年4月の人口ピラミッドを見ると、男女とも年少人口が少なく、高齢者人口が多くなっています。

なお、令和7年には、昭和22年～24年生まれの「団塊の世代（戦後の第一次ベビーブーム世代）」がすべて75歳以上となり、75歳以上の人口が全人口の約18%となり、令和22年には65歳以上の人口が全人口の約35%となると推計されています。

人口ピラミッド（令和7年4月1日現在）



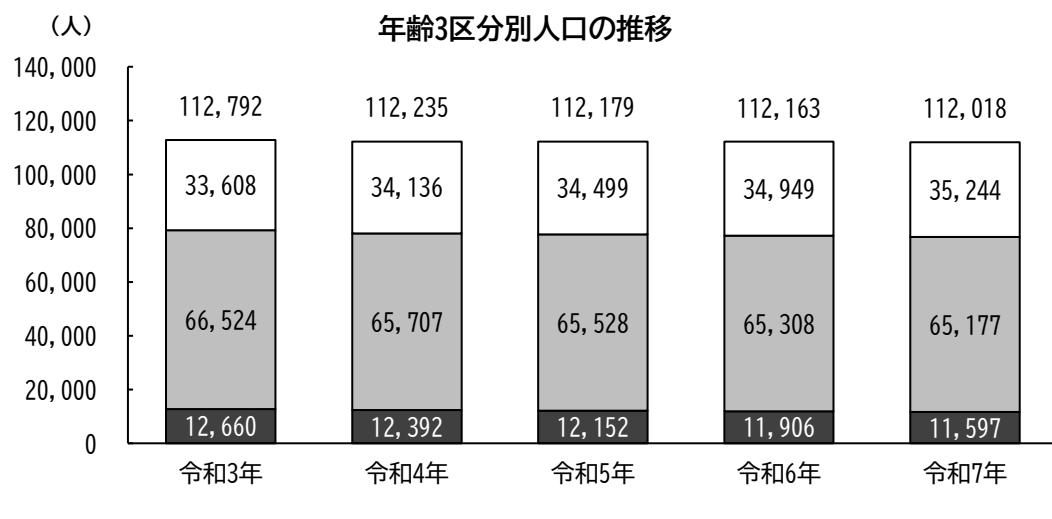
(2) 人口の動態

①人口の推移

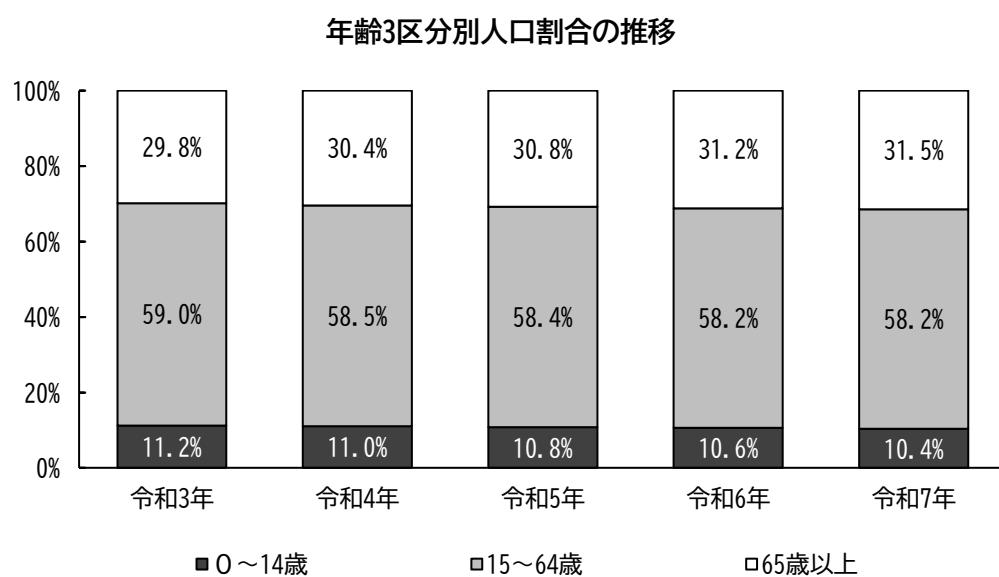
本市の総人口は、年々減少しており、令和7年では112,018人と、令和3年に比べ774人の減少となっています。

年齢3区分別人口の推移を見ると、0歳～14歳の「年少人口」、15歳～64歳の「生産年齢人口」が減少傾向となっており、65歳以上の「高齢者人口」が増加傾向となっています。

また、年齢3区分別人口の割合を見ると、令和7年で年少人口が10.4%、生産年齢人口が58.2%、高齢者人口が31.5%となっています。



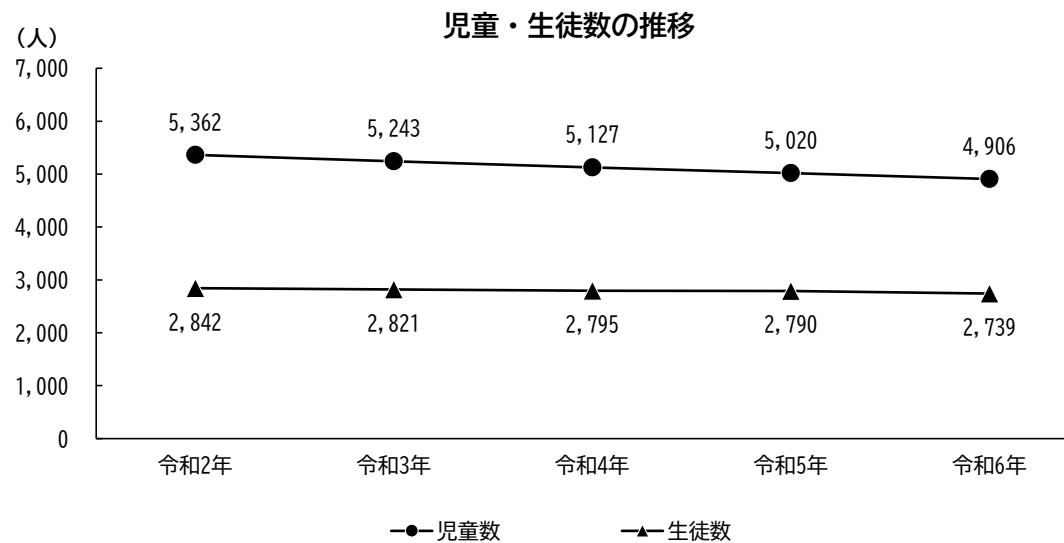
(資料：埼玉県町（丁）字別人口調査、各年1月1日)



(資料：埼玉県町（丁）字別人口調査、各年1月1日)

②児童・生徒数の人口

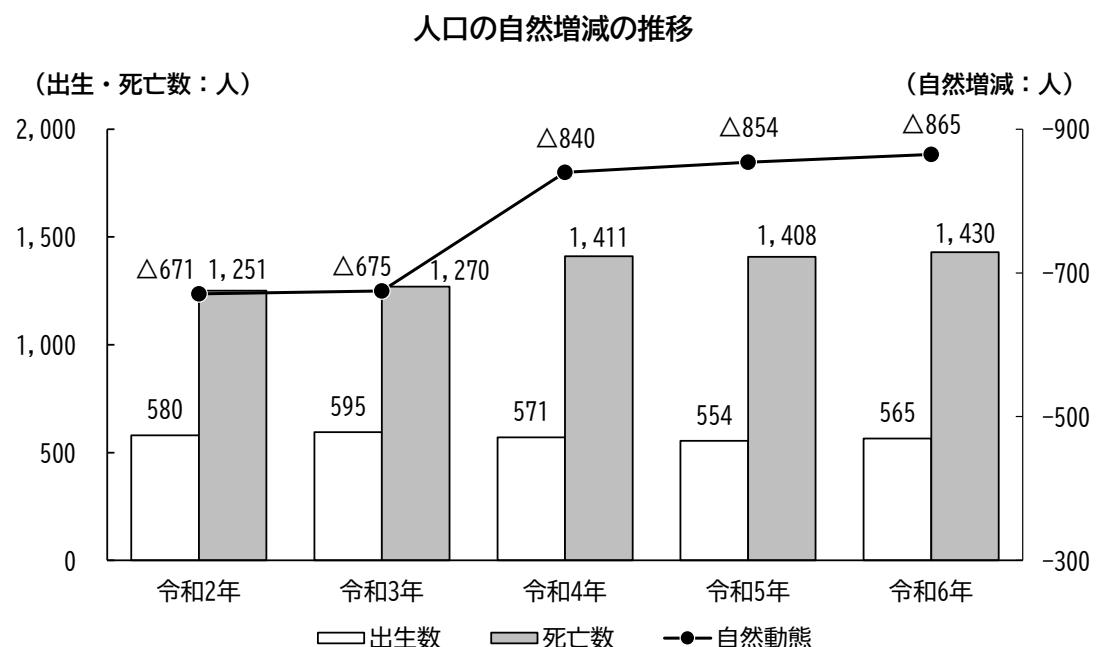
本市の児童数は、年々減少しており、令和6年では4,906人と、令和2年に比べ456人の減少となっています。生徒数も年々減少しており、令和6年では2,739人と、令和2年に比べ103人の減少となっています。



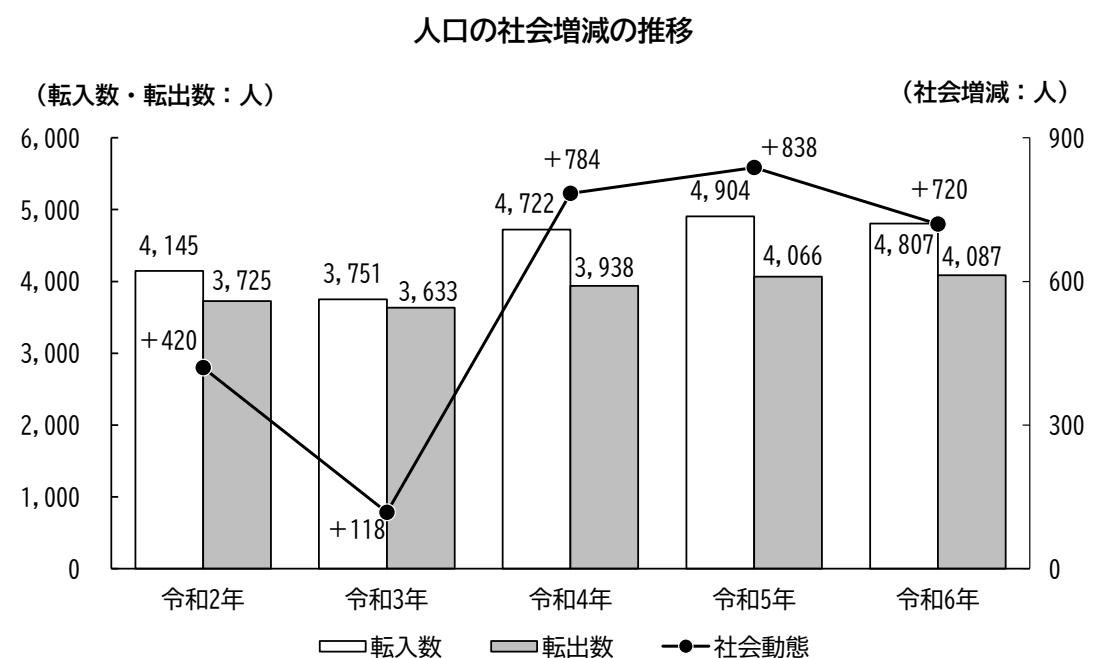
(資料：学校教育課)

③自然増減（出生数、死亡数）・社会増減（転入数、転出数）

本市の自然増減では、出生数が死亡数を下回っており、令和6年では865人の減少となっています。一方、社会増減では、転入数が転出数を上回り増加傾向となっており、令和6年では720人の増加となっています。



(資料：市民課)

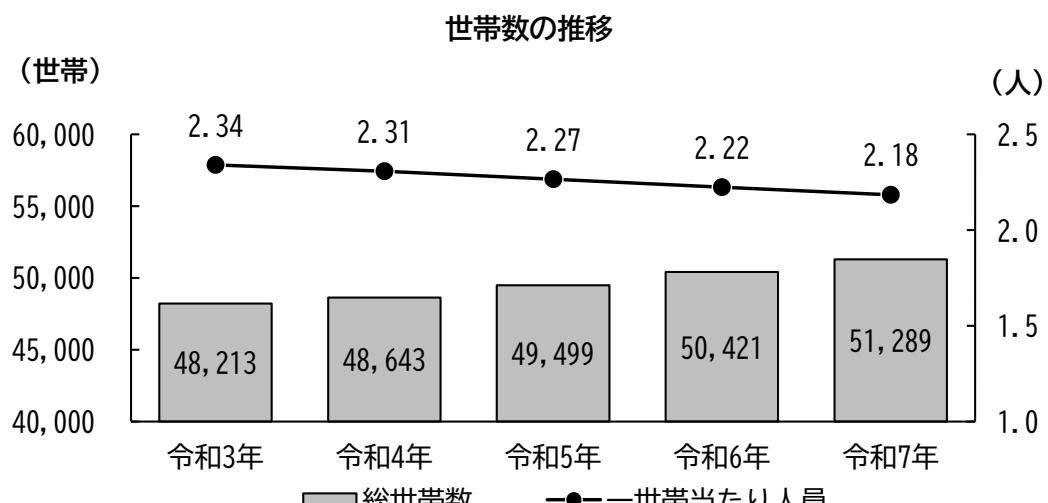


(資料：市民課)

(3) 世帯の状況

本市の世帯数は増加傾向にあり、令和7年では51,289世帯と、令和3年に比べ3,076世帯の増加となっています。

しかしながら、1世帯当たりの人員は減少傾向となっており、令和7年では2.18人となっています。

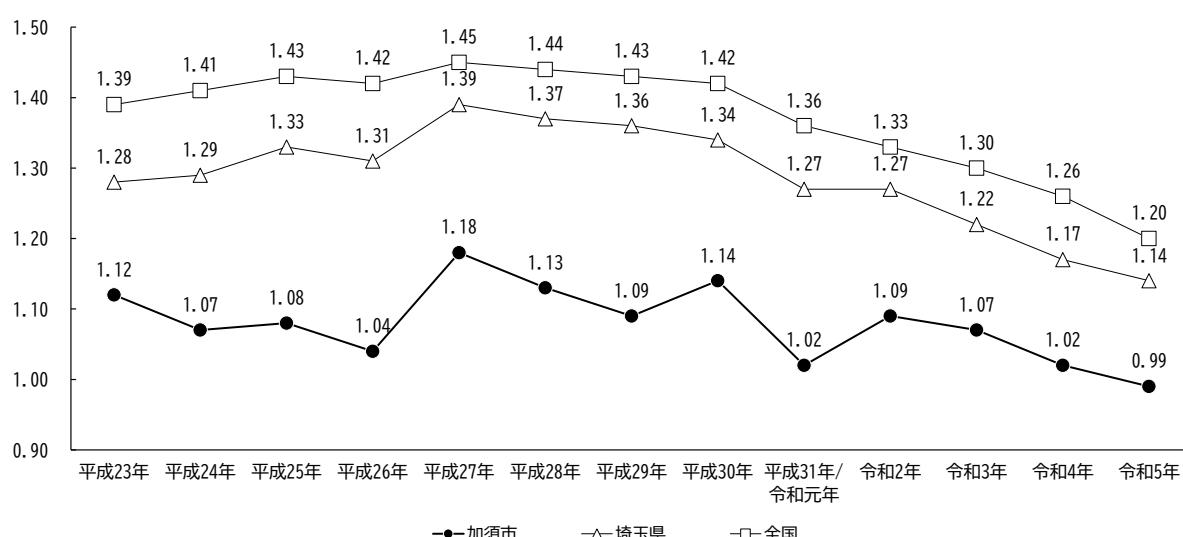


(資料：埼玉県町(丁)字別人口調査、各年1月1日)

(4) 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率は全国、埼玉県より下回っており、令和5年では、全国1.20、埼玉県1.14に対し、加須市は0.99と、年々減少傾向となっています。

合計特殊出生率の推移（全国、埼玉県、加須市比較）



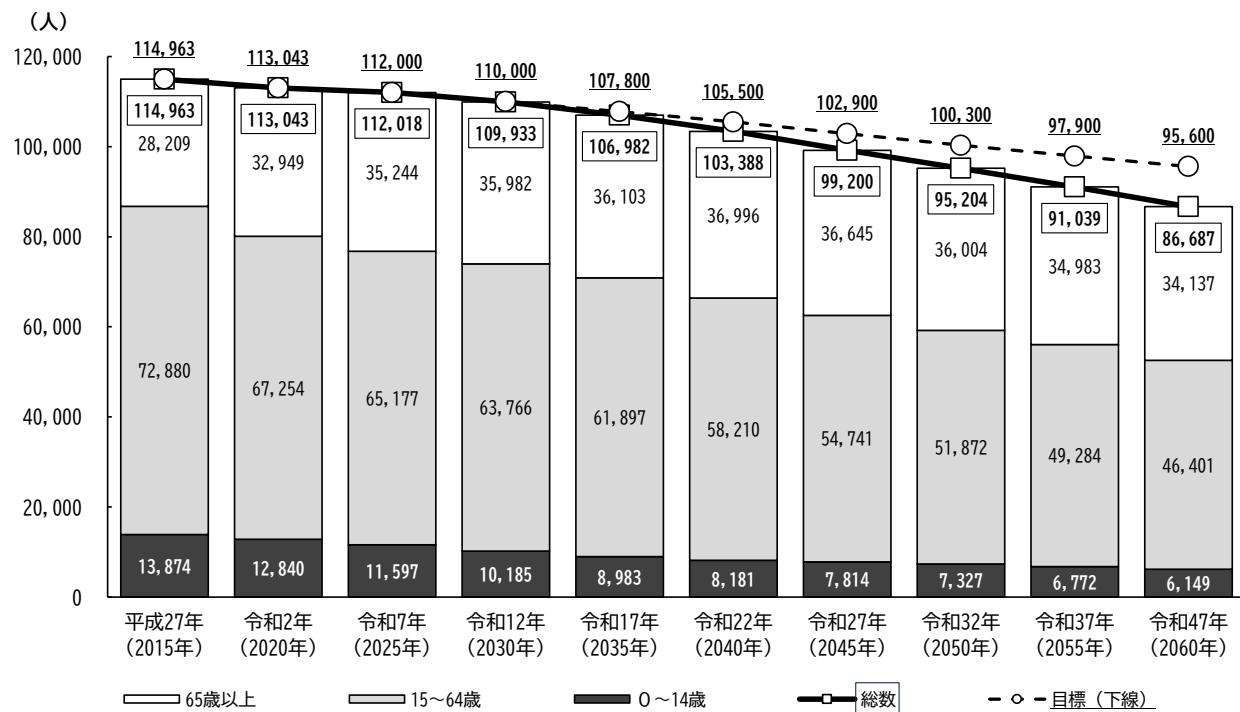
(資料：埼玉県の合計特殊出生率、（国、県）各年10月1日、（市）各年1月1日)

（合計特殊出生率）

その年齢の女性が生んだ子どもの数を、各歳の女性人口（15歳から49歳の合計）で除して算出され、1人の女性が生涯に生む子どもの数の目安になります。合計特殊出生率が、2.07（資料：厚生労働省「平成30年我が国の人口動態（平成28年までの動向）」）で人口の水準が保たれると考えられます。

(5) 人口の見通し

人口の見通しと目標



※平成 27 (2015) 年から令和 7 (2025) 年までの数値は住民基本台帳の実績値、
令和 12 (2030) 年以降の数値は推計値

(資料：加須市総合振興計画基本構想、各年1月1日現在)

2. 健康づくり推進、食育推進、歯・口腔の健康推進、地域医療体制確保に関する状況

1 健康づくり推進の状況

(1) 健康寿命と平均寿命

①65歳からの健康寿命（65歳に到達した人が「要介護2」以上になるまでの期間）

埼玉県方式による本市の令和5年の健康寿命は、男性が18.06年、女性が20.82年で、令和元年と比較すると男女ともに長くなっています。

県内順位はそれぞれ32位と44位となっており、男性は上昇し女性は下がっています。

健康寿命の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
男性	17.47年 44位 (27位)	17.58年 52位 (32位)	17.86年 44年 (27位)	17.96年 43位 (29位)	18.06年 32位 (22位)
女性	20.50年 39位 (28位)	20.52年 47位 (29位)	20.67年 48位 (30位)	20.84年 42位 (27位)	20.82年 44位 (29位)

※埼玉県内63位町村での順位、（ ）内は埼玉県内40市での順位

（資料：いきいき健康医療課）

②65歳からの要介護期間

本市の令和5年の要介護期間は、男性が1.67年、女性が3.52年で、令和元年と比較すると男女ともに短くなっています。県内順位はそれぞれ33位、32位と上昇しています。

要介護期間の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
男性	1.73年 36位 (22位)	1.77年 40位 (23位)	1.70年 32位 (19位)	1.79年 40位 (28位)	1.67年 33位 (21位)
女性	3.74年 46位 (29位)	3.81年 49位 (30位)	3.82年 53位 (33位)	3.75年 43位 (27位)	3.52年 32位 (22位)

※埼玉県内63位町村での順位、（ ）内は埼玉県内40市での順位。

（資料：いきいき健康医療課）

③平均寿命

本市の令和5年の平均寿命は、男性が81.29年、女性が87.40年で、令和元年と比較すると長くなっています。県内順位はそれぞれ33位と21位と上昇しています。

平均寿命の推移と順位

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
男性	80.83年 38位 (28位)	81.00年 41位 (29位)	81.45年 29位 (21位)	81.61年 26位 (18位)	81.29年 33位 (24位)
女性	87.02年 26位 (20位)	87.03年 27位 (21位)	87.25年 31位 (23位)	87.34年 37位 (28位)	87.40年 21位 (16位)

※埼玉県内63位町村での順位、() 内は埼玉県内40市での順位。

(資料：いきいき健康医療課)

(健康寿命)

元気で家族などの世話をすることなく、日々の生活が送れる年数を、65歳から何年間、過ごすことができるかという期間の平均を示したものです。

加須市では、この元気で日々の生活が送れることを介護保険の要介護度に置き換えてみると、最も軽度の要支援1から最も重度の要介護5までの7段階中、要介護2が概ねトイレや入浴が自分一人では困難で家族などの助けが必要な人となるので、要介護1までに留めることを基本にしています。

(埼玉県の算出方法を採用：厚生労働省による都道府県別健康寿命とは算出方法が異なります。)

(要介護期間)

65歳平均余命（65歳に達した人が生存できる年数）から健康寿命を差し引いた期間のことをいいます。数字が小さいほど、介護を必要とする期間が短いことを示します。

(平均寿命)

0歳の子どもの平均余命のことです。

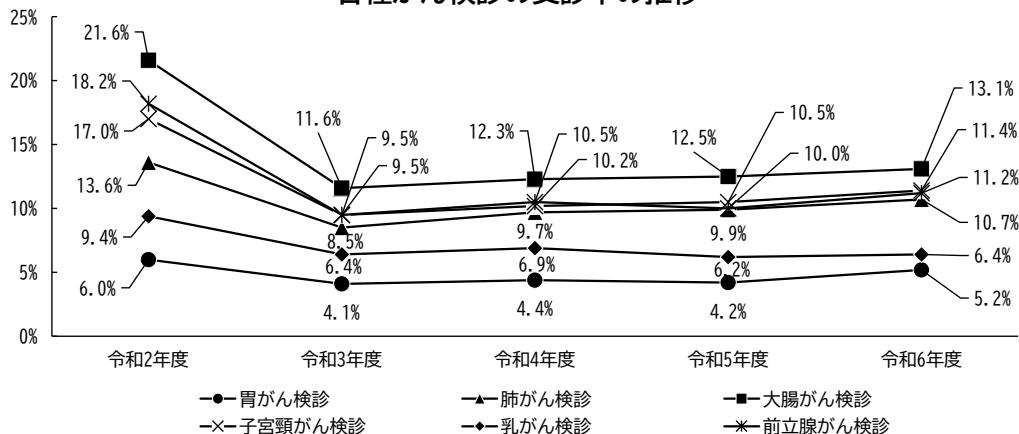
2 各検（健）診等の状況

(1) がん検診の受診状況

①各種がん検診受診率の推移

本市の各種がん検診の受診率は、年度によって増減を繰り返していますが、令和3年度はコロナ禍の影響で受診率はすべての検診において減少しています。その後、受診率は微増傾向となっています。

各種がん検診の受診率の推移



		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん検診	対象者数	人	35,820	72,182	72,543	72,809
	受診者数	人	2,164	2,952	3,228	3,055
	受診率	%	6.0	4.1	4.4	4.2
	要精検者数	人	246	294	264	265
	がん発見者数	人	3	4	4	3
肺がん検診	対象者数	人	35,820	72,182	72,543	72,809
	受診者数	人	4,879	6,144	7,006	7,240
	受診率	%	13.6	8.5	9.7	9.9
	要精検者数	人	235	243	264	197
	がん発見者数	人	3	4	5	2
大腸がん検診	対象者数	人	35,820	72,182	72,543	72,809
	受診者数	人	7,728	8,350	8,951	9,077
	受診率	%	21.6	11.6	12.3	12.5
	要精検者数	人	553	507	543	533
	がん発見者数	人	21	18	20	18
子宮頸がん検診	対象者数	人	24,401	47,361	47,571	47,601
	受診者数	人	4,137	4,515	4,856	5,021
	受診率	%	17.0	9.5	10.2	10.5
	要精検者数	人	54	47	51	59
	がん発見者数	人	2	2	3	0
乳がん検診	対象者数	人	21,455	36,724	36,906	37,014
	受診者数	人	2,007	2,349	2,544	2,291
	受診率	%	9.4	6.4	6.9	6.2
	要精検者数	人	134	159	211	127
	がん発見者数	人	11	11	18	8
前立腺がん検診	対象者数	人	13,134	27,401	27,666	27,985
	受診者数	人	2,386	2,599	2,899	2,794
	受診率	%	18.2	9.5	10.5	10.0
	要精検者数	人	131	162	220	148
	がん発見者数	人	9	13	20	19

※胃がん検診は、胃内視鏡検査を含む。

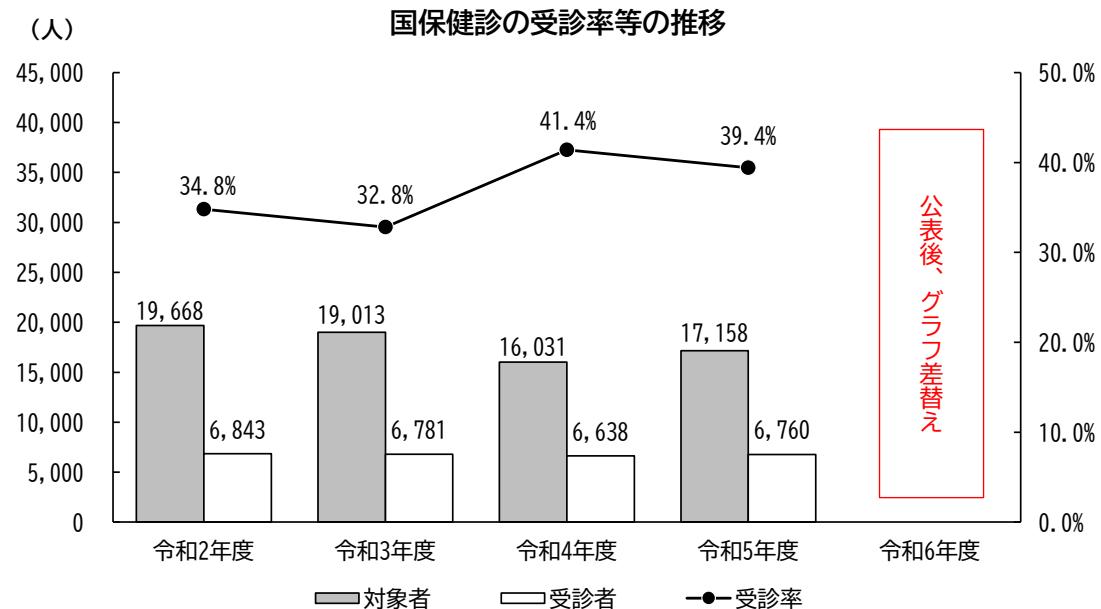
※胃がん検診、子宮頸がん検診及び乳がん検診の受診率は、県報告値。（（前年の受診者数 + 当該年度の受診者数） - （前年度及び当該年度における2年連続受診者数） ÷ 当該年度の受診者数 × 100）

(資料：いきいき健康医療課)

(2) 国保健診（特定健康診査）等の受診状況

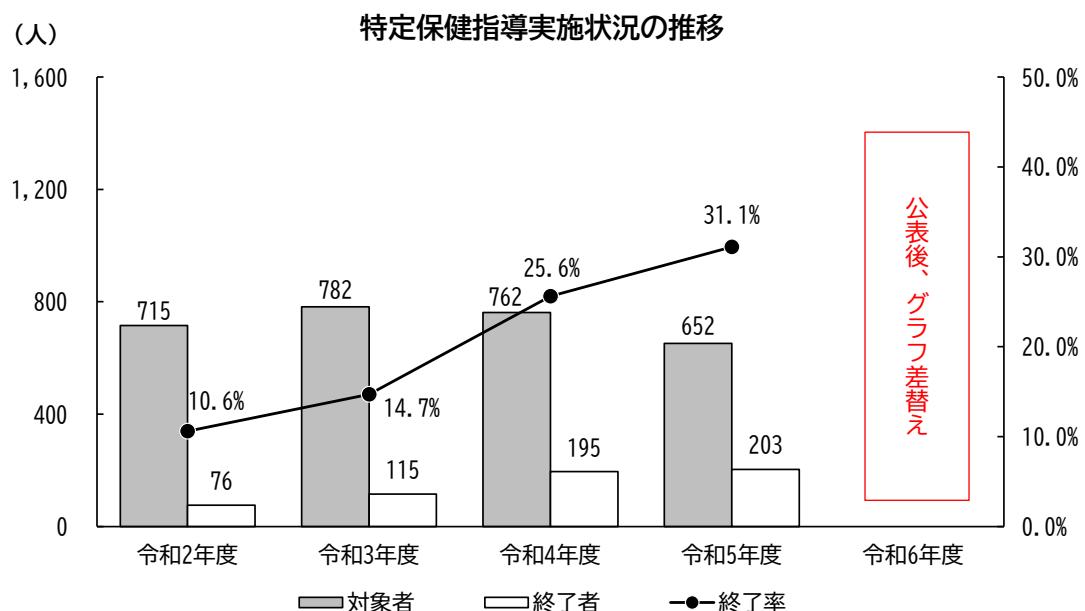
①国保健診（特定健康診査受診）状況

本市が実施している40歳以上の国保健診は、受診率・受診者数ともに年度によって増減を繰り返しており、令和5年度では39.4%となっています。



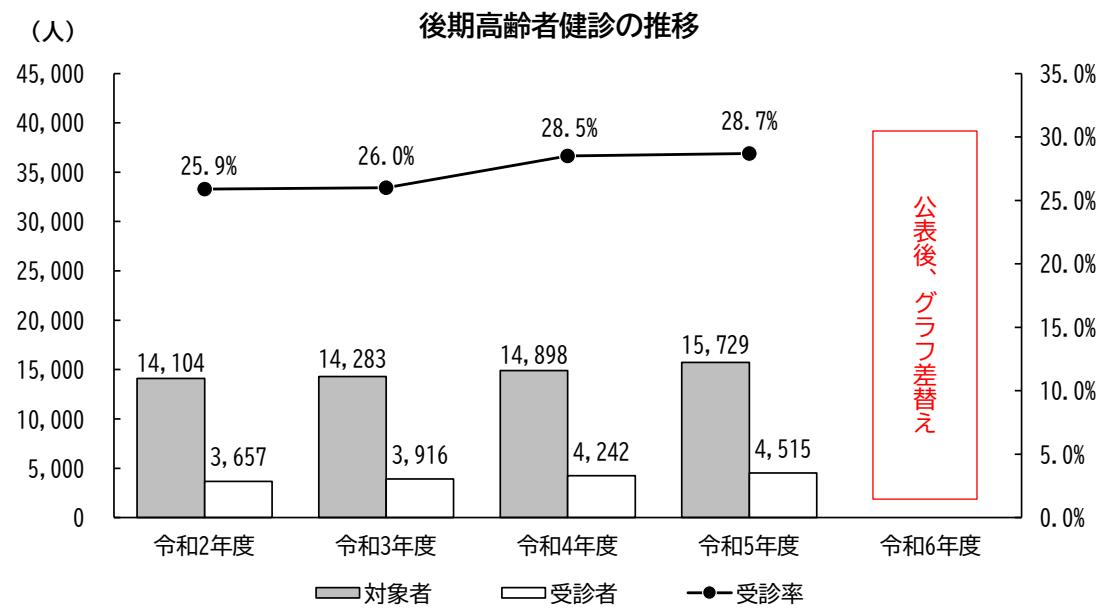
②特定保健指導実施状況

本市の特定健康診査の結果による特定保健指導実施率・受診者数はともに増加傾向にあり、令和5年度では31.1%となっています。



③後期高齢者健診（後期高齢者健康診査）受診状況

本市が実施している後期高齢者健診は受診率・受診者数ともに増加傾向にあり、令和5年度では28.7%となっています。



(資料：いきいき健康医療課)

(3) 乳幼児健診の受診状況

本市が実施している乳幼児健診の受診状況は、ほぼ横ばいとなっており、いずれの健診も90%を超えています。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 ヶ月 児 健 診	受診人数（受診率%）	482 (96.2)	573 (97.3)	588 (98.3)	533 (97.6)	563 (96.7)
	健康管理上注意する者※ (その者の割合%)	216 (44.8)	245 (42.8)	251 (42.7)	276 (51.8)	329 (58.4)
9 ヶ月 児 健 診	受診人数（受診率%）	499 (97.5)	589 (95.5)	617 (97.2)	546 (96.3)	569 (96.1)
	健康管理上注意する者※ (その者の割合%)	204 (40.9)	227 (38.5)	287 (46.5)	289 (52.9)	294 (51.7)
1歳 6ヶ月 児 健 診	受診人数（受診率%）	660 (94.6)	626 (96.6)	602 (95.3)	627 (97.1)	568 (96.8)
	健康管理上注意する者※ (その者の割合%)	319 (48.3)	321 (51.3)	312 (51.8)	356 (56.8)	335 (59.0)
2歳 児 健 診	受診人数（受診率%）	627 (94.1)	620 (93.9)	636 (94.9)	668 (95.4)	593 (94.4)
	健康管理上注意する者※ (その者の割合%)	319 (50.9)	284 (45.8)	337 (53.0)	398 (59.6)	330 (55.6)
3歳 児 健 診	受診人数（受診率%）	762 (95.5)	706 (95.1)	649 (94.3)	657 (93.7)	651 (96.0)
	健康管理上注意する者※ (その者の割合%)	318 (41.7)	286 (40.5)	299 (46.1)	330 (50.2)	375 (57.6)

※乳幼児健康診査の結果、「異状なし」以外の「要経過観察」「要精密」「要医療」の者

(資料：すくすく子育て相談室)

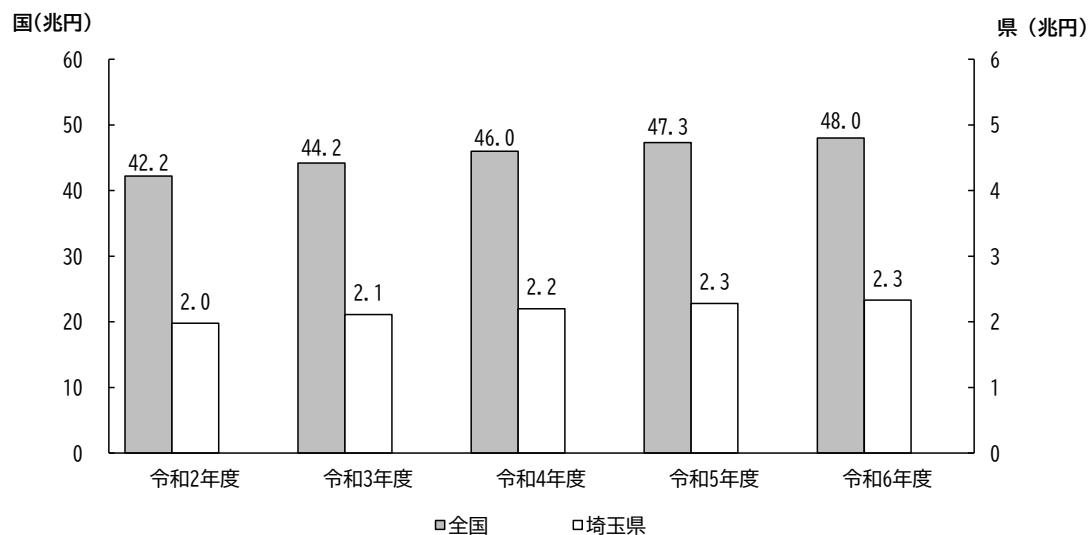
3 医療費等の状況

(1) 医療費の状況

①全国及び埼玉県の医療費総額

全国及び埼玉県の医療費総額（社会保険、国民健康保険及び後期高齢者医療保険）は増加傾向にあり、令和6年度の総医療費は全国48.0兆円、埼玉県2.3兆円となっています。

全国、埼玉県の医療費総額の推移

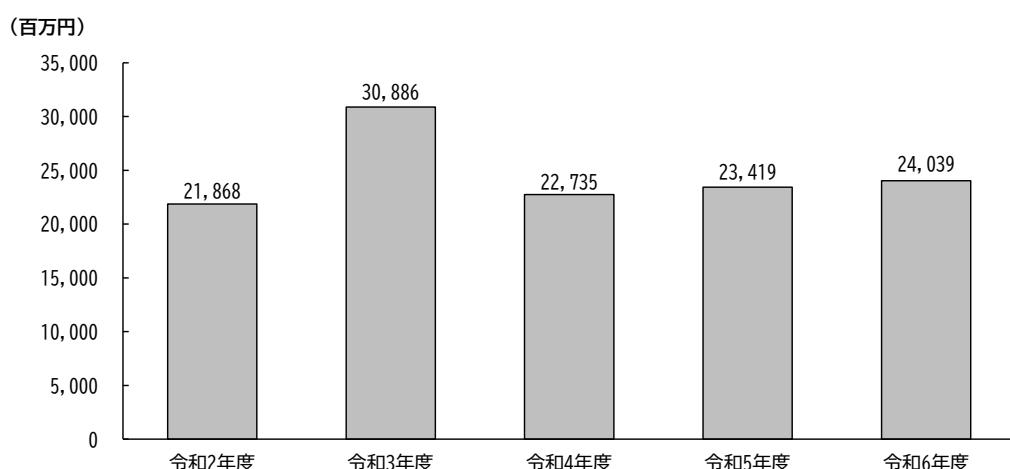


(資料：「医療費の動向調査」（厚生労働省）)

②加須市国民健康保険及び後期高齢者医療保険における医療費総額の状況

本市の国民健康保険及び後期高齢者医療保険における医療費総額は、令和3年度はコロナ禍の影響で約309億円まで増加しましたが、その後は減少し、令和6年度の総額は240億円となっています。

国民健康保険及び後期高齢者医療保険における医療費の推移



(資料：国保年金課)

③国民健康保険における疾病別医療費の状況

令和6年度の疾病別医療費を見ると、「その他の悪性新生物（腫瘍）」が最も多くなっており、全体の6.8%を占めています。次いで「腎不全」「糖尿病」と続いています。

令和6年度の疾病別医療費

順位	疾病名	医療費（円）	構成比
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	566,052,160	6.8%
2	腎不全	533,959,350	6.4%
3	糖尿病	530,715,800	6.4%
4	その他の心疾患	425,058,510	5.1%
5	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	357,904,250	4.3%
6	その他の消化器系の疾患	329,443,200	4.0%
7	その他の神経系の疾患	309,057,870	3.7%
8	その他の眼及び付属器の疾患	272,158,330	3.3%
9	その他の呼吸器系の疾患	240,732,950	2.9%
10	高血圧性疾患	226,170,650	2.7%
	その他	4,534,782,000	54.5%
	合計	8,326,035,070	100.0%

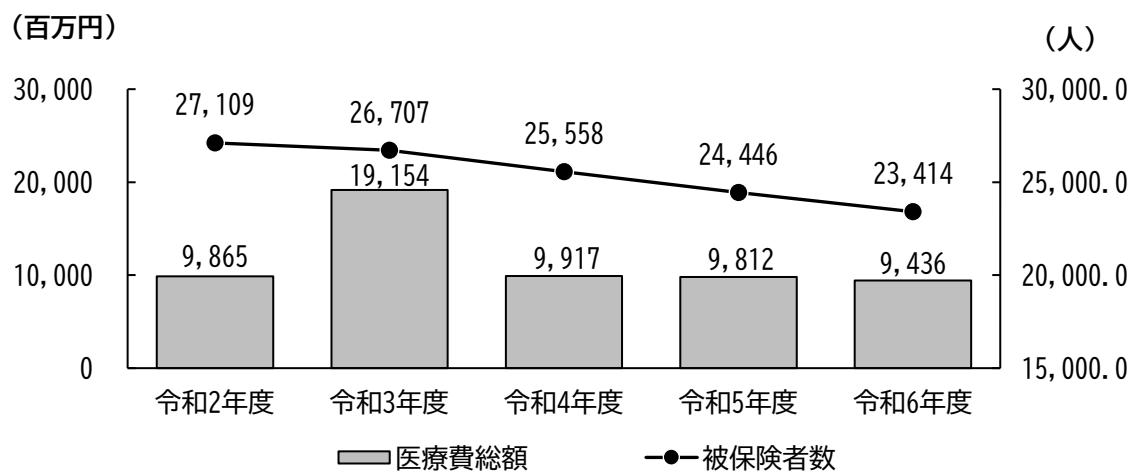
(資料：国保年金課)

④国民健康保険における1人当たりの医療費

本市の国民健康保険の被保険者数は減少傾向となっており、医療費総額も減少していますが、一人当たりの医療費は年々増加しており、令和6年度では、403,015円となっています。

なお、令和6年度の一人当たり医療費を全国、埼玉県と比べると、全国をやや下回っていますが、埼玉県より高くなっています。

国民健康保険医療費等の推移



(資料：国保年金課)

国民健康保険における1人当たりの医療費の比較（加須市、埼玉県、全国）

(单位: 川)

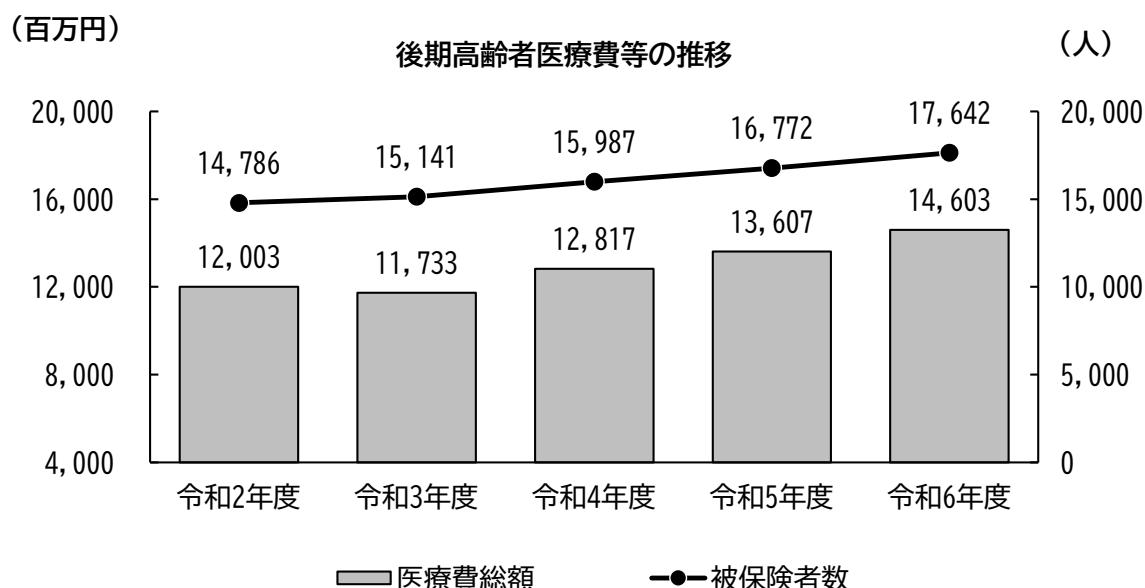
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加須市	363,916	380,192	388,033	401,366	403,015
埼玉県	336,589	359,100	367,415	382,175	387,690
全国	370,371	392,044	402,507	413,700	420,044

(資料：国保年金課)

⑤後期高齢者医療保険における1人当たりの医療費

本市の後期高齢者医療の被保険者数は、増加傾向となっており、医療費も年々増加しています。

また、一人当たりの医療費は年度によって増減を繰り返しており、令和6年度の一人当たり医療費を全国、埼玉県と比べると低くなっています。



後期高齢者医療保険における1人当たり医療費の比較（加須市、埼玉県、全国）

(单位: 田)

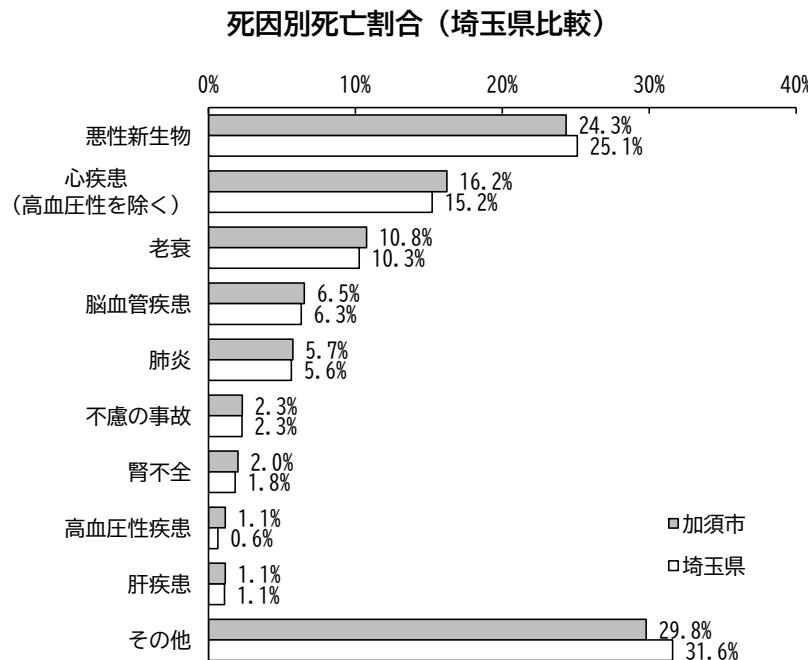
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加須市	812,265	777,973	805,358	814,402	831,121
埼玉県	811,648	833,300	841,809	855,722	865,657
全国	912,746	931,606	947,672	955,904	●

(資料：国保年金課)

(2) 死因の状況

①死因別死亡割合（令和4年）

令和4年における本市の全死因を見ると、悪性新生物（がん）が24.3%と最も多く、次いで心疾患（高血圧性を除く）が16.2%となっています。心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患、肺炎、腎不全、高血圧性疾患は埼玉県平均より高い割合となっています。

**実死亡数（令和4年）**

(単位：人)

	加須市	埼玉県
悪性新生物	339	20,635
心疾患（高血圧性を除く）	226	12,525
老衰	150	8,444
脳血管疾患	91	5,199
肺炎	80	4,640
不慮の事故	32	1,874
腎不全	28	1,498
高血圧性疾患	16	528
肝疾患	16	902
その他	415	25,976
計	1,393	82,221

(資料：埼玉県保健統計年鑑)

②ライフステージ別死因順位（平成30年～令和4年）

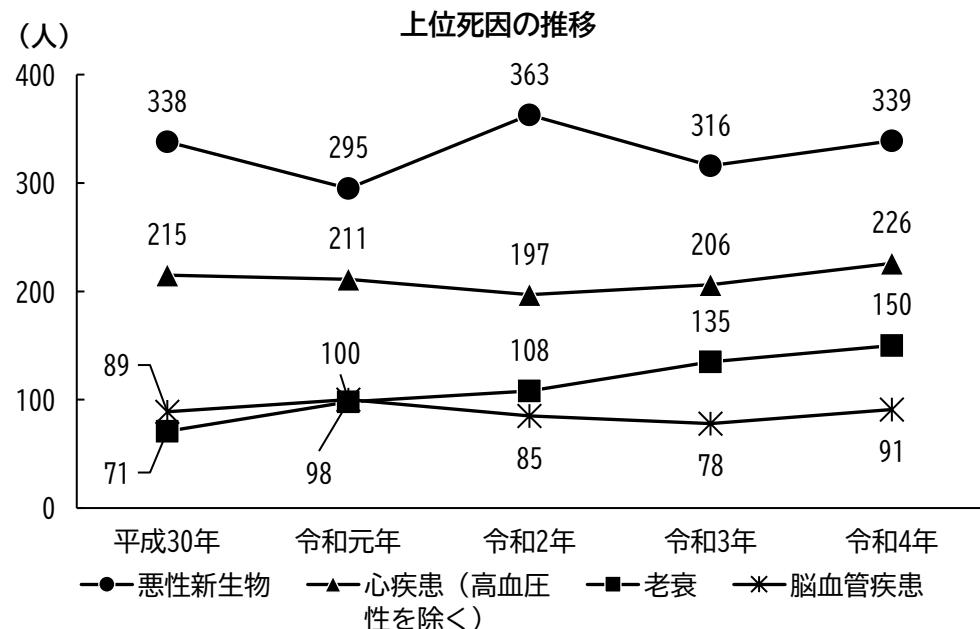
ライフステージ別の死因（5年間の総数に対する割合）を見ると、青年期、壮年期は「自殺」が最も多く、中年期以降は、「悪性新生物」が最も多くなっています。総数で見ると、「悪性新生物」が最も多く、「心疾患（高血圧性を除く）」「老衰」「脳血管疾患」が続きます。

ライフステージ別死因

	幼年期 (0～4歳)	少年期 (5～14歳)	青年期 (15～24歳)	壮年期 (25～44歳)	中年期 (45～64歳)	高齢期 (65歳以上)	総数
第1位	不慮の事故 60%	悪性新生物 25%	自殺 30.4%	自殺 29.7%	悪性新生物 40.8%	悪性新生物 25.1%	悪性新生物 26.2%
第2位	先天奇形、 変形及び染 色体異常 20%	心疾患 (高血圧性を除く) 25%	不慮の事故 21.7%	悪性新生物 24.3%	心疾患 (高血圧性を除く) 15.2%	心疾患 (高血圧性を除く) 17.0%	心疾患 (高血圧性を除く) 16.7%
第3位		脳血管疾患 25%	悪性新生物 8.7%	心疾患 (高血圧性を除く) 10.8%	脳血管疾患 6.3%	老衰 9.8%	老衰 8.9%
第4位		インフルエンザ 25%	糖尿病 4.3%	不慮の事故 5.4%	自殺 5.8%	肺炎 7.4%	脳血管疾患 7.0%
第5位			先天奇形、 変形及び染 色体異常 4.3%	脳血管疾患 4.1%	肝疾患 4.4%	脳血管疾患 7.2%	肺炎 6.9%
第6位				肝疾患 4.1%	肺炎 2.9%	誤嚥性肺炎 3.2%	誤嚥性肺炎 3.0%
第7位				大動脈瘤及 び解離 1.4%	大動脈瘤及 び解離 1.9%	不慮の事故 2.5%	不慮の事故 2.6%
第8位					不慮の事故 1.9%	腎不全 2.0%	腎不全 1.9%
	その他 20%		その他 30.4%	その他 20.3%	その他 20.8%	その他 25.7%	その他 26.6%

(資料：埼玉県 地域別健康情報)

③上位死因の推移



(資料：埼玉県 地域別健康情報)

④標準化死亡比（平成30年～令和4年）

本市の標準化死亡比を見ると、男女の心疾患や男性の脳血管疾患、肺炎、自殺が埼玉県平均を上回っています。

標準化死亡比

	男性	女性	総数
悪性新生物	98.2	96.5	97.6
心疾患（高血圧性を除く）	104.6	107.7	106.1
脳血管疾患	104.0	100.2	102.1
肺炎	102.7	91.7	97.2
自殺	101.6	91.2	98.2
不慮の事故	113.9	125.0	118.1

※基準集団：埼玉県100

(資料：埼玉県 地域別健康情報)

※標準化死亡比

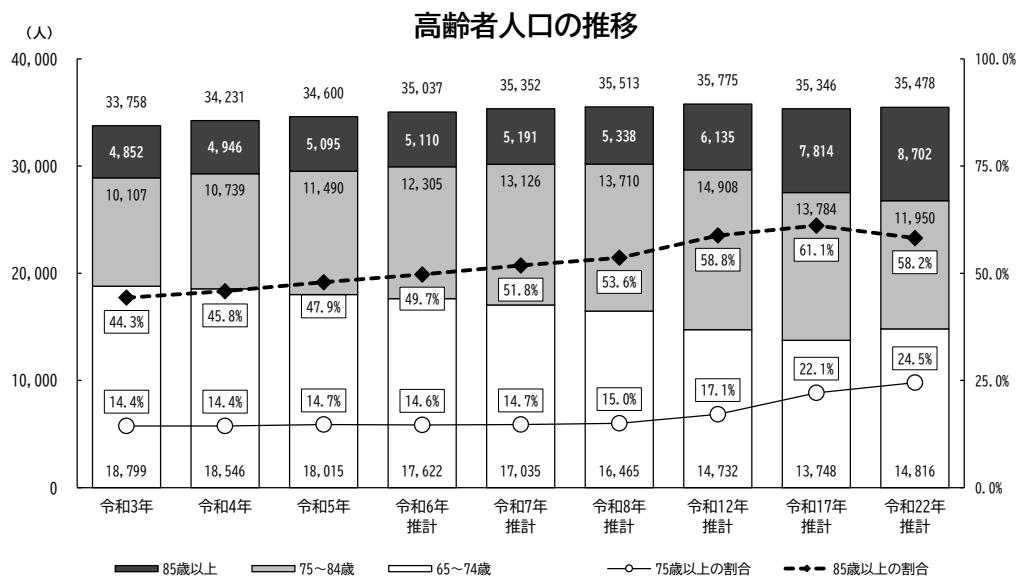
地域間の死亡傾向を比較する指標で、基準とする地域と比較したい地域の年齢構成の違いを考慮して求めた死亡数の比較によって計算されます。埼玉県では、平成30年から令和4年までの5年間のデータを基に、基準とする地域を埼玉県に設定し、県内の標準化死亡比を100として市町村を比較しています。

(3) 高齢者人口の状況

65歳以上の高齢者人口は増加を続け、令和12年にピークを迎える見込みです。

年齢層別に見ると、75歳以上の後期高齢者が令和17年まで増加を続け、特に令和12年まで急速に増加する見込みです。

特に医療と介護の両方が必要になる可能性が高い85歳以上の人口の増加が続き、令和22年には令和5年の71%増となる8,702人になると見込まれます。

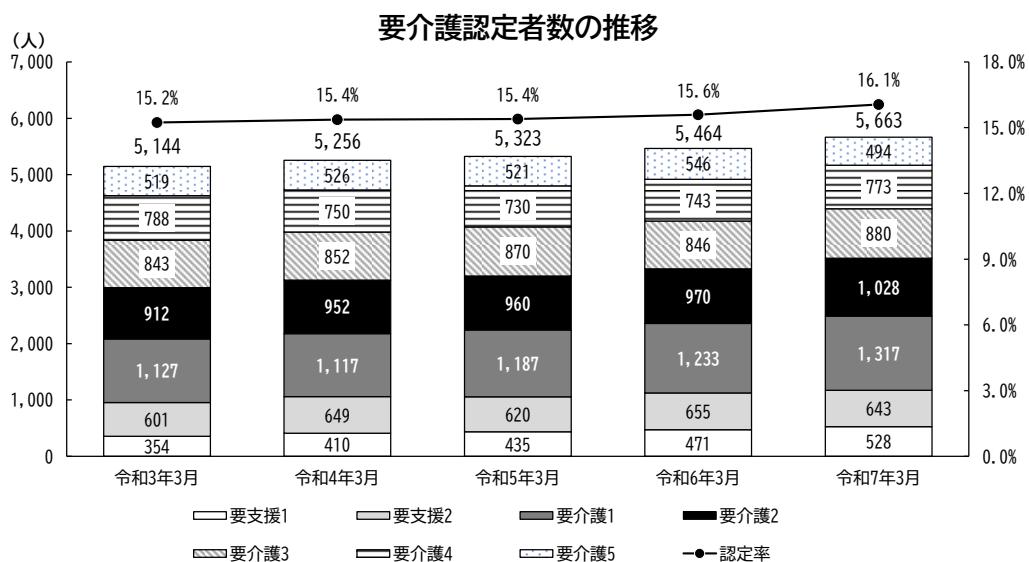


(資料：第5次加須市高齢者支援計画（過去6年の住民基本台帳を基に推計）)

(4) 要介護認定者の状況

本市の高齢者の人口が令和3年と比較し令和7年に1,636人増加していることから、要介護認定者も増加傾向となっています。令和3年3月末時点では5,144人でしたが、令和7年3月末時点では5,663人となり、519人増加しています。

また、要介護認定率も上昇傾向となっており、令和3年3月末時点では15.2%でしたが、令和7年3月末時点では16.1%と、0.9ポイント増加しています。

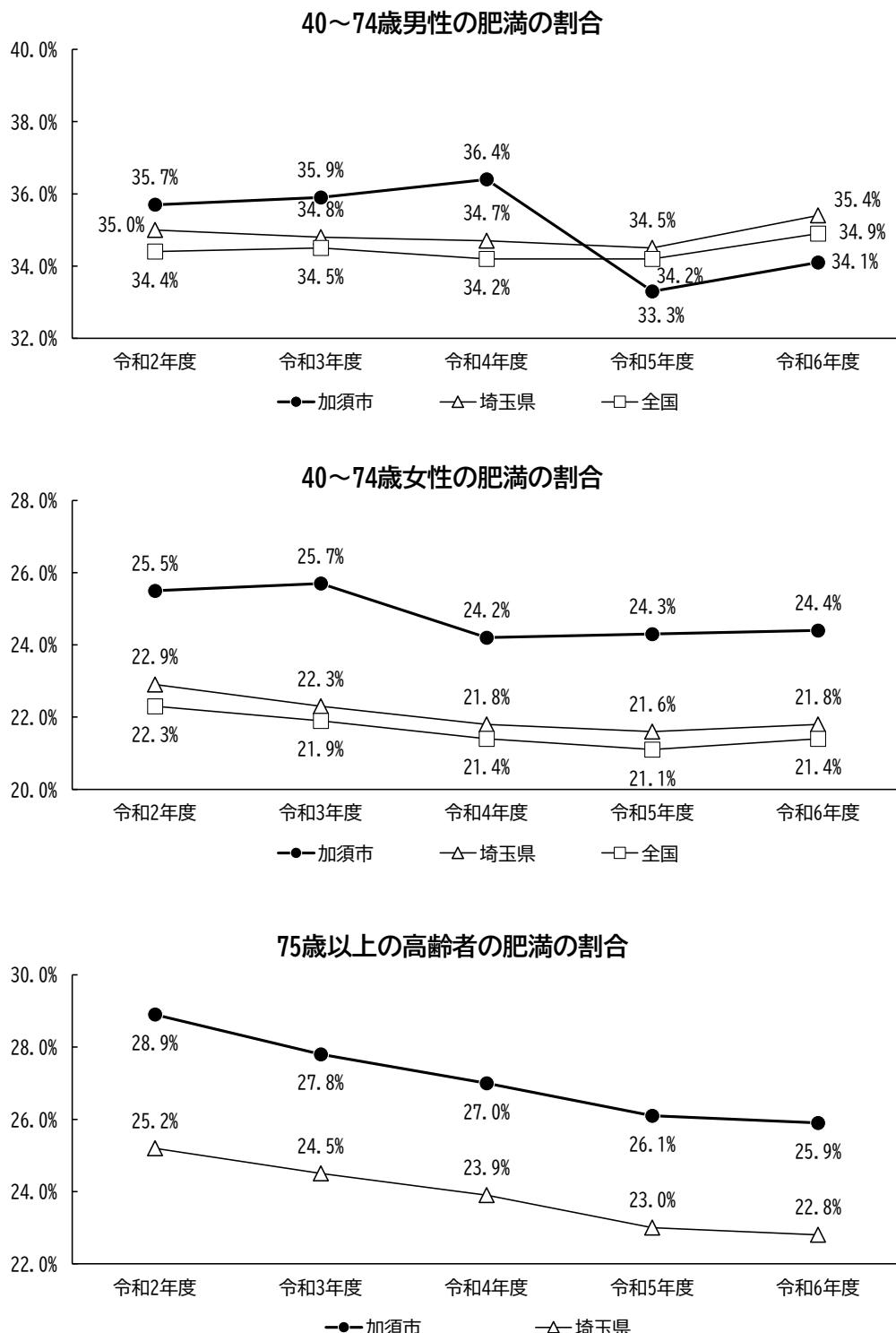


(資料：高齢介護課)

4 食育推進の状況

(1) 肥満に該当する人の割合（BMI25以上）の状況

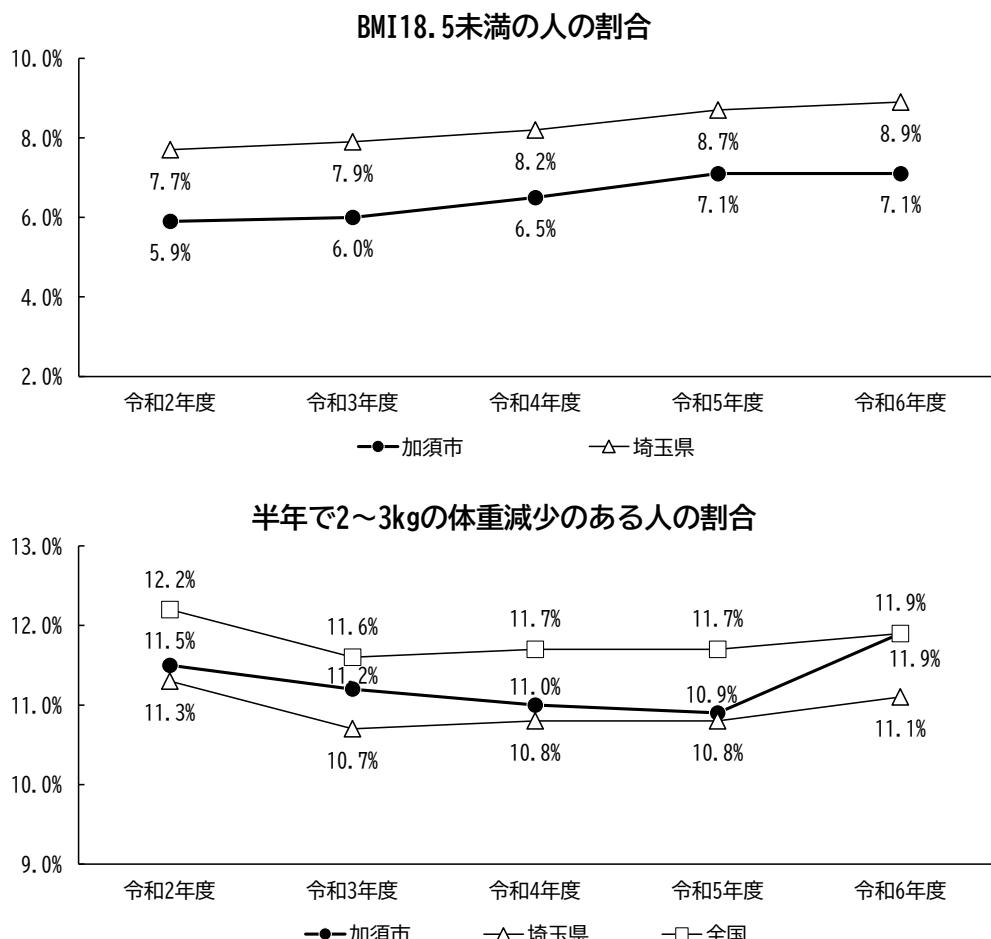
本市の40～74歳の肥満の割合は、男性では減少しており、令和5年度には全国、埼玉県を下回っています。女性も減少傾向にありますが、全国、埼玉県を上回っています。また、75歳以上の高齢者の肥満の割合は、減少傾向にありますが、埼玉県を上回っています。



(資料：国保データベース（KDB）システム)

(2) 低栄養に該当する75歳以上の高齢者の割合の状況

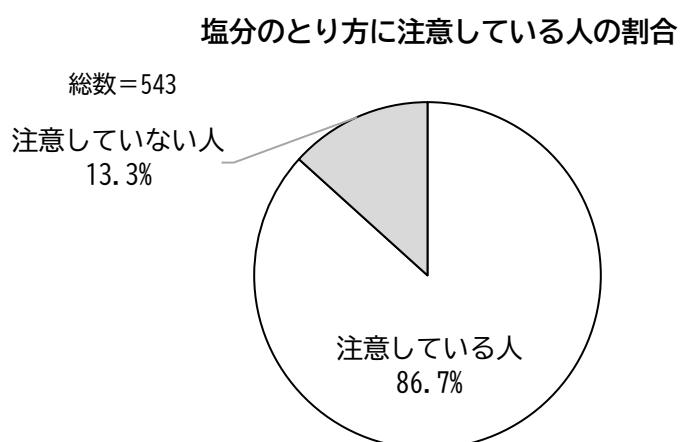
本市の低栄養に該当する75歳以上の高齢者の割合は、増加傾向ですが、埼玉県を下回っています。半年で2~3kgの体重減少のある人の割合は、埼玉県を上回っていますが、令和5年までは減少傾向にあります。令和6年には増加に転じ、全国と並ぶ値になっています。



(資料：国保データベース（KDB）システム)

(3) 塩分のとり方に注意している人の割合の状況

本市の令和6年度における塩分のとり方に注意している人の割合は、86.7%です。

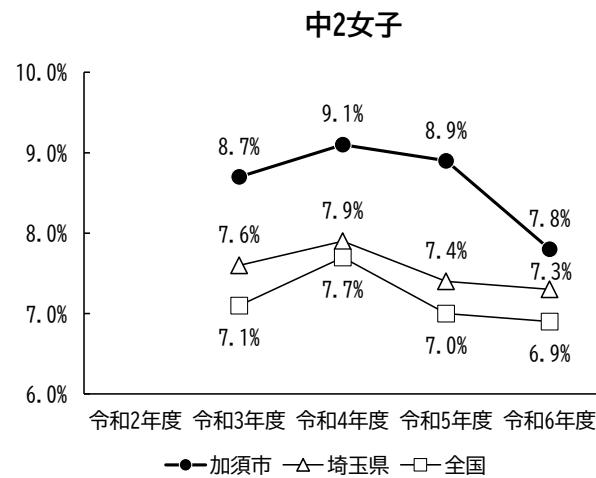
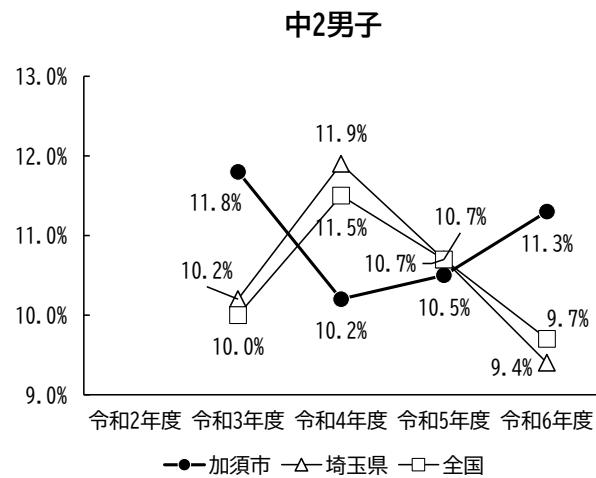
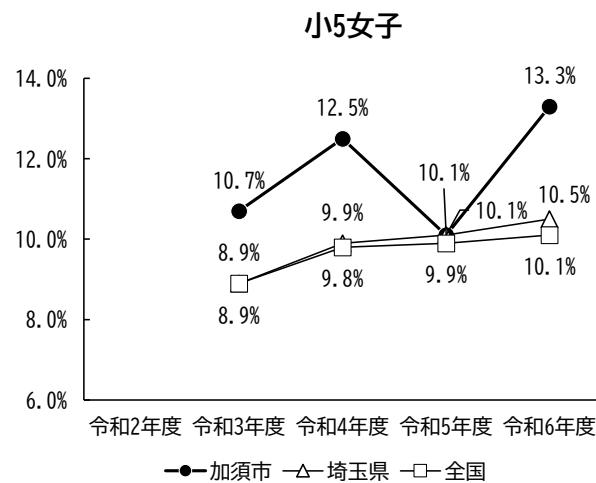
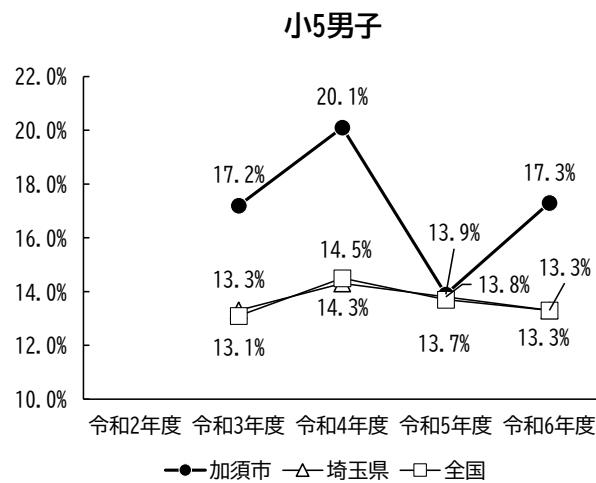


(資料：いきいき健康医療課)

(4) 肥満傾向児の状況（小5、中2）について 軽度・中度・高度の児童生徒の割合
(令和2年は調査を中止したためデータ無し)

肥満傾向児童生徒の割合について、小5男子は全国、埼玉県をおおよそ上回って推移しています。小5女子は全国、埼玉県をおおよそ上回りながら、増加傾向となっています。

中2男子は令和4年度に全国、埼玉県を下回りましたが、令和6年度には上回っています。中2女子は、全国、埼玉県を上回りながら、減少傾向となっています。



(資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査)

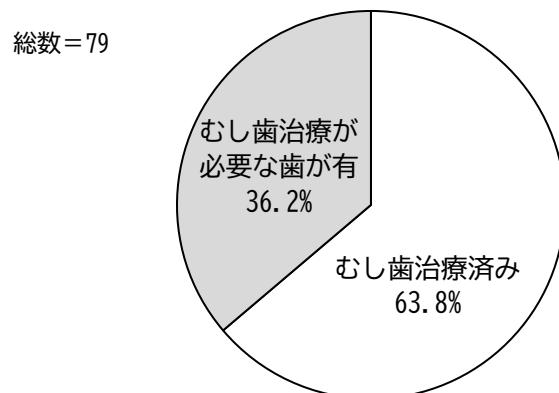
5 歯・口腔の健康推進の状況

(1) むし歯の状況

①出生前期

本市の令和6年度における妊婦での成人歯科検診受診者のうち、むし歯治療済みの人は63.8%、むし歯治療が必要な歯が有る人は36.2%でした。

むし歯の治療が必要な歯がない妊婦の割合

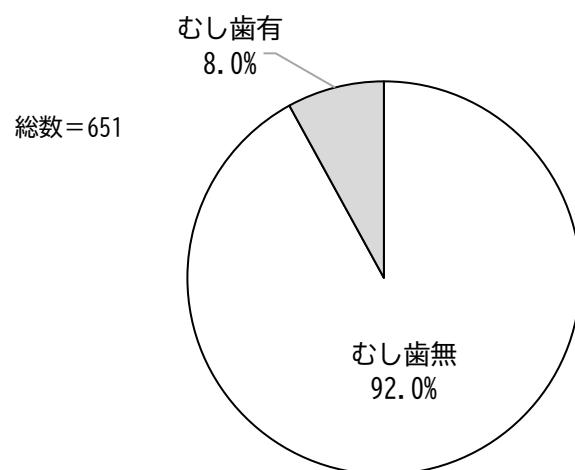


(資料：いきいき健康医療課)

②乳幼児期

本市の令和6年度における3歳児健康診査歯科診察受診者のうち、むし歯のない子どもの割合は、92.0%となっています。

3歳児のむし歯のない子どもの割合

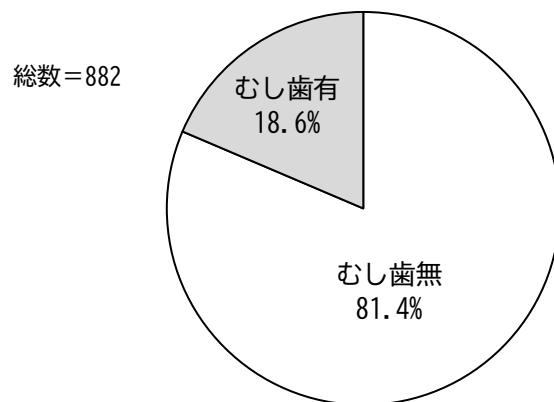


(資料：すくすく子育て相談室)

③学齢期

本市の令和6年度における12歳児健康診査歯科診察受診者のうち、むし歯のない子どもの割合は、81.4%となっています。

12歳児のむし歯のない子どもの割合

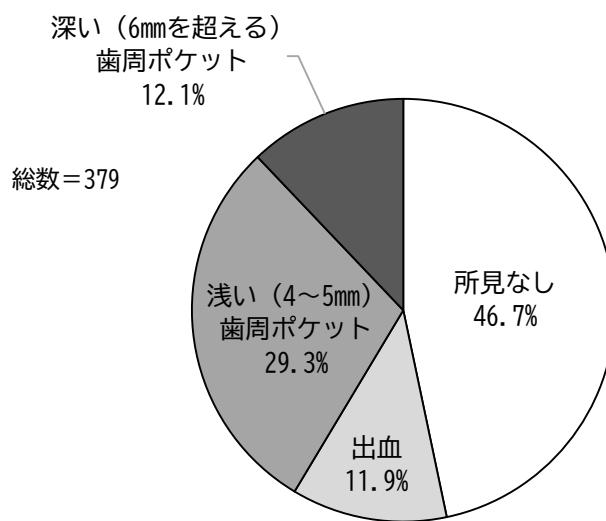


(資料：学校教育課)

(2) 歯周病の状況

本市の令和6年度における成人歯科検診受診者のうち、53.3%の人に歯ぐきの所見（出血、浅い歯周ポケット、深い歯周ポケット）が見られました。

成人歯科検診における歯ぐきの所見別割合



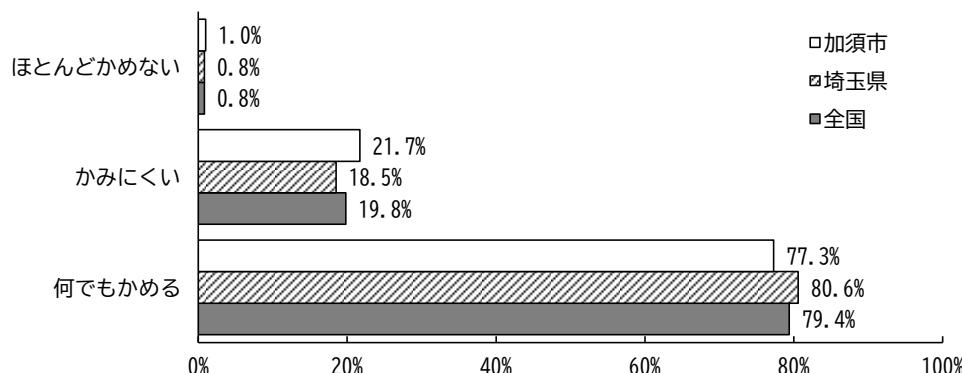
(資料：いきいき健康医療課)

(3) 咀嚼（そしゃく）の状況

本市の令和6年度における国民健康保険加入者のうち「何でもかめる」と答えた人が77.3%おり、埼玉県より3.3%、全国より2.1%少なくなっています。

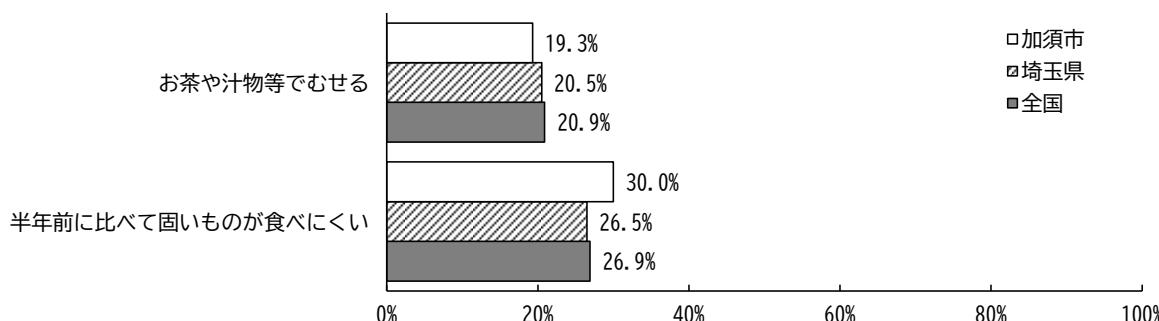
令和6年度における後期高齢者医療加入者のうち「半年前に比べて固いものが食べにくい」と答えた人が30.0%おり、埼玉県より3.5%、全国より3.1%多くなっています。

国民健康保険加入者の咀嚼状況



(資料：令和6年度 国保データベース（KDB）システム)

後期高齢者医療加入者の咀嚼状況

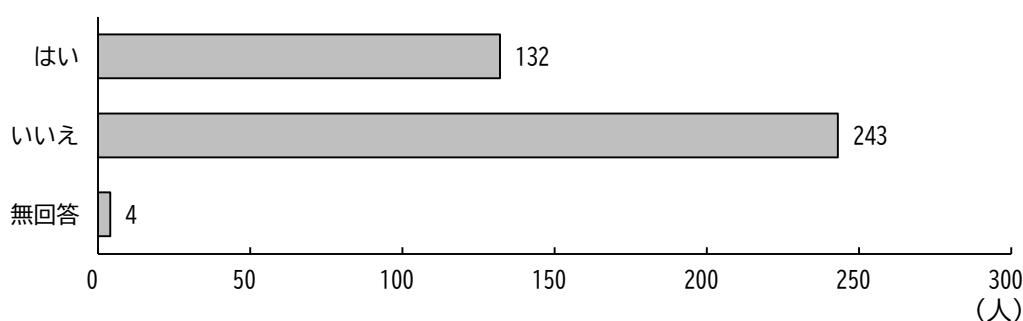


(資料：令和6年度 国保データベース（KDB）システム)

(4) 歯・口腔の健康に関する意識

本市の令和6年度における成人歯科検診の受診者のうち、「定期的に歯科検診を受けている人」は132人の34.8%となっています。

定期的に歯科検診を受けている人数



(資料：いきいき健康医療課)

6 地域医療体制確保の状況

(1) 医療施設（病院・診療所）の状況

本市の医療施設は、令和5年10月1日時点で病院が6施設、一般診療所が49施設、歯科診療所が50施設となっています。

人口10万人当たりの対数においては、本市の一般病院数は埼玉県、全国よりも少ない4.5施設となっており、一般診療所及び歯科診療所についても、全国を大きく下回っています。

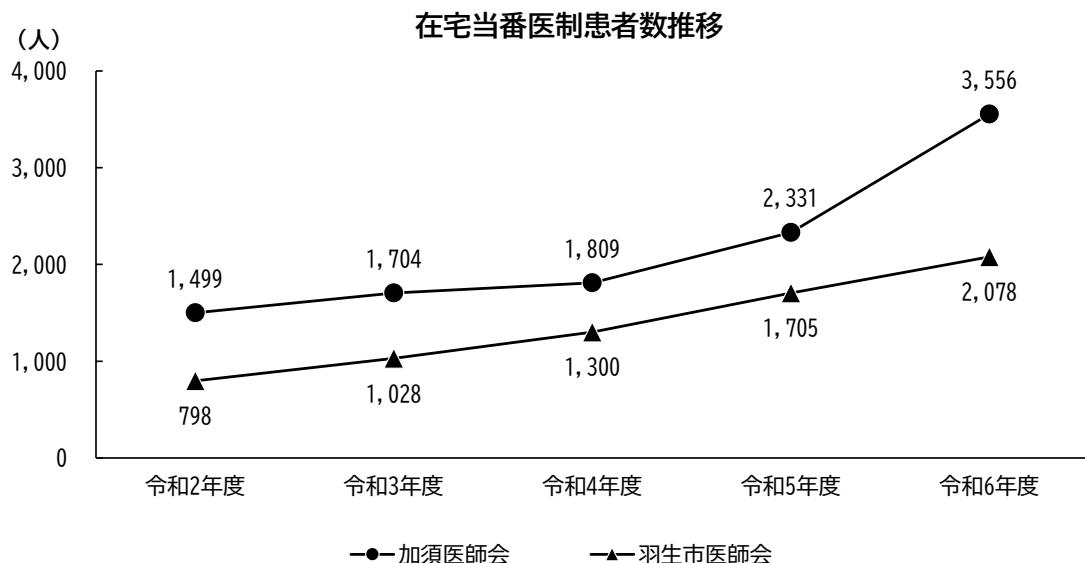
医療施設（令和5年10月1日現在）

	病院		地域医療支援病院 (再掲)	救急告示病院 (再掲)	一般診療所	歯科診療所
	一般病院	精神病院				
加須市	5	1	1	4	49	50
人口10万人対数						
加須市	4.5	0.9	0.9	3.6	43.7	44.6
埼玉県平均	4.7	0.6	0.3	2.5	61.8	47.9
全国平均	6.5	0.9	0.6	3.1	84.4	53.7

（資料：令和5年 厚生労働省医療施設調査）

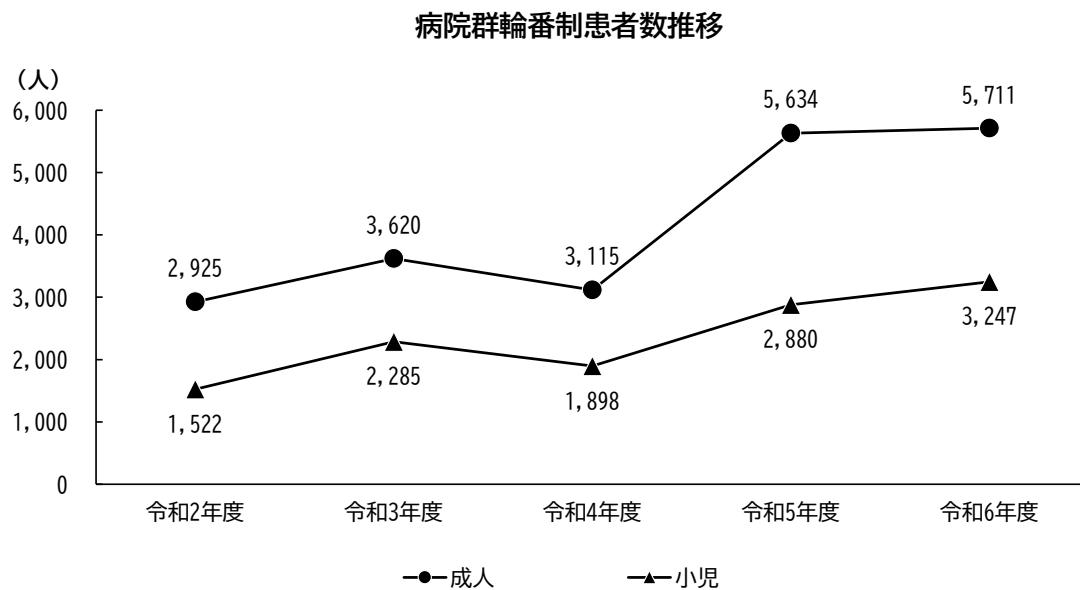
(2) 休日等の医療提供体制の状況

本市では医療機関の協力のもと、入院を必要としない軽症患者に対する初期救急医療体制として、日曜・祝日の診療（在宅当番医制）や土曜日・日曜日・祝日の夜間における診療（救急医療支援事業）を実施しています。



（資料：いきいき健康医療課）

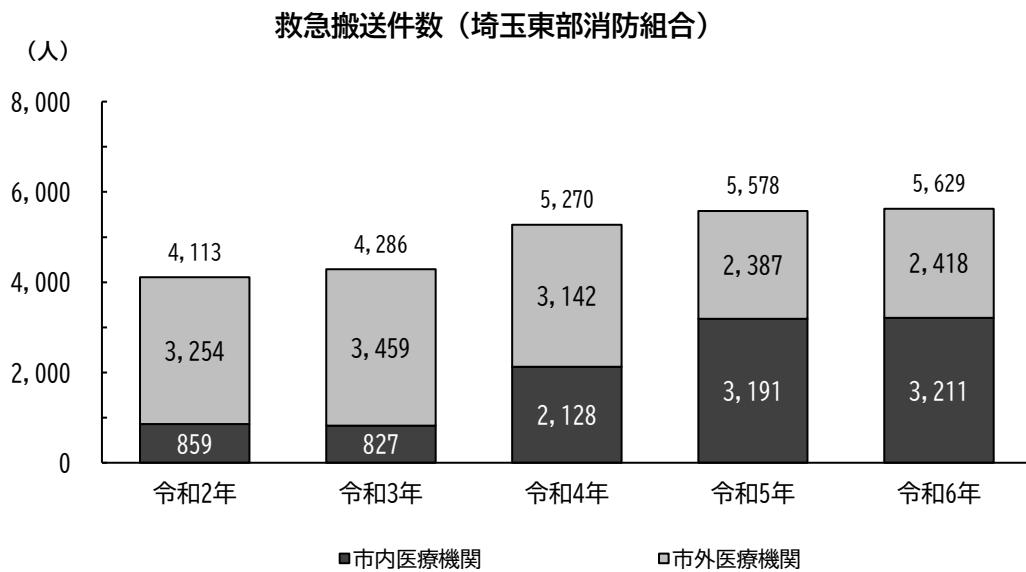
初期救急医療体制の後方支援として、手術や入院治療などを必要とする重症救急患者に対する第二次救急医療体制として、埼玉県東部北地区（6市2町）の第二次救急医療機関が連携し、輪番方式で休日・夜間等の重症患者の受け入れを実施しています。（病院群輪番制）



（資料：いきいき健康医療課）

（3）救急搬送の状況

本市の令和6年における搬送人員は、合計で5,629人となっており、年々増加傾向となっています。



（資料：救急医療体制推進協議会資料）

(4) 診療科目

本市の医療施設における診療科目数は以下のとおりです。なお、産婦人科はスピカレディースクリニックの1か所のみとなっています。

診療科目	病院 (6施設)	一般診療所 (49施設)
内科	6	39
呼吸器内科	2	6
循環器内科	4	9
消化器内科(胃腸内科)	3	10
腎臓内科	1	—
脳神経内科	1	1
糖尿病内科(代謝内科)	2	4
血液内科	1	—
皮膚科	5	4
アレルギー科	—	4
リウマチ科	1	—
小児科	3	15
精神科	1	1
心療内科	1	—
外科	5	8
呼吸器外科	1	—

診療科目	病院 (6施設)	一般診療所 (49施設)
循環器外科(心臓・血管外科)	1	—
乳腺外科	1	—
消化器外科(胃腸外科)	3	—
泌尿器科	3	2
肛門外科	2	—
脳神経外科	1	2
整形外科	5	8
形成外科	4	—
眼科	2	3
耳鼻いんこう科	2	2
小児外科	3	—
産科	—	1
リハビリテーション科	4	4
放射線科	2	—
麻酔科	1	—
救急科	1	1

(資料：令和5年 埼玉県保健統計年報)

(5) 在宅医療

在宅医療とは、病気や体の衰えなどにより、医療機関へ通院することが困難になった時や病院から退院後に在宅での療養が必要になった時などに、医師や看護師などが自宅などに訪問して診察・治療・健康管理などを行うものです。

定期的に訪問して診察・医療処置などを受ける「訪問診療」、急な状況変化などに医師がかけつけて診察する「往診」があります。

在宅医療サービスの実施状況（令和5年10月1日現在(件数：9月1日～30日)）

	病院						一般診療所					
	往診		在宅患者訪問診療		在宅看取り		往診		在宅患者訪問診療		在宅看取り	
	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数
埼玉県	70	1,260	100	9,987	33	126	575	15,068	562	81,048	230	1,108
加須市	1	1	3	90	2	2	10	85	11	480	5	7

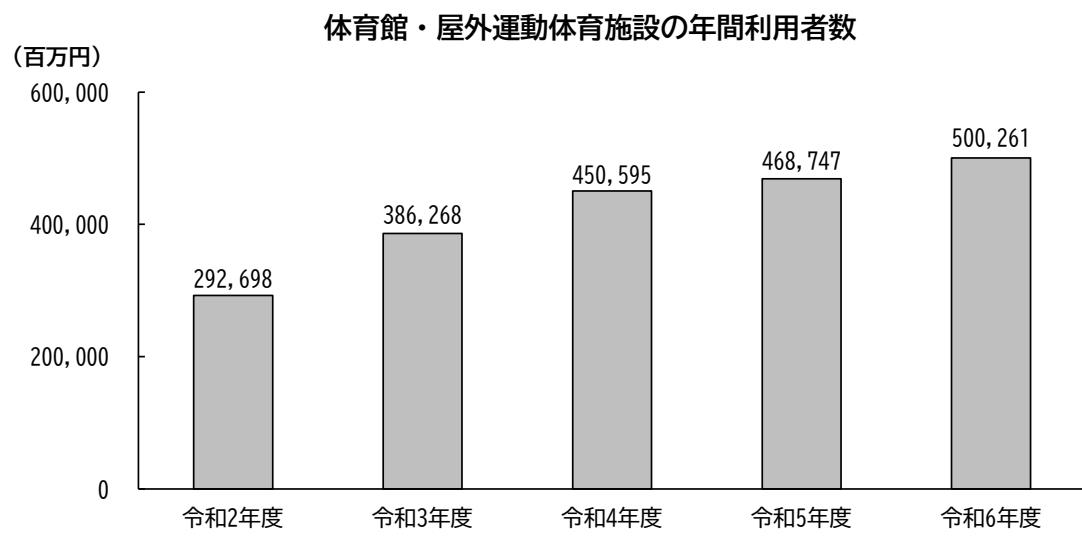
(資料：令和5年 埼玉県保健統計年報)

3. スポーツ推進に関する状況

1 スポーツ施設

(1) 公共スポーツ施設

市内には、体育館や野球場、テニスコートなど、屋内外に40のスポーツ施設があり、年間50万人程度が利用しています。

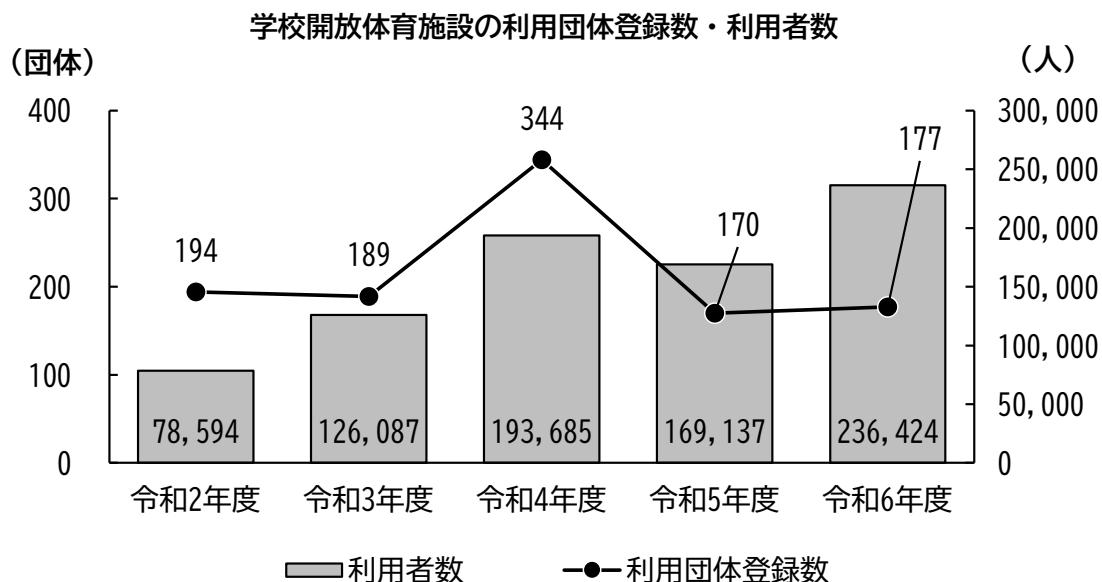


(資料：スポーツ振興課)

(2) 学校開放施設

市内小・中学校の体育館や校庭を市民のスポーツ活動の場として開放しています。

学校開放体育施設の利用団体登録数・利用者数は、令和6年度の利用団体登録数は177団体、利用者数は236,424人となっています。



(資料：スポーツ振興課)

(3) 国・県・スポーツ団体の管理する施設

埼玉県利根地域のレクリエーションの核である県営加須はなさき公園は、7つのプールのほか、自然観察園や芝生広場、ボート、マス釣り、貸し自転車など四季を通じて楽しめます。

公益財団法人埼玉県サッカー協会が管理・運営を行う「彩の国KAZOヴィレッジ（SFAフットボールセンター）」は、多くのサッカー愛好者が集う施設となっています。

サイクリングやウォーキングで人気な利根川河川敷では、舗装された直線道路の工事用道路を利用した自転車ロードレース大会が開催されています。

栃木県・群馬県・茨城県と隣接する雄大な渡良瀬遊水地では、貯水池の谷中湖やその周辺にはサイクリングやランニングに最適なコースがあり、トライアスロン大会が開催されています。

(4) 民間施設

市内には、フィットネスジム、プール、バッティングセンター、フットサル場、ゴルフ練習場、ボウリング場などの民間スポーツ施設が多数あり、多くの市民が利用しています。このようにスポーツの分野でも、民間スポーツ施設の果たす役割は欠かせないものとなっています。

2 全国大会等

女子硬式野球では、加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）を中心として、全国高等学校女子硬式野球選抜大会を開催し、「女子野球の聖地」として定着しています。スポーツクライミングでは、加須市民体育館のクライミングウォールなどを活用し、全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会やリードKAZOクライミングカップを開催し、「クライミングのまち」として知られています。

このほかにもトライアスロン、自転車ロードレースの全国規模の大会を数多く誘致しており、市民のスポーツへの参加意欲の向上や地域の活性化が図られています。

第2節 前計画の達成状況

以下に、前計画である「第3次加須市健康づくり推進計画（「食育推進計画」を含む）」「第2次加須市歯と口の健康づくり基本計画」「加須市地域医療ビジョン」「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」の達成状況を示します。

（1）第3次加須市健康づくり推進計画の達成状況

令和6年度における数値目標の達成状況は、「目標を達成」と「概ね達成」を合わせると75.8%であり、健康づくりを推進するための各事業は概ね順調に実施されています。

本市の健康寿命は、令和元年と比較すると男性、女性ともに長くなっていますが、令和5年の県内順位はそれぞれ32位と44位で、男性は上昇し女性は下がっています。

今後も、より一層、市民の健康への関心を高める工夫を重ねながら、市民との協働により「埼玉一の健康寿命のまち」の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

<評価の区分ごとの項目数、割合>

区分	該当項目数	割合
1 目標を達成	29項目	30.5%
2 概ね達成	43項目	45.3%
3 やや遅れている	10項目	10.5%
4 大幅に遅れている	13項目	13.7%
合計	95項目	100.0%

（加須市健康づくり推進計画の成果指標全99項目中、令和6年度実績値が算出できない4項目を除き、95項目を評価）

なお、数値目標の達成状況については、次の4つの区分で判定しています。

評価区分	評価の説明
1 目標を達成	成果指標の実績値が目標値の100%以上に達成したもの
2 概ね達成	成果指標の実績値が目標値の80%以上に達成したもの
3 やや遅れている	成果指標の実績値が目標値の80%未満となったもの
4 大幅に遅れている	成果指標の実績値が目標値の50%未満となったもの

【病気の発症予防と重症化予防】

指標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評価
国保健診の受診率	41.4%	60%	39.9%	3
肺がん検診の受診率	18.9%	50%	10.7%	4
大腸がん検診の受診率	25.0%	50%	13.1%	4
がん検診要精密検査年間受診率	81.6%	90%	86.2%	2
人工透析新規導入者数	27人	21人	集計中	4

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 價
生活習慣病予防講座の出席者数	10,548人	11,000人	8,978人	2
血圧計の設置数	23か所	39か所	41か所	1
訪問対象者に対する被訪問指導実施者数の割合	84.6%	100%	96.1%	2
ウェブを利用した受診申込の割合	—	20%	29.5%	1
健康講座の出席者数	5,097人	5,600人	3,972人	3
国保健診の受診率	41.4%	60%	39.9%	3
健康まつりの実施数	4か所	4か所	2か所	3
感染症予防のためのメール配信	42	45	14	4
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種率(65歳)	49.4%	60%	28.1%	3

【生活習慣の改善推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 價
適正体重維持のための食事内容や量を理解している人の割合	71.2%	73%	67.1%	2
野菜をしっかり食べる人の割合	65.8%	68%	58.5%	2
朝食を毎日とっている人の割合	82.8%	85%	78.7%	2
「我が家の味自慢!健康食メニュー」の累計数	49品	53品	64品	1
塩分のとり方に注意していることがある人の割合	82.8%	85%	86.7%	1
食生活改善推進員養成講座修了延べ人数	394人	405人	419人	1
加須市や近隣地域の生産物や県内産のものを意識して選ぶことがある人の割合	41.9%	44%	46.8%	1
学校給食への地元野菜の消費割合	17.3%	19%	15.8%	2
運動をいつもしている又は時々している人の割合	64.5%	67.0%	55%	2
筋力アップトレーニングの実践者	1,365人	1,750人	1,383人	2
健康づくりウォーキング大会の開催数	10	14	11	3
スポーツ教室参加人数	449人	800人	944人	1
週のうち、お酒を飲まない日をつくる人の割合	78.4%	80%	80.4%	1
出産後に飲酒している人の割合	2.6%	0%	3.1%	2
喫煙習慣のある人の割合	13.8%	11%	12.5%	2
公共施設で敷地内禁煙を実施している施設の割合	100%	100%	100%	1
フッ素塗布事業の参加者	463人	840人	134人	4
歯周病予防講座受講者数	26人	30人	18人	3
8020お達者歯科健診表彰者の平均現在歯数	25.2本	25本	27.3本	1
成人歯科検診の受診者数	408人	450人	379人	2
成人歯科検診受診者平均現在歯数(64歳以下)	28.1本	28本	26.9本	2
成人歯科検診受診者平均現在歯数(65歳以上)	23.1本	25本	22.5本	2

【妊産婦と子の健康づくりの推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
不妊治療による妊娠者数	23%	44%	44%	1
妊婦健診の受診率(1 目妊婦健診受診者数÷妊婦届出者)×100	95.7%	100%	98.3%	2
パパママ学級参加者で、育児に対する不安が減ったと回答した人の割合	100%	98.2%	98.2%	2
すくすく子育て相談室延相談件数	2,252件	2,300件	3,469件	1
支援プラン対象家庭の終結割合(3~4か月健診時点)	25.3%	30.0%	30.9%	1
こんにちは赤ちゃん訪問件数割合	98.9%	100%	集計中	—
3~4か月児健診受診者	97.4%	100%	96.7%	2
3~4か月健診後のフォロー者割合	88.4%	100%	集計中	—
乳幼児健診等で紹介児の親子・育児教室への参加割合	81.8%	85%	86.7%	1
訪問件数	906件	1,600件	435件	4
フッ素塗布を受ける子どもの人数	463人	840人	134人	4
3歳児健診のむし歯のない子の割合	88.1%	86%	92.5%	1
MR(麻しん・風しん混合)第2期の接種率	96.2%	97%	92%	2
3~4ヶ月児健診後のフォロー者割合	88.4%	100%	93.8%	2
乳幼児健診等で紹介した児の教室への参加割合	82.0%	85.0%	86.7%	1
乳児期の栄養や食事づくりについて理解できた参加者の割合	100%	100%	100%	1
支援プラン対象家庭の終結割合(3~4か月健診時点)	25.3%	30.0%	30.9%	1
産後ケア事業利用件数	3件	20件	31件	1
申請に対する訪問率	100%	100%	100%	1

【高齢者の健康づくりと介護予防の推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
個別支援対象者に対する保健指導の実施率	—	100%	90.2%	2
フレイル予防の健康教育の開催数	—	60回	62回	2
国保健診の受診率	41.4%	60%	39.9%	3
後期高齢者健診の受診率	27.1%	40%	31%	2
フレイル予防の健康教育の開催数	—	60回	62回	2
筋力アップトレーニング事業参加者の体力年齢若返り	7.5歳	10歳	1.6歳	4
ふれあいサロン設置数	122か所	156か所	136か所	2
ふれあいサロン設置数	122か所	156か所	136か所	2
筋力アップトレーニングの実践者	1,365人	1,750人	1,383人	2
老人クラブ加入率(会員数÷60歳以上人口)	8.8%	8.0%	7.1%	2
シニアいきいき大学受講生の受講率	78%	90%	85%	2
健康づくりウォーキング大会の開催数	10	14	11	3
地域交流事業の一般参加者数	2,280人	2,200人	815人	4
シルバーパートナーセンターの会員数	867人	1,000人	1,002人	1

【こころの健康づくりの推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
こころの体温計アクセス数	14,392件	24,000件	27,123件	1
趣味や楽しみなどで気分転換できる人の割合	75%	85%	76.8%	2
普段の睡眠で休養が取れている人の割合	74%	84%	73.2%	2
地域交流事業の一般参加人数	2,280人	2,200人	815人	4
こころの健康相談の利用率	50%	80%	95.6%	1
ゲートキーパー研修の定員に対する参加率	100%	100%	82.9%	2
趣味や楽しみなどで気分転換できる人の割合	75%	85%	76.8%	2
普段の睡眠で休養が取れている人の割合	74%	84%	73.2%	2
悩みやストレスを気軽に相談できる人の割合	72%	82%	74.1%	2

【地域医療体制づくり】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
(中核病院と市内医療機関の連携・役割分担の推進)	—	—	—	2
とねっとに参加する市民の人数	14,469人	18,400人	—	—
訪問対象者に対する被訪問指導実施者数の割合	84.6%	100%	96.1%	2
市の支援制度を利用した看護師及び准看護師数	—	5人	1人	4
新たに開設した医療機関数	0施設	1施設	0施設	4
(適正受診の促進)	—	—	—	2
休日在宅当番医制の実施率	100%	100%	100%	1
(小児救急医療の充実)	—	—	—	2
市内医療機関への救急搬送者数の割合	26%	58%	57%	1
国民健康保険税の収納率	92.5%	93.5%	94.9%	1
国保健診の受診率	41.4%	60%	39.9%	3
後期高齢者医療保険料の収納率	99.5%	99.6%	99.4%	2
後期高齢者健診の受診率	27.1%	40%	31%	2

【新たな感染症対策の迅速・適切な実施】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
新型コロナワクチン予防接種率(令和3年度)	—	100%	23.9%	4
有症状時のPCR検査に伴うCT検査等費用助成	—	—	—	—
(正しい知識の普及啓発)	—	—	—	2
こころの健康相談の利用率	50%	80%	95.6%	1
すくすく子育て相談室 延相談件数	2,100	2,300	3,469	1
(市民生活への支援)	—	—	—	2
(事業者への支援)	—	—	—	2

(2) 第2次加須市歯と口の健康づくり基本計画の達成状況

令和6年度における数値目標の達成状況は、「目標を達成」と「概ね達成」を合わせると77.8%であり、歯と口の健康づくりを推進するための各事業は概ね順調に実施されています。

<評価の区分ごとの項目数、割合>

区分	該当項目数	割合
1 目標を達成	18項目	50.0%
2 概ね達成	10項目	27.8%
3 やや遅れている	5項目	13.9%
4 大幅に遅れている	3項目	8.3%
合計	36項目	100.0%

(加須市歯と口の健康づくり基本計画の成果指標全36項目を評価)

数値目標の達成状況については、次の4つの区分で評価しています。

評価区分	評価の説明
1 目標を達成	成果指標の実績値が目標値の100%以上に達成したもの
2 概ね達成	成果指標の実績値が目標値の80%以上に達成したもの
3 やや遅れている	成果指標の実績値が目標値の80%未満となったもの
4 大幅に遅れている	成果指標の実績値が目標値の50%未満となったもの

【出生前期（妊婦・胎児）】

指標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評価
妊婦の成人歯科検診受診率の増加	11%	50%	14.9%	4

【乳幼児期】

指標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評価
1歳6か月児健康診査歯科診察受診率	100%	100%	100%	1
2歳児健康診査歯科診察受診率	100%	100%	100%	1
3歳児健康診査歯科診察受診率	100%	100%	100%	1
3歳児の1人平均むし歯数	0.46本	0.45本	0.35本	1
3歳児のむし歯のない子の割合	88.1%	90.0%	92.5%	1
3歳児の仕上げみがきをする保護者の割合	97.7%	100%	97.5%	2
フッ素塗布事業の参加者	463人	840人	134人	4
幼稚園健康診断歯科健診（定期健診）受診率	100%	100%	100%	1
幼稚園歯科保健指導実施園	13園	13園	8園	3
就学児健康診断歯科健診受診率	100%	100%	100%	1

【学齢期】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
学校健康診断歯科健診（定期健診）受診率	100%	100%	94.1%	2
12歳児の1人平均むし歯数	0.49本	0.48本	0.38本	2
12歳児のむし歯のない子の割合	74.4%	75.0%	78.2%	1
フッ素塗布を受ける子の割合	96.5%	100%	82.7%	2
学校歯科保健指導実施校	30校	30校	30校	1

【成人期・高齢期】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
成人歯科検診受診者数	408人	450人	379人	2
成人歯科検診受診者の平均現在歯数（親知らずを除く）64歳以下	27.0本	28本	26.8本	2
成人歯科検診受診者の平均現在歯数（親知らずを除く）65歳以上	22.6本	25本	22.5本	2
定期的に成人歯科検診を受ける人の割合	30.6%	40.0%	35.2%	2
歯間清掃用具（歯間ブラシ、フロス等）を使用する人の割合	52.7%	60.0%	62%	1
歯肉炎・歯周病を有する人の割合 64歳以下	61.8%	45.0%	62.1%	3
歯肉炎・歯周病を有する人の割合 65歳以上	73.2%	70.0%	51.7%	1
8020お達者歯科健診表彰者の平均現在歯数	25.2本	27本	27.3本	1
歯周病予防講座受講者数	26人	30人	18人	3
おとなの歯科相談者数	16人	20人	15人	3
オーラルフレイルの周知実施	-	75回以上	20回	4
ふれあいサロン等への出前講座	-	1回以上	62回	2

【特別な支援が必要な人（障がい者・要介護者など）】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
幼稚園健康診断歯科健診（定期健診）受診率	100%	100%	100%	1
就学児健康診断歯科健診受診率	100%	100%	100%	1
学校健康診断歯科健診（定期健診）受診率	100%	100%	94.1%	2
幼稚園歯科保健指導実施園	13園	13園	8園	3
学校歯科保健指導実施校	30校	30校	30校	1
心身障がい者（児）歯科診療の周知	2回	2回	2回	1
在宅歯科診療の周知	-	1回以上	1回	1
歯科医の参加を得て開催する地域ケア会議で検討したケアプランの数	24件	24件	32件	1

(3) 加須市地域医療ビジョンの達成状況

令和6年度における数値目標の達成状況は、「目標を達成」と「概ね達成」を合わせると66.6%であり、地域医療を推進するための各事業は概ね順調に実施されています。

<評価の区分ごとの項目数、割合>

区分	該当項目数	割合
1 目標を達成	4項目	22.2%
2 概ね達成	8項目	44.4%
3 やや遅れている	1項目	5.6%
4 大幅に遅れている	5項目	27.8%
合計	18項目	100.0%

(加須市地域医療ビジョンの成果指標全21項目中、令和6年度実績値が算出できない項目を除き、18項目を評価)

数値目標の達成状況については、次の4つの区分で評価しています。

評価区分	評価の説明
1 目標を達成	成果指標の実績値が目標値の100%以上に達成したもの
2 概ね達成	成果指標の実績値が目標値の80%以上に達成したもの
3 やや遅れている	成果指標の実績値が目標値の80%未満となったもの
4 大幅に遅れている	成果指標の実績値が目標値の50%未満となったもの

【地域医療連携の推進】

指標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評価
(中核病院と市内医療機関の連携・役割分担の推進)	—	—	—	2
地域医療ネットワークシステム(とねっと)に参加する市民の数	14,469人	18,400人	—	—
北彩あんしんリングで情報共有されている患者数	29人	40人	33人	2
生活習慣病予防講座の出席者数	10,548人	11,000人	8,978人	2
人工透析新規導入者数	27人	21人	—	—
肺がん検診の受診率	18.9%	50%	10.7%	4
大腸がん検診の受診率	25.0%	50%	13.1%	4
がん検診要精密検査年間受診率	81.6%	90%	86.2%	2
国保健診の受診率	41.4%	60%	39.9%	3
後期高齢者健診の受診率	27.2%	32%	31%	2

【地域医療資源の確保】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
市内の医療機関に勤務する看護師及び准看護師数	402人	810人	—	—
市の支援制度を利用した看護師及び准看護師延べ人数推計	—	5人	1人	4
北川辺診療所受診患者数	11,512人	12,590人	9,850人	2
新たに開設した市内の産婦人科医療機関数	—	1施設	0施設	4
市内の災害拠点病院数	—	1施設	1施設	1

【救急医療体制の充実】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 価
(適正受診の促進)	—	—	—	2
市内医療機関への救急搬送者数の割合	26%	58%	57%	1
休日在宅当番医制の実施率	100%	100%	100%	1
休日・夜間における二次救急医療体制の整備率	100%	100%	100%	1
小児科医による救急講座参加者数	304人	380人	68人	4
(救急ワークステーションの整備による救急体制の強化)	—	—	—	2

(4) 第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画の達成状況

令和6年度における数値目標においては「目標を達成」と「概ね達成」を合わせると50.0%、取組内容においては「目標を達成」と「概ね達成」を合わせると78.9%となっています。

感染症対策や熱中症対策のため、開催規模や縮小や開催時期の変更により、「参加者数」や「観客数」などが減少し、関連する事業の実績値にもマイナスの影響を及ぼしました。しかしながら、各種教室などを可能な限り開催し、スポーツの普及推進を図ることができました。

<数値目標の達成状況>

区分	事業	割合
1 目標を達成	9事業	34.6%
2 概ね達成	4事業	15.4%
3 やや遅れている	10事業	38.5%
4 大幅に遅れている	3事業	11.5%
合 計	26事業	100.0%

<事業の達成状況>

区分	事業	割合
1 目標を達成	22事業	31.0%
2 概ね達成	34事業	47.9%
3 やや遅れている	10事業	14.1%
4 大幅に遅れている	5事業	7.0%
合 計	71事業	100.0%

なお、数値目標と事業の達成状況については、次の4つの区分で判定しています。

評価	達成率	
	指標設定がある場合	指標設定がない場合
1 目標を達成	100%以上	—
2 概ね達成	80%以上100%未満	実施すべき取組を円滑に行えた
3 やや遅れている	50%以上80%未満	実施すべき取組にいくつか遅れがある
4 大幅に遅れている	50%未満	事業が滞ってしまっている

【ライフステージに応じたスポーツの推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
成人者の週1回以上スポーツ（運動）をする人の割合	34.1%	65.0%	32.6%	3
スポーツ少年団に入っている子どもの割合	11.1%	13.0%	11.8%	2
スポーツ・レクリエーション団体の加盟団体数及び加盟人数	279団体	280団体	245団体	3
	5,482人	6,000人	4,111人	
市民体育祭（地域体育祭）の参加者数	6,850人	7,100人	2,600人	4
スポーツ教室開催回数及び参加人数	15回	18回	13回	1
	449人	800人	944人	
グラウンド・ゴルフ競技人口（スポーツ協会加盟者数+レクリエーション協会加盟者数）	1,285人	1,400人	1,076人	3
グラウンド・ゴルフの大会開催回数	56回	60回	52回	2
ウォーキング大会（市、地域・地区スポーツ協会）開催数及び参加人数	10回	14回	11回	3
	1,442人	1,600人	1,426人	

【だれもが楽しめるスポーツの推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
障がい者の週1回以上のスポーツ実施率	32.1%	40%	50.0%	1
パラスポーツ体験会・教室開催回数	0回	2回	3回	1
障がい者スポーツ交流大会の参加者数	344人	300人	230人	3
体力年齢若返り	7.5歳	10歳	1.6歳	4

【スポーツ人材の充実】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会の市民ボランティアの人数	798人	800人	475人	3
指導者講習会・研修会開催回数	0回	2回	3回	1

【スポーツに親しめる場の充実】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 値
総合型地域スポーツクラブの設置数	1クラブ	3クラブ	1クラブ	4
総合型地域スポーツクラブの会員数	530人	900人	300人	
体育館・運動公園施設の年間利用者数	603,519人	680,000人	500,261人	3
学校開放体育施設の利用団体登録数及び利用者数	222団体	250団体	177団体	1
	179,709人	210,000人	236,424人	

【女子野球の推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 價
女子硬式野球観客数	14,926人	24,000人	22,300人	1
女子野球イベント（教室など）の開催回数	0回	2回	2回	1

【スポーツクライミングの推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 價
クライミングウォール利用者数	10,423人	13,000人	7,600人	3
クライミング大会開催数	2回	4回	3回	1
クライミング大会参加者数	-	1,500人	1,528人	1

【自転車の推進】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 價
レンタサイクル利用者数	950人	1,150人	1,004人	2

【全国大会等の支援】

指 標	当初値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6)	評 價
加須こいのぼりマラソン大会参加者数及び市民の参加者数	5,937人	6,500人	3,998人	3
	1,318人	1,500人	811人	
加須ふじの里駅伝大会への参加チーム数及び参加者数	278チーム	250チーム	185チーム	3
	1,694人	1,700人	1,103人	
全国大会等の誘致数	11大会	14大会	13大会	2

第3節 市民アンケート調査の結果

本計画を策定するに当たって、健康分野及びスポーツ分野における市民の普段の取組や考え方などについて把握し、計画の基礎資料とする目的として、市民アンケート調査を実施しました。

以下に調査の概要と主要な調査結果を示します。

(1) アンケート調査実施の概要

【調査対象】

【健康調査】

調査の種類	調査対象
市民	住民基本台帳より無作為抽出した15歳以上の市民1,500人

【スポーツ調査】

調査の種類	調査対象
市民	住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の市民1,000人
小学生	市立小学校5年生全児童809人
中学生・高校生	市立中学校2年生全生徒958人 市内の県立高校に通う市内在住の1・2年生70人
障がい者	障がい者手帳保有者から無作為抽出した18歳以上の市民50人
スポーツ団体等	スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会182団体

【調査方法】

【健康調査】

調査の種類	調査方法
市民	調査協力依頼文と回答用紙を郵送配布し、郵送またはインターネットによる回答での回収

【スポーツ調査】

調査の種類	調査方法
市民	調査協力依頼文と回答用紙を郵送配布し、郵送またはWEBによる回答での回収
小学生	学校を通じて調査協力依頼文を配布し、WEBによる回答での回収
中学生・高校生	中学生は、学校を通じて調査協力依頼文を配布し、WEBによる回答での回収 高校生は、学校を通じて調査協力依頼文と回答用紙を配布し、郵送またはWEBによる回答での回収
障がい者	調査協力依頼文と回答用紙を郵送配布し、郵送またはWEBによる回答での回収
スポーツ団体等	調査協力依頼文と回答用紙を郵送配布し、郵送またはWEBによる回答での回収

【調査期間】

【健康調査】

調査の種類	調査期間
市民	令和6年11月25日～令和6年12月16日

【スポーツ調査】

調査の種類	調査期間
市民	令和7年1月9日～令和7年1月31日
小学生	令和7年1月8日～令和7年1月31日
中学生・高校生	令和7年1月9日～令和7年1月31日
障がい者	令和6年12月6日～令和6年12月27日
スポーツ団体等	令和6年12月6日～令和6年12月27日

【配布・回収状況】

【健康調査】

調査の種類	配布数 (A)	回収数 (B)		有効回答率 (C/A)	有効回答率 (C/A)
		WEB/郵送	合計		
市民	1,500	143/443	586	586	39.1%

【スポーツ調査】

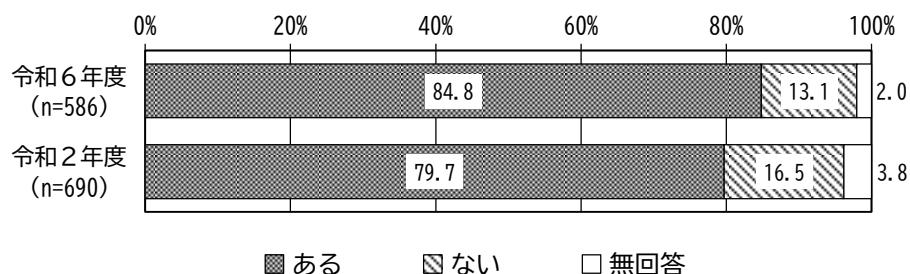
調査の種類	配布数 (A)	回収数 (B)		有効回答率 (C/A)	有効回答率 (C/A)
		WEB/郵送	合計		
市民	1,000	112/229	341	341	34.1%
小学生	809	672/0	672	672	83.1%
中学生・高校生	中学生 958 高校生 70	780/14	794	794	77.2%
障がい者	50	6/14	20	20	40.0%
スポーツ団体等	182	27/91	118	118	64.8%

調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

(2) 健康づくり推進、食育推進、歯・口腔の健康推進、地域医療体制確保の調査結果

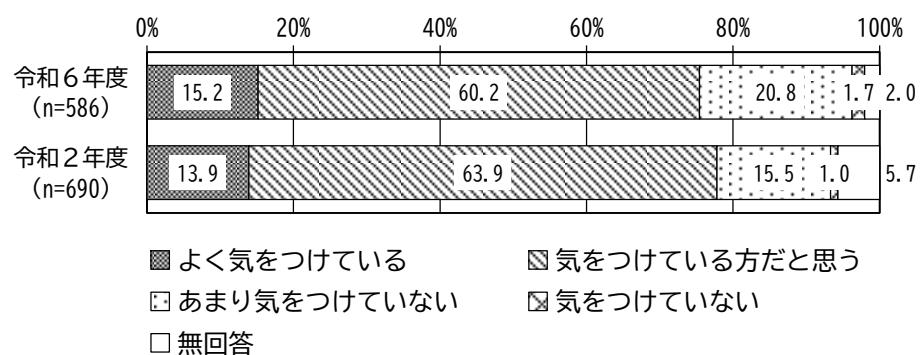
(15歳以上市民)

● 「健康寿命※」の認知度（※健康寿命の定義は●ページを参照。）



【病気の予防について】

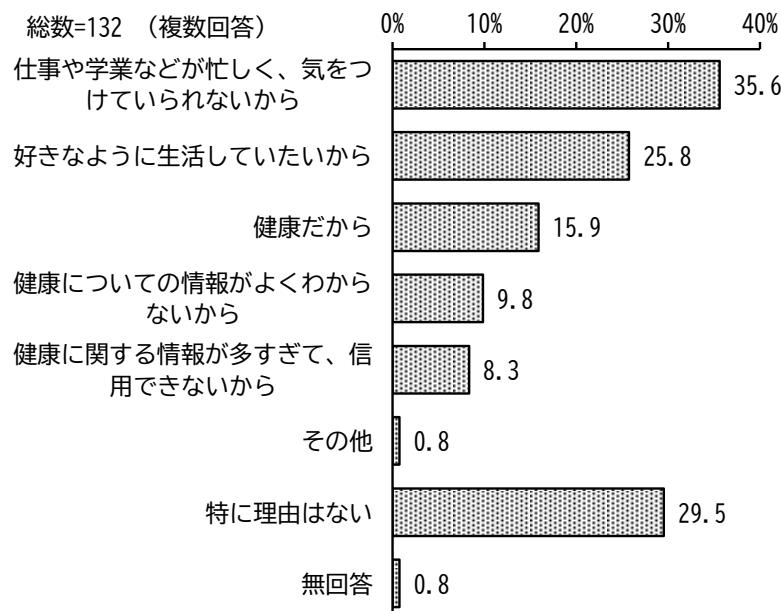
●自分の健康に気をつけているか



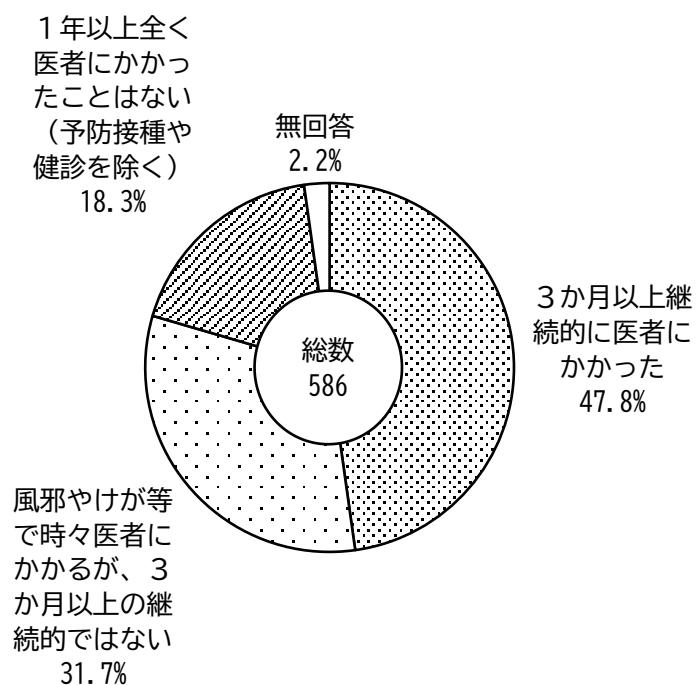
●自分の健康に気をつけているか（年齢別に見た割合）

	回答者数(n)	よく気をつけている方	だ気をつけていない	いあまり気をつけて	気をつけていない	無回答	(計)気をつけている	(計)気をつけていない	
全体	586	15.2	60.2	20.8	1.7	2.0	75.4	22.5	
年齢別	15歳～29歳	56	19.6	37.5	41.1	1.8	0.0	57.1	42.9
	30歳～39歳	59	8.5	54.2	32.2	3.4	1.7	62.7	35.6
	40歳～49歳	69	5.8	50.7	36.2	4.3	2.9	56.5	40.5
	50歳～59歳	71	12.7	59.2	23.9	2.8	1.4	71.9	26.7
	60歳～69歳	137	13.1	68.6	15.3	1.5	1.5	81.7	16.8
	70歳～79歳	176	21.6	67.0	9.1	0.0	2.3	88.6	9.1
	80歳以上	18	22.2	61.1	5.6	0.0	11.1	83.3	5.6

●健康に気をつけていない理由（複数回答）



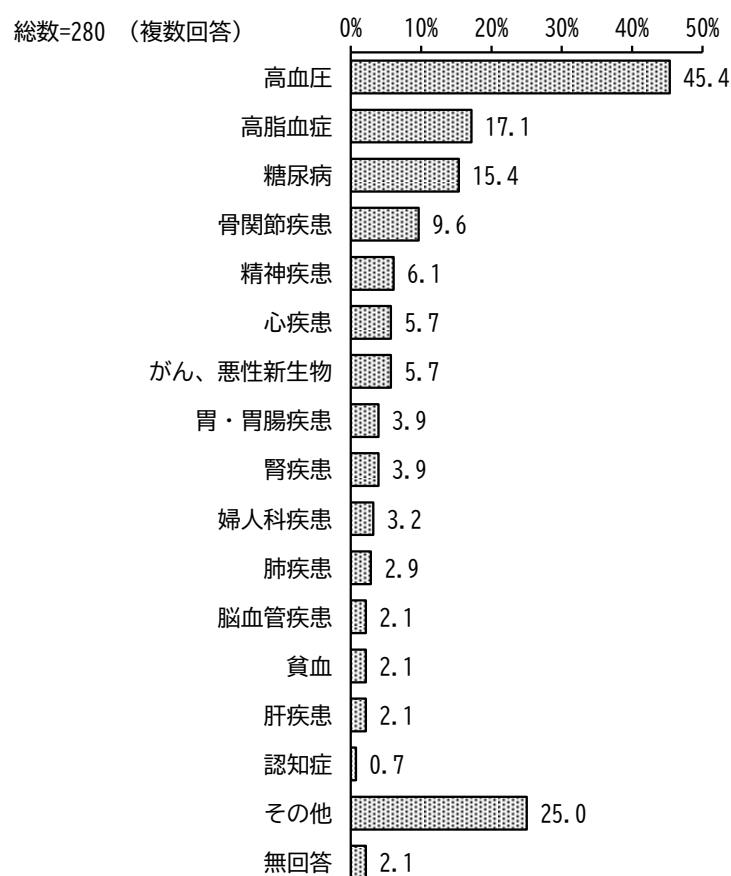
●過去1年間の3か月以上の継続的な通院状況



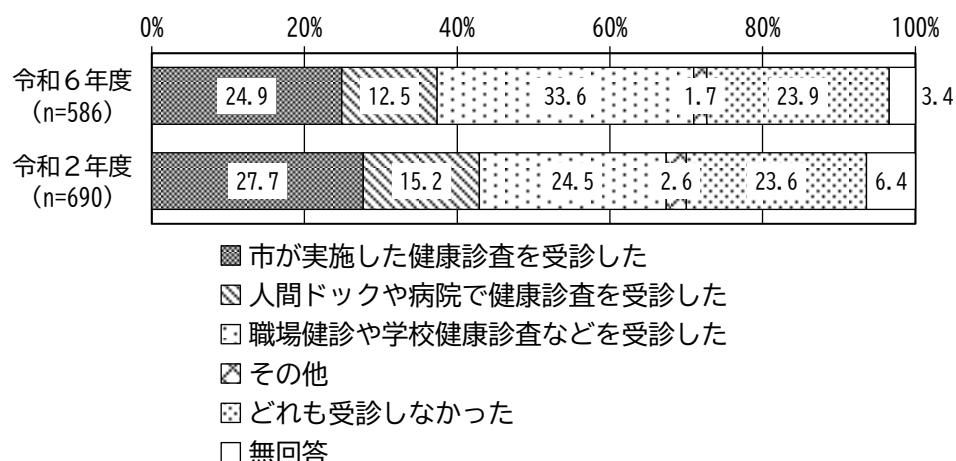
●過去1年間の3か月以上の継続的な通院状況（年齢別に見た割合）

		回答者数 (n)	者3か月以内にか月以上続いた継続的に医	以上に邪のかけがけが、では3時なか々い月医	以上に邪のかけがけが、では3時なか々い月医	か1年種接種で3時なか々い月医	か1年以上接種で3時なか々い月医	無回答
		全体	586	47.8	31.7	18.3	2.2	
年齢別	15歳～29歳	56	10.7	67.9	21.4	0.0		
	30歳～39歳	59	28.8	45.8	23.7	1.7		
	40歳～49歳	69	31.9	46.4	21.7	0.0		
	50歳～59歳	71	42.3	35.2	21.1	1.4		
	60歳～69歳	137	52.6	25.5	19.7	2.2		
	70歳～79歳	176	69.3	15.3	11.9	3.4		
	80歳以上	18	61.1	11.1	16.7	11.1		

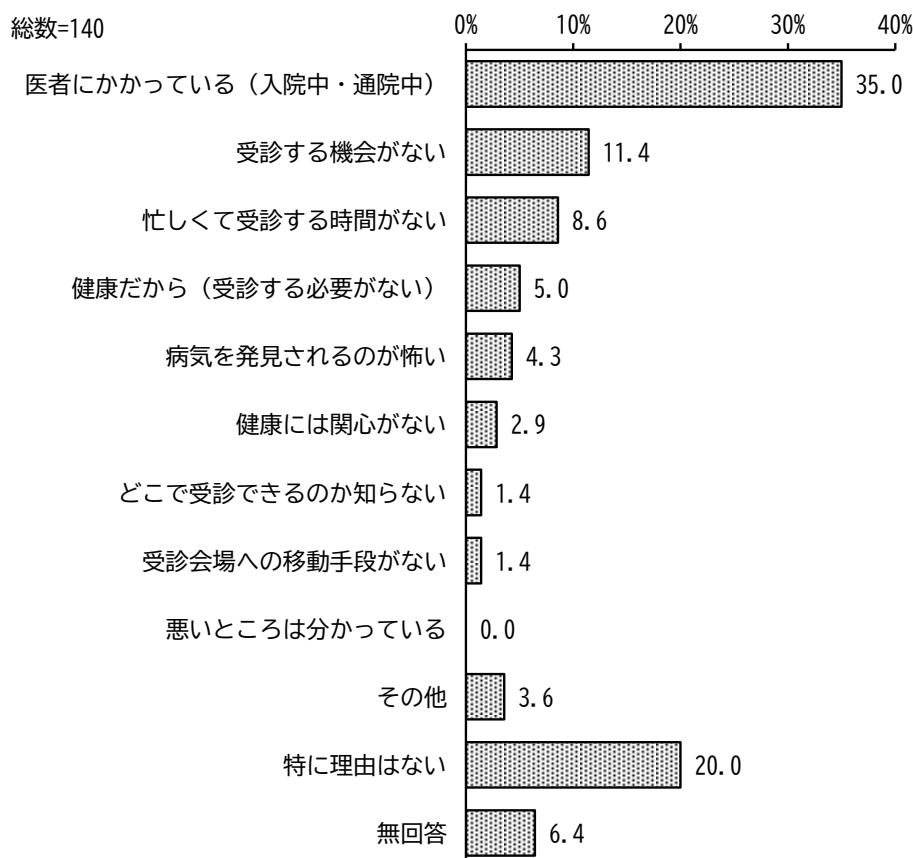
●3か月以上継続的に通院した病気（複数回答）



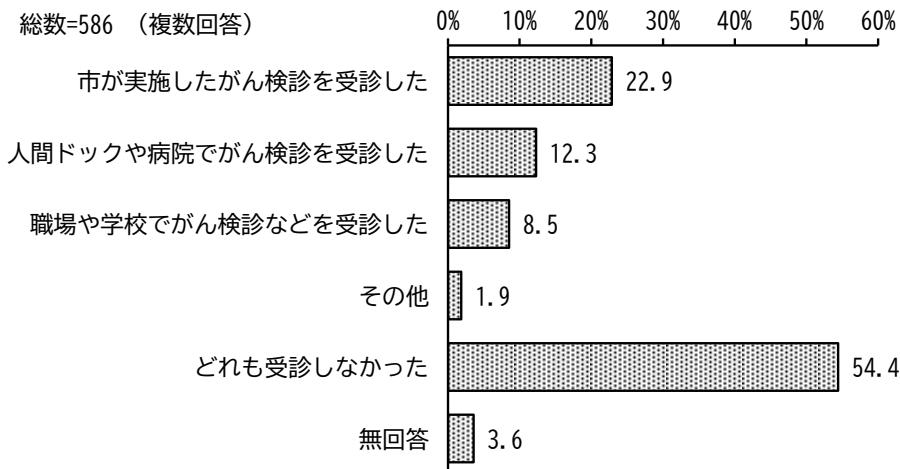
●健診の受診状況



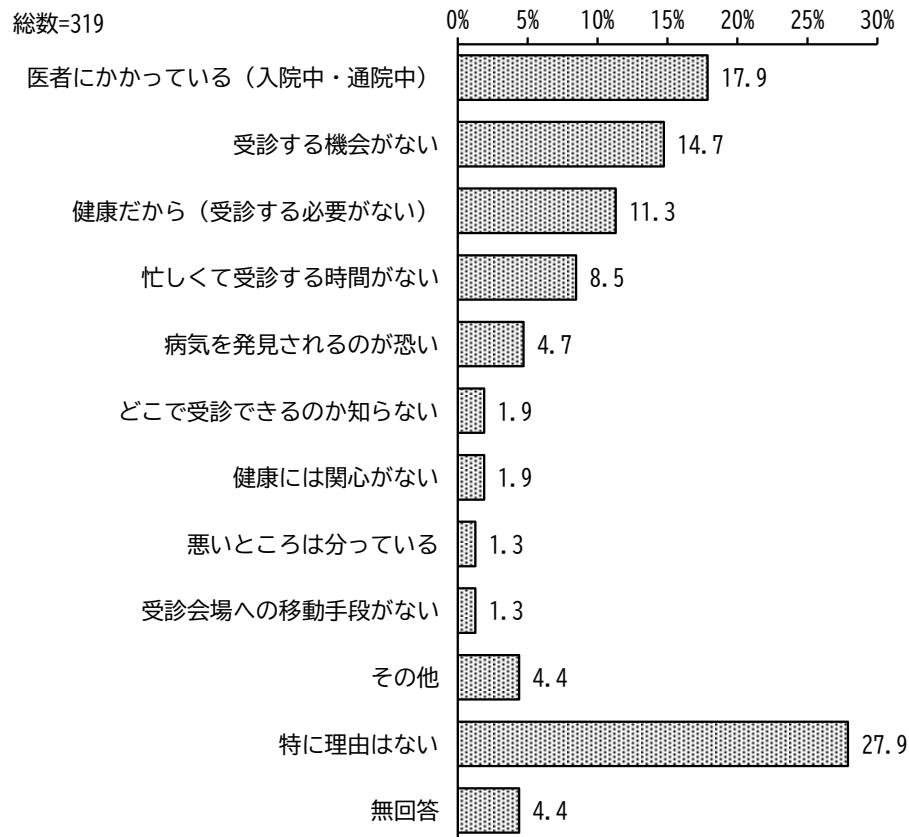
●健診を受けなかった理由



●がん検診の受診状況（複数回答）

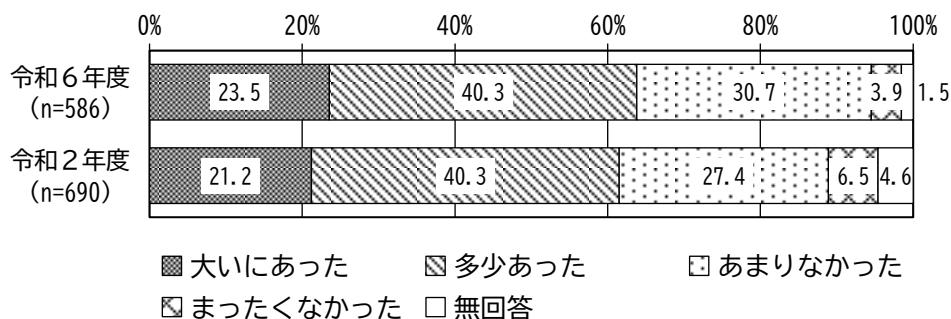


●がん検診を受けなかった理由

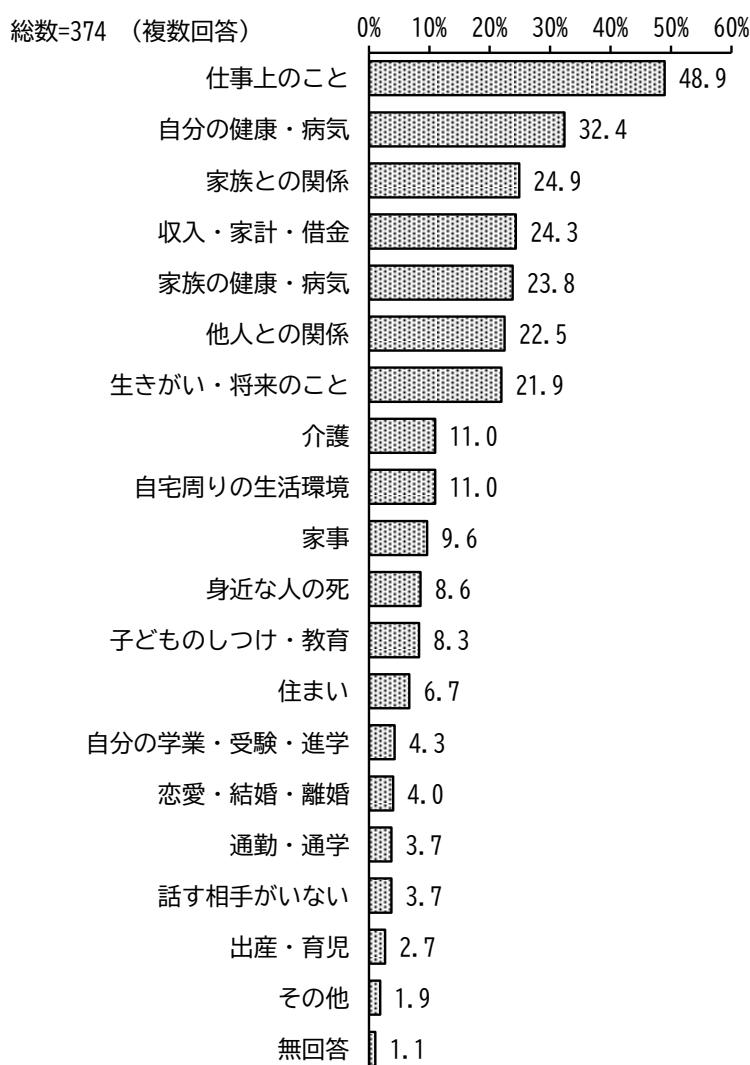


【こころの健康について】

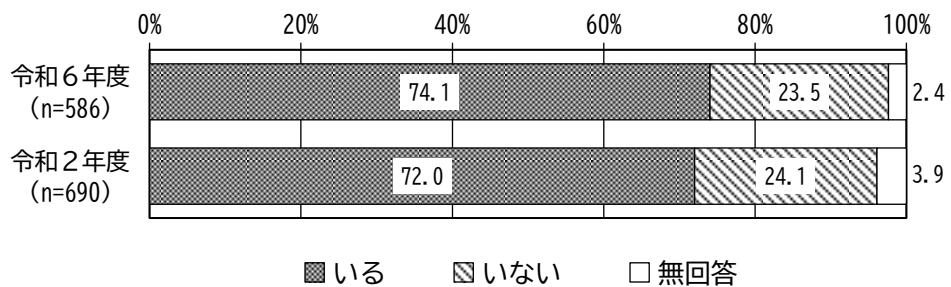
●この6か月間の不安や悩み、ストレスの有無



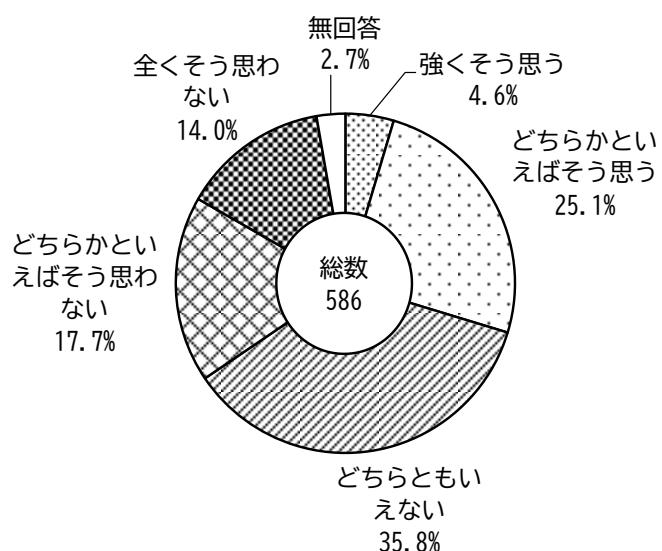
●ストレスの内容（複数回答）



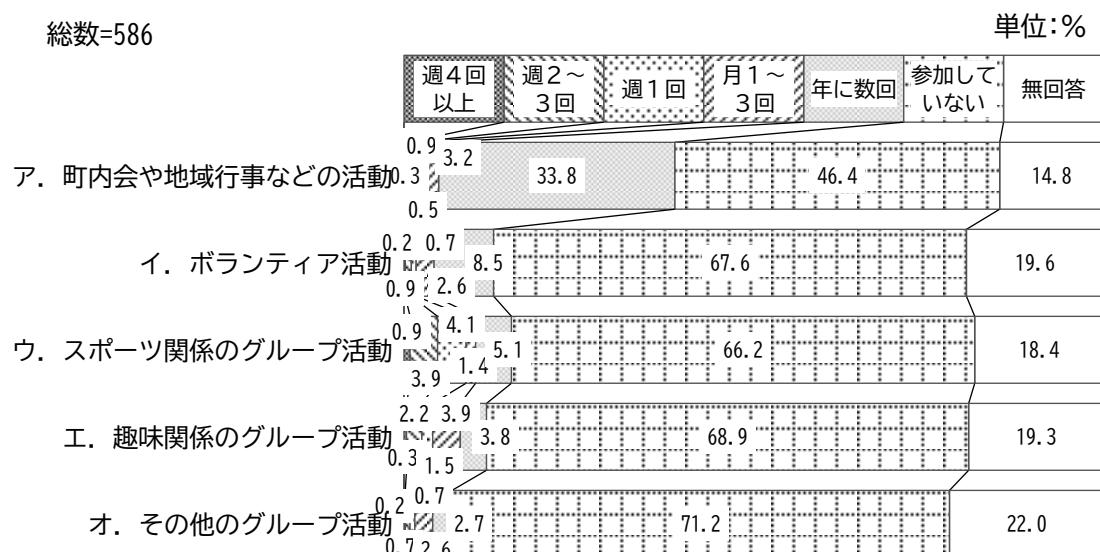
●悩みやストレスを気軽に相談できる人



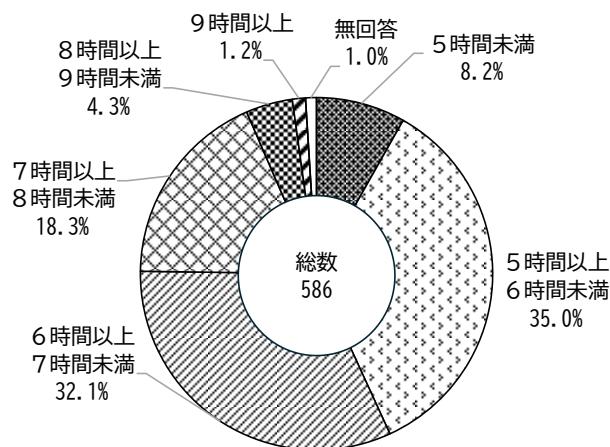
●地域の人々とのつながりが強いと思うか



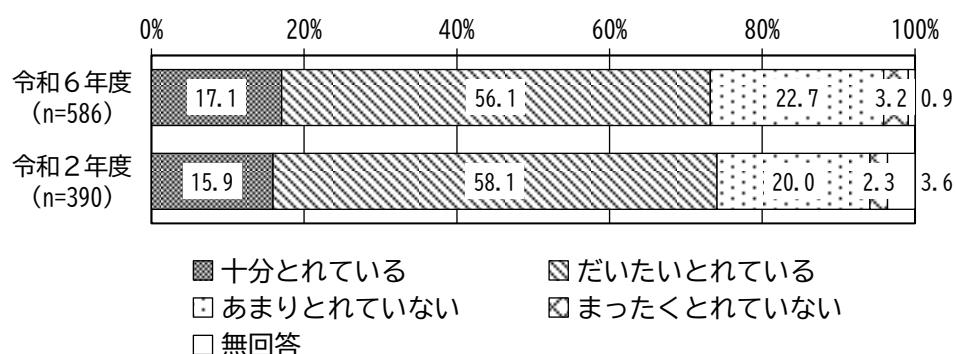
●社会活動を行っているか



●普段の睡眠時間

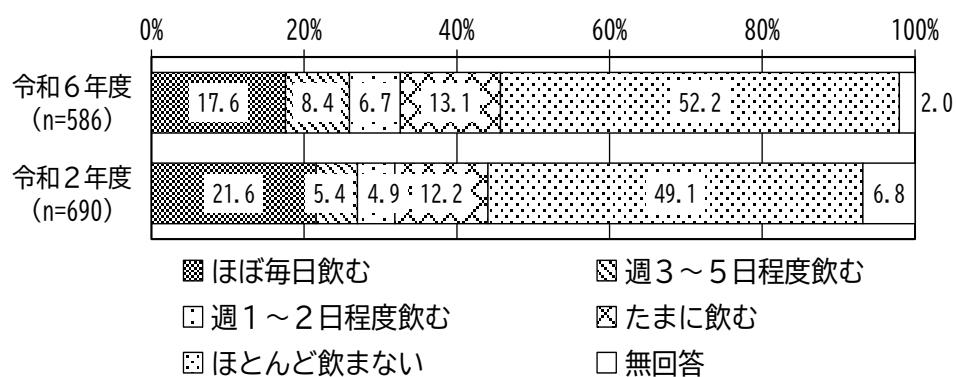


●睡眠による休養

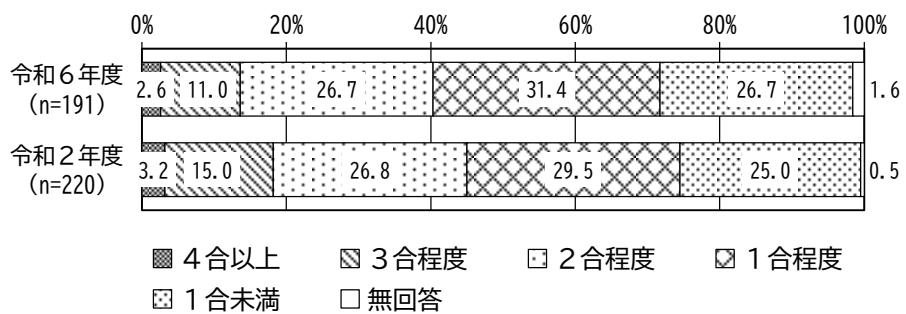


【飲酒・喫煙について】

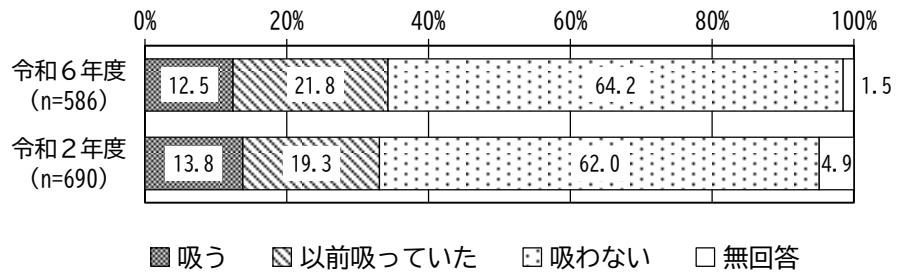
●飲酒状況



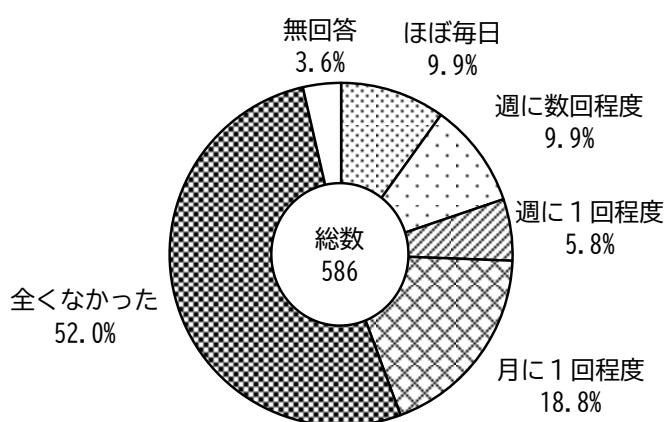
●飲酒量



●喫煙状況

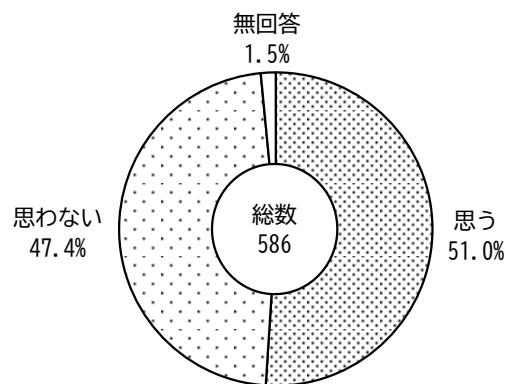


●この1か月間の受動喫煙の頻度

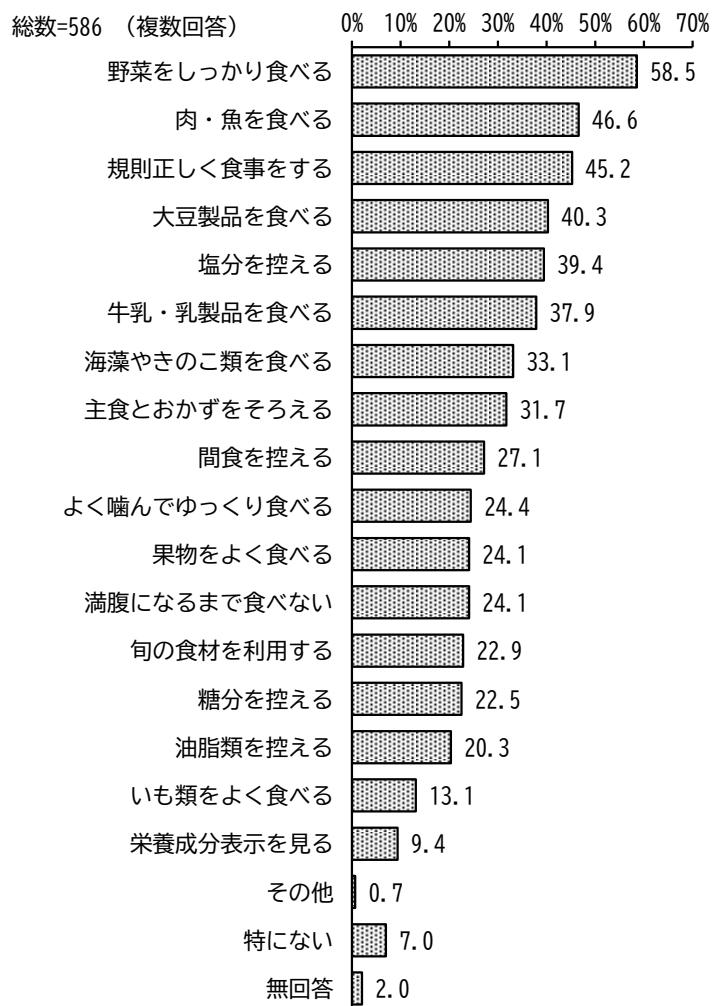


【食生活について】

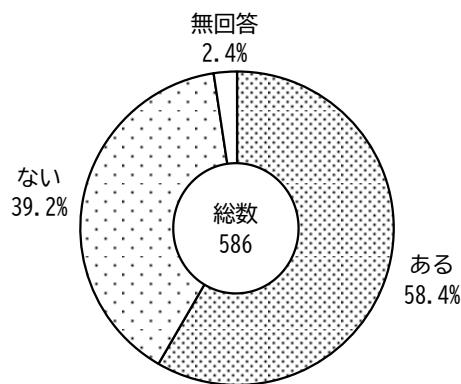
●自分の食生活に問題があると思うか



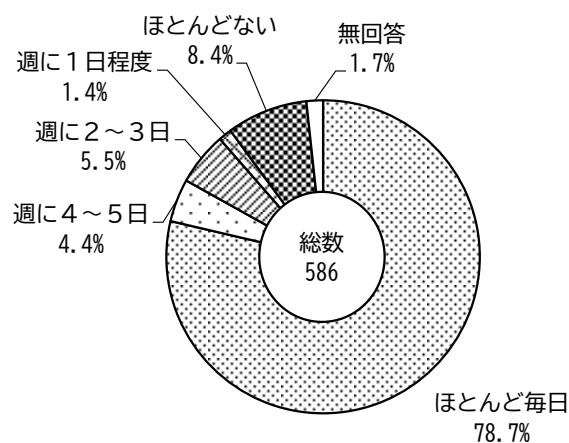
●食生活で実践していること（複数回答）



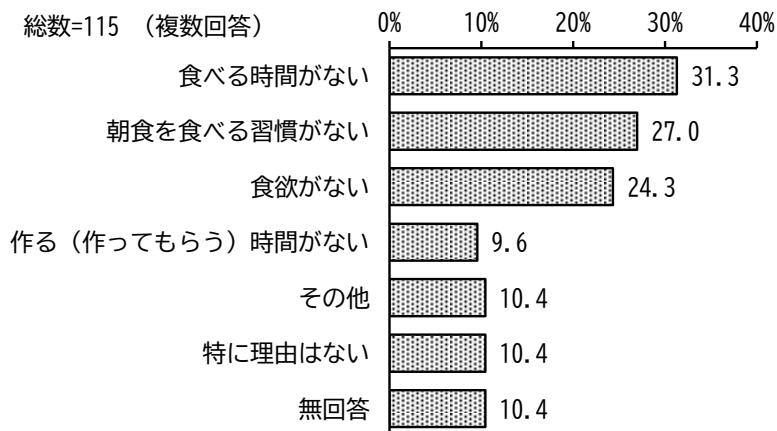
●塩分の摂り方について注意していることがあるか



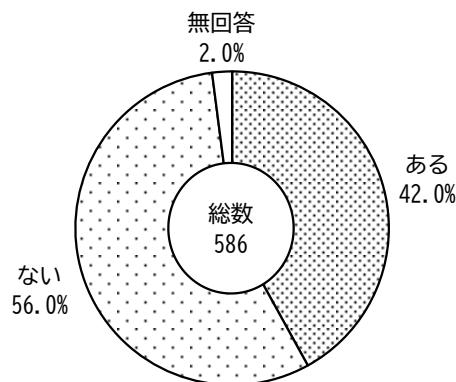
●週の朝食の摂取状況



●朝食をとらない理由（複数回答）

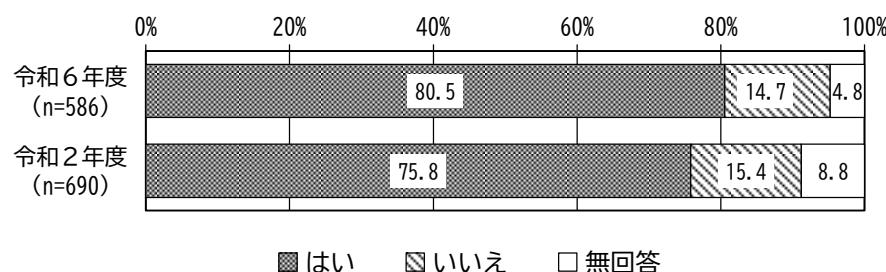


●加須市産・県内産を選ぶことはあるか

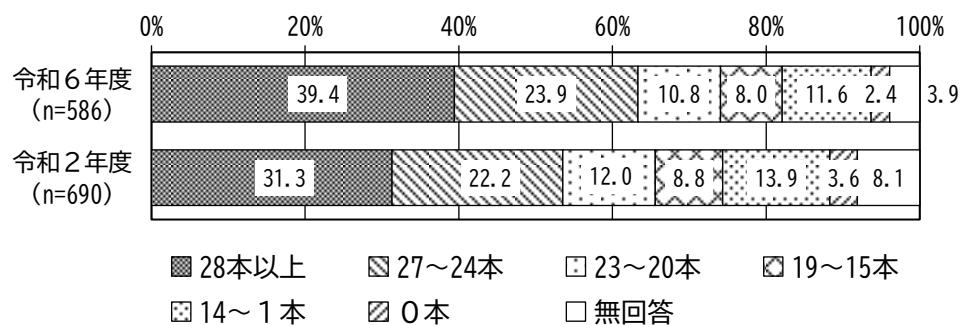


【歯の健康について】

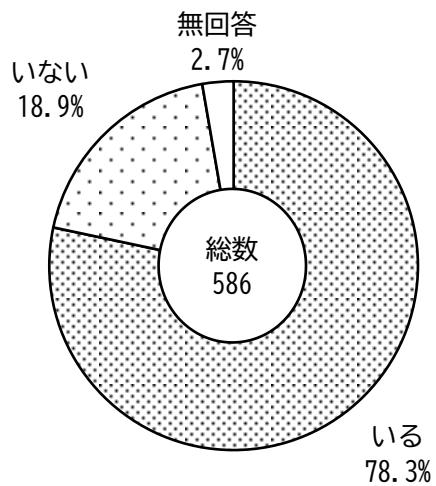
●歯の健康に気をついているか



●現在残っている歯の本数

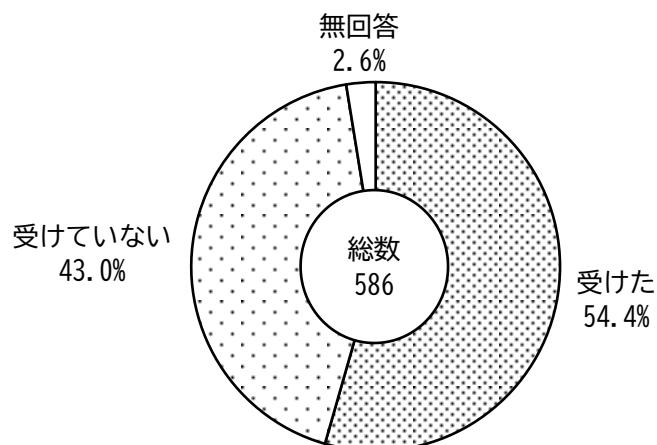


●かかりつけ歯科医の有無及び年齢別に見た割合



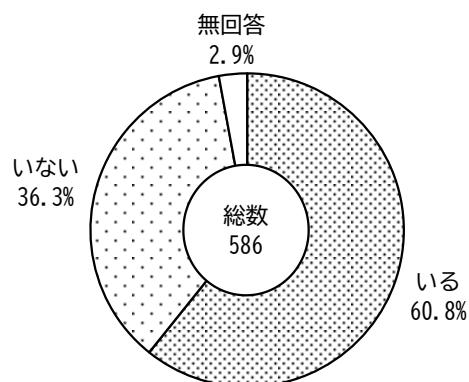
	回答者数 (n)	いる	いない	無回答
全体	586	78.3	18.9	2.7
年齢別	15歳～29歳	56	73.2	25.0
	30歳～39歳	59	78.0	22.0
	40歳～49歳	69	56.5	43.5
	50歳～59歳	71	73.2	22.5
	60歳～69歳	137	81.8	15.3
	70歳～79歳	176	88.6	7.4
	80歳以上	18	72.2	22.2

●過去1年間の歯科検診の受診状況

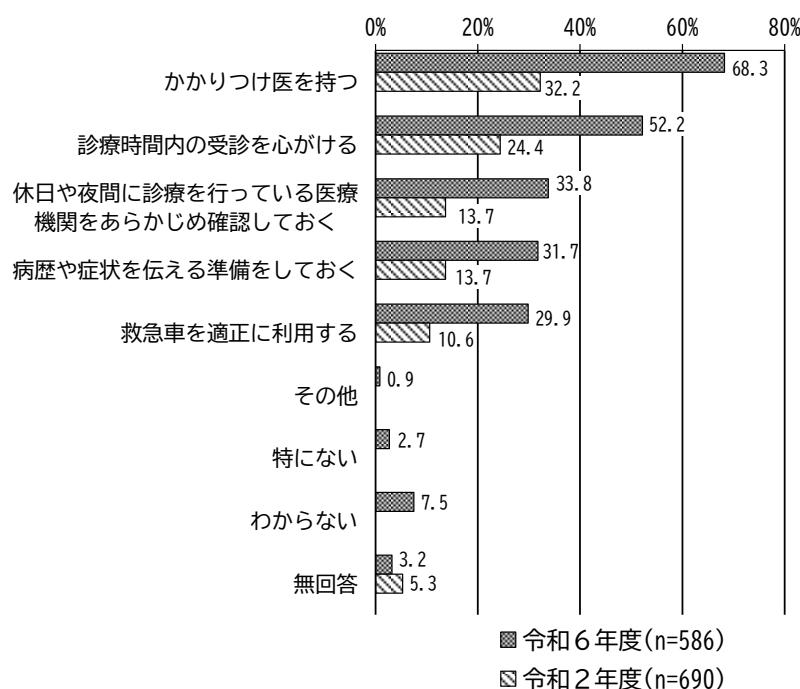


【医療体制について】

●かかりつけ医の有無

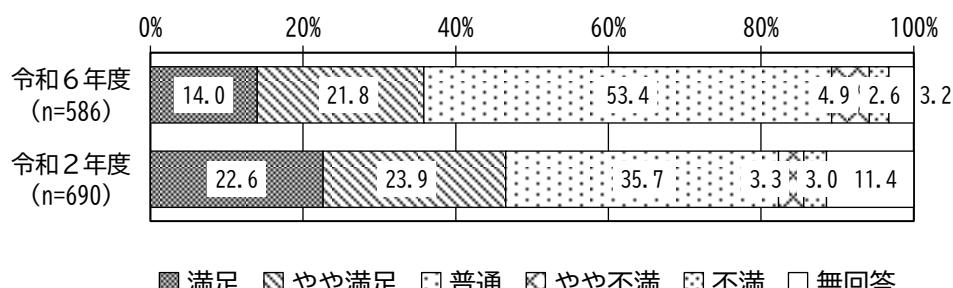


●地域の医療を守るために、自分は何をしたらよいと思うか（複数回答）



※令和2年度は、「その他」「特にない」「わからない」の選択肢はありません。

●加須市の地域医療体制に対する満足度

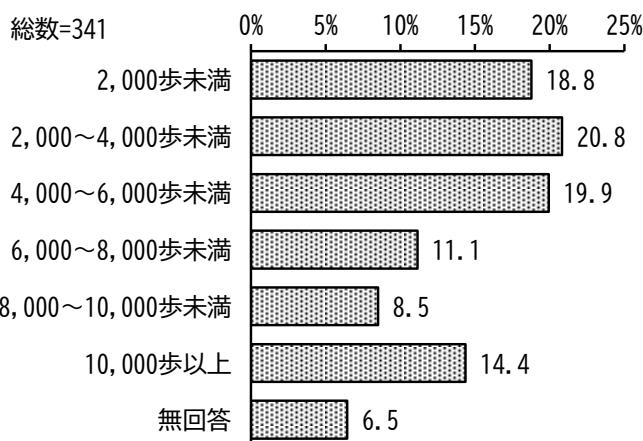


(3) スポーツ推進の調査結果

(18歳以上市民) (小学生・中学生・高校生) (障がい者手帳をお持ちの方)

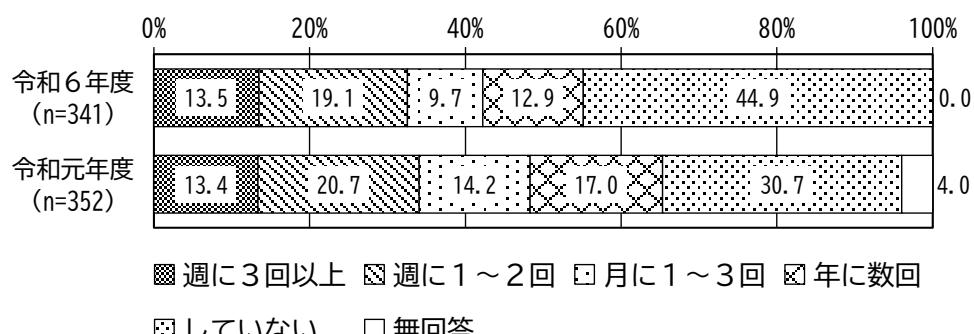
【スポーツを通じた健康づくりについて】

■1日の歩数 (18歳以上市民)



全体の平均は、4,997 歩

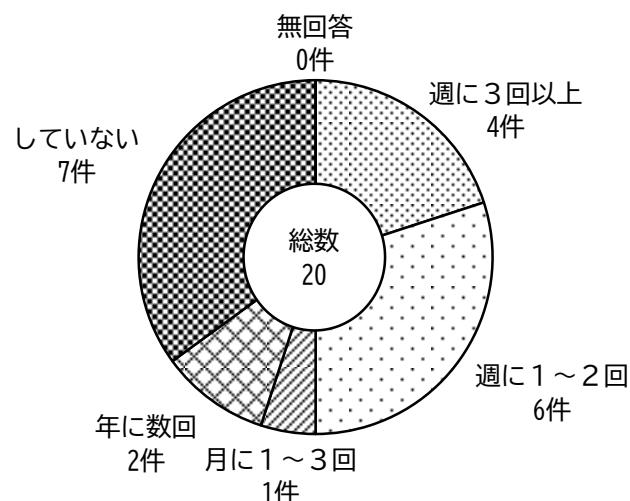
■この1年間に運動やスポーツをした頻度 (18歳以上市民)



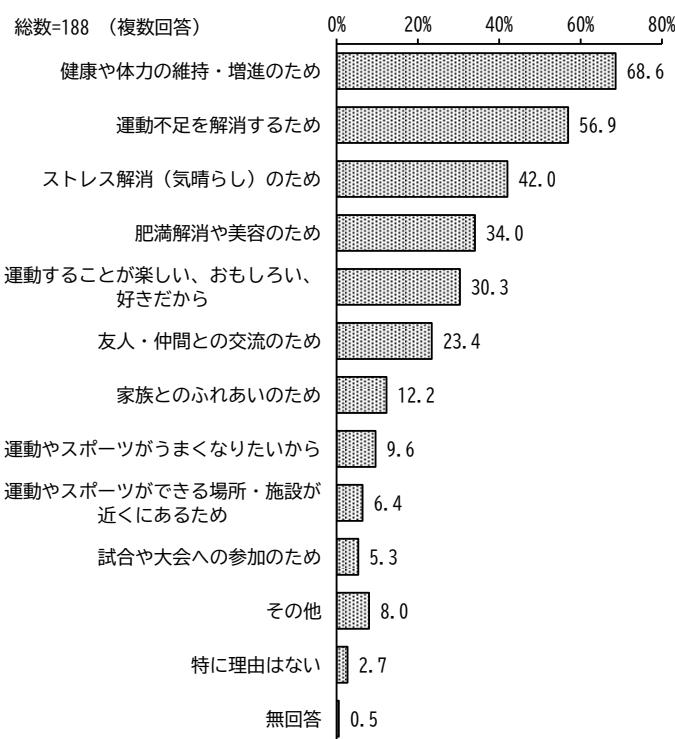
■学校の体育の授業のほかの運動やスポーツ（中学生・高校生）

	回答者数(人)	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に数回	していない	無回答	週に1回以上 (計)
中学2年生								
令和6年度	727	62.2	14.7	10.0	5.5	7.6	0.0	76.9
令和元年度	263	69.6	5.3	4.6	6.1	12.5	1.9	74.9
高校1・2年生								
令和6年度	67	47.8	9.0	14.9	13.4	14.9	0.0	56.8
令和元年度	70	47.1	11.4	2.9	17.1	21.4	0.0	58.5

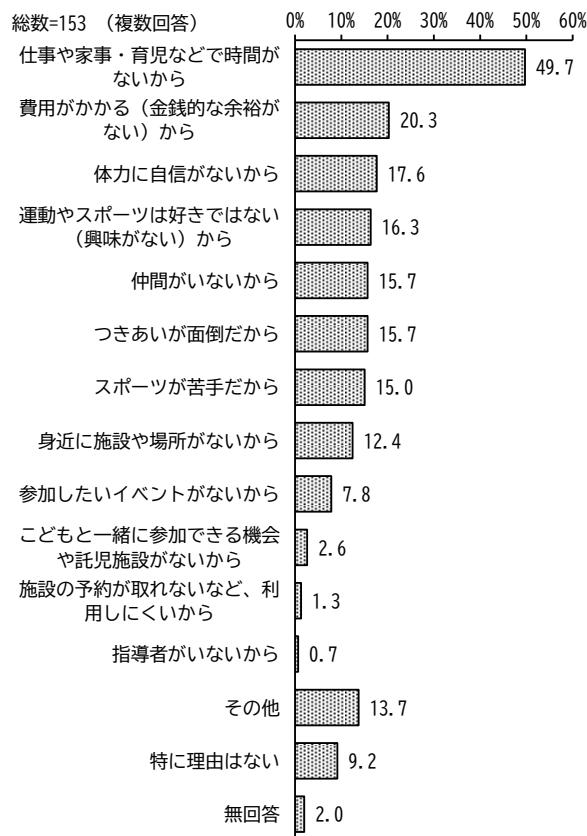
■この1年間に運動やスポーツをした頻度（障がい者手帳をお持ちの方）



■運動やスポーツをする理由（複数回答）（18歳以上市民）



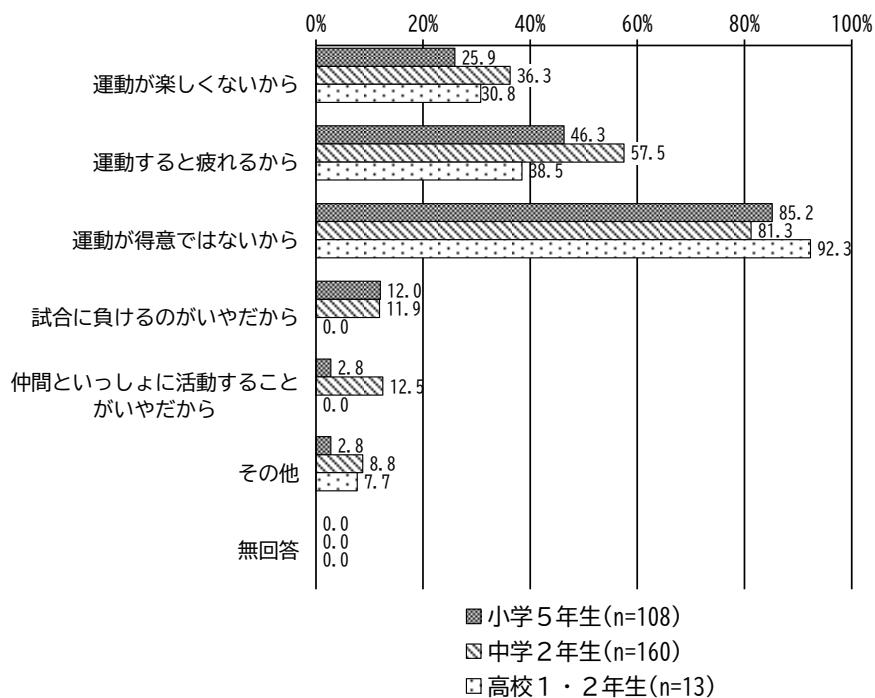
■運動やスポーツをしていない理由（複数回答）（18歳以上市民）



■運動やスポーツに関する意識について（小学生・中学生・高校生）

	回答者数（n）	好き	まあまあ好き	いあまり好きではない	好きではない	無回答	好き（計）	好きではない（計）
小学5年生								
令和6年度	672	53.1	29.9	11.6	4.5	0.9	83.0	16.1
令和元年度	605	50.1	32.4	13.4	3.0	1.2	82.5	16.4
中学2年生								
令和6年度	727	42.2	35.1	15.5	6.5	0.7	77.3	22.0
令和元年度	263	36.5	35.0	17.9	9.5	1.1	71.5	27.4
高校1・2年生								
令和6年度	67	47.8	32.8	11.9	7.5	0.0	80.6	19.4
令和元年度	70	37.1	28.6	28.6	5.7	0.0	65.7	34.3

■運動やスポーツが好きではない理由（複数回答）（小学生・中学生・高校生）

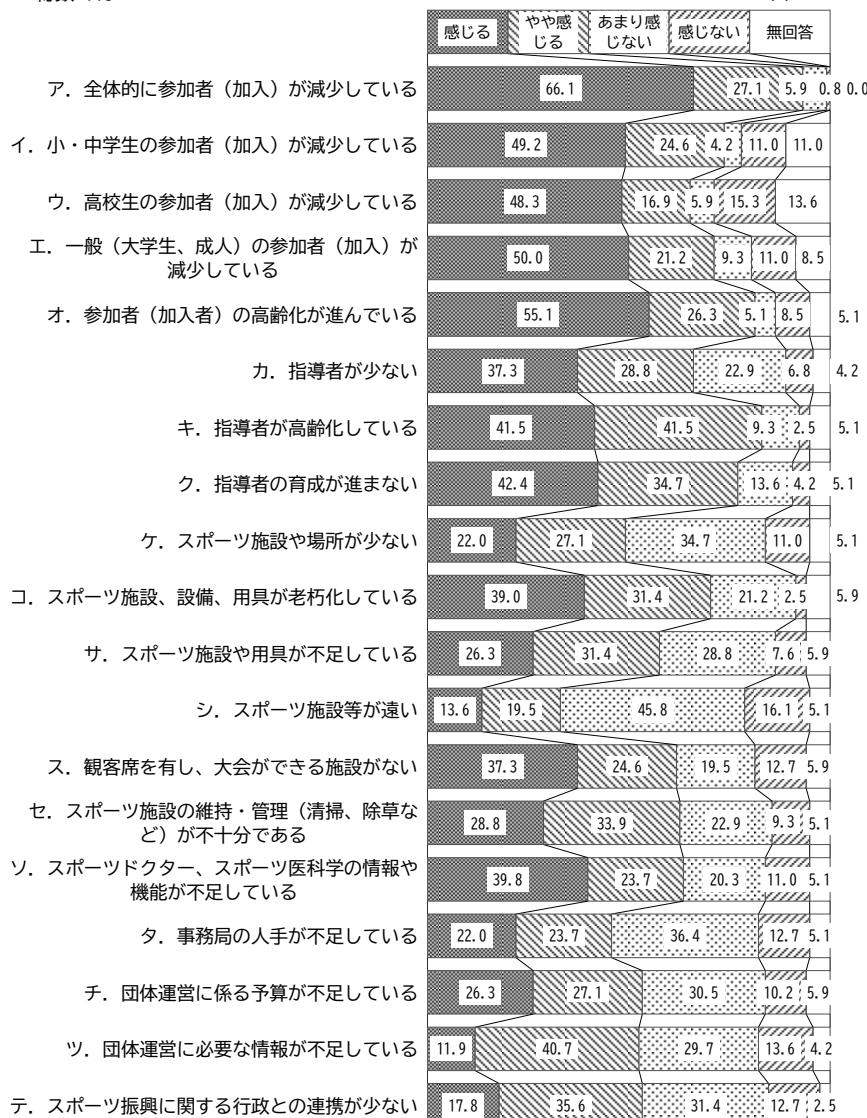


【誰もがスポーツに参加できる機会の創出について】

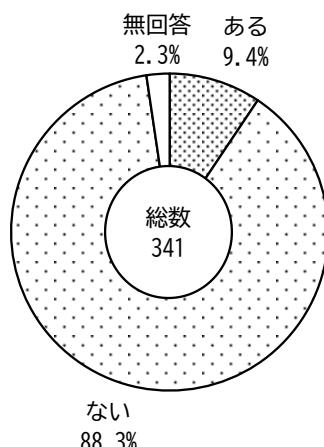
■スポーツに関する各事柄についての認識（スポーツ団体）

総数=118

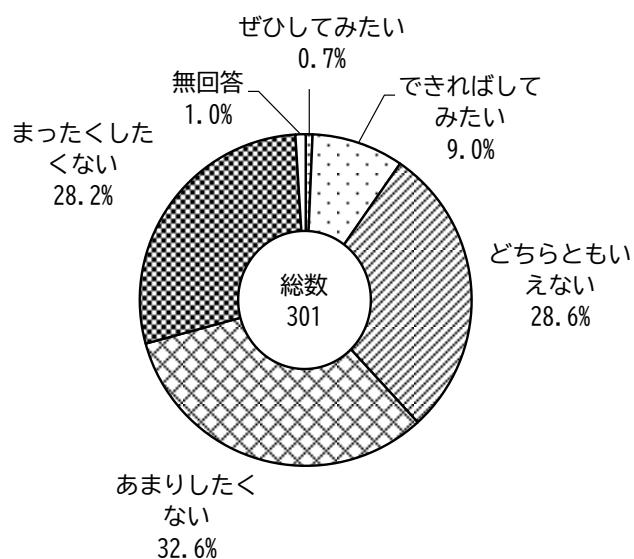
単位:%



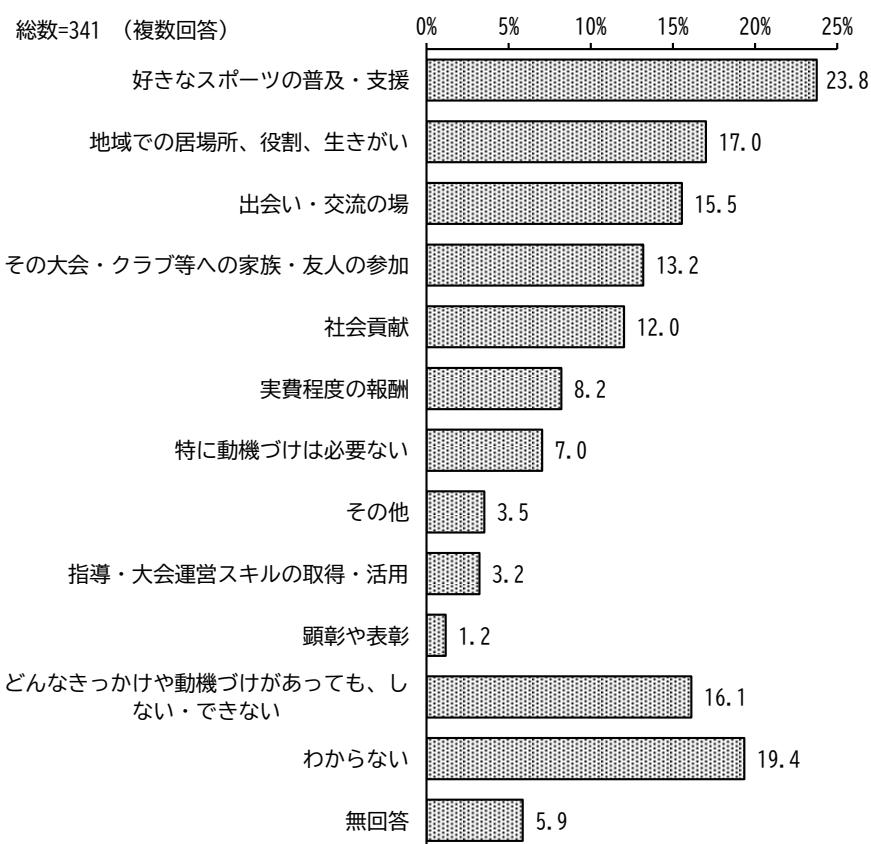
■スポーツに関するボランティア活動の有無（18歳以上市民）



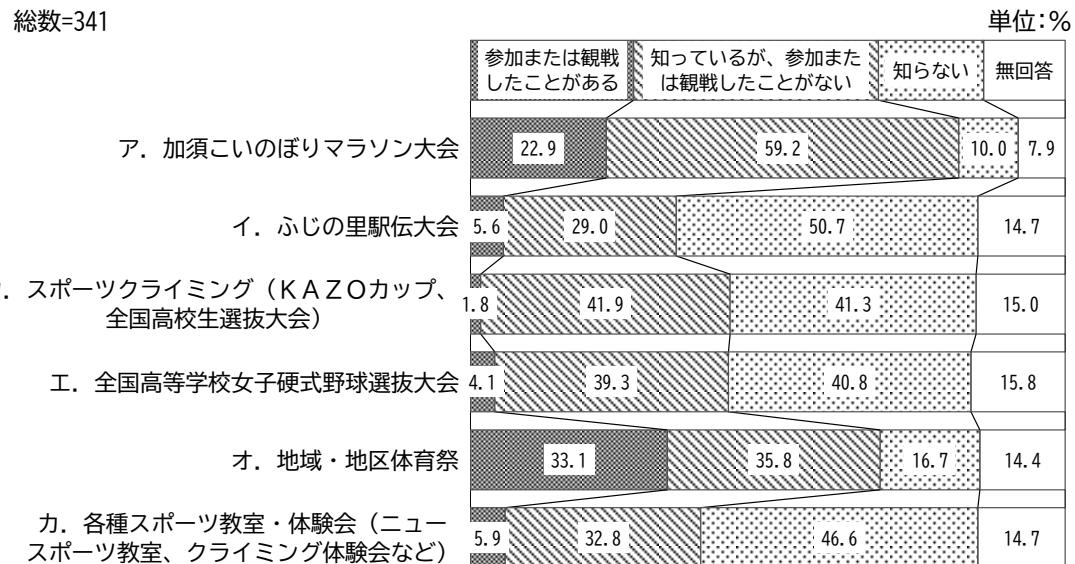
■今後のボランティア活動の意向 (18歳以上市民)



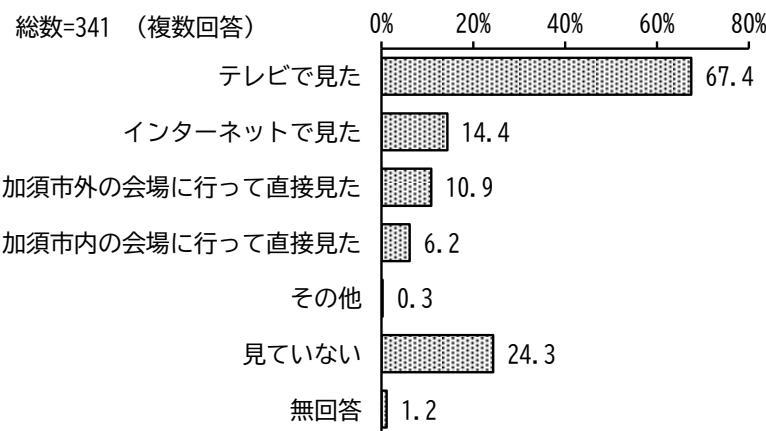
■どのようなきっかけや動機づけがあれば、スポーツのボランティア活動をするか (複数回答) (18歳以上市民)



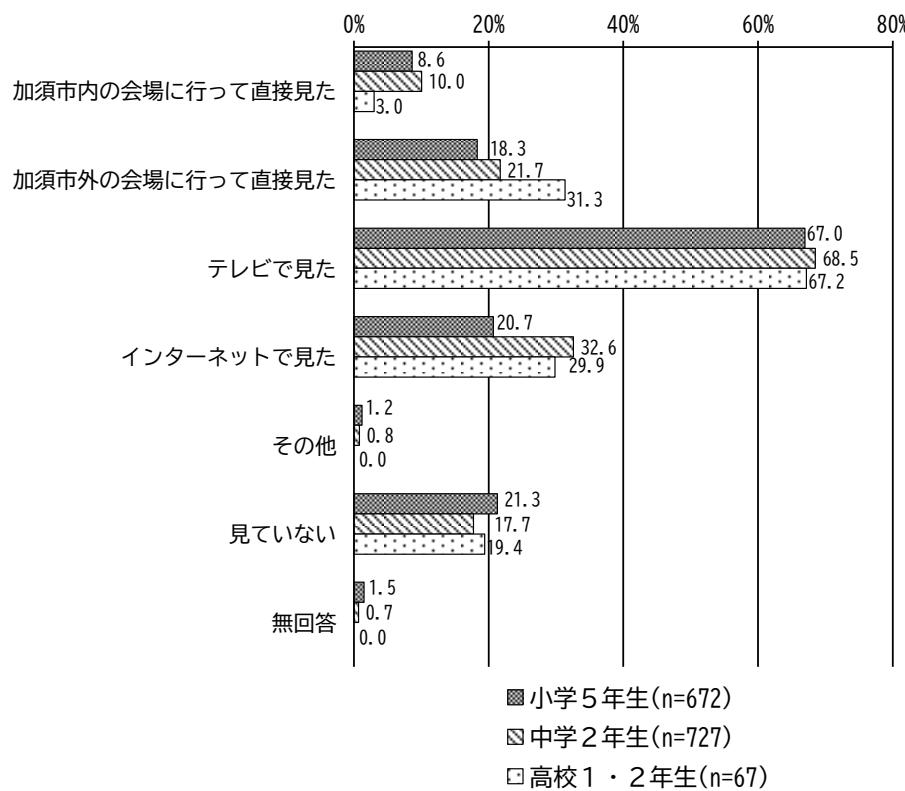
■加須市で行っている大会や教室の認知度及び参加または観戦の有無（18歳以上市民）



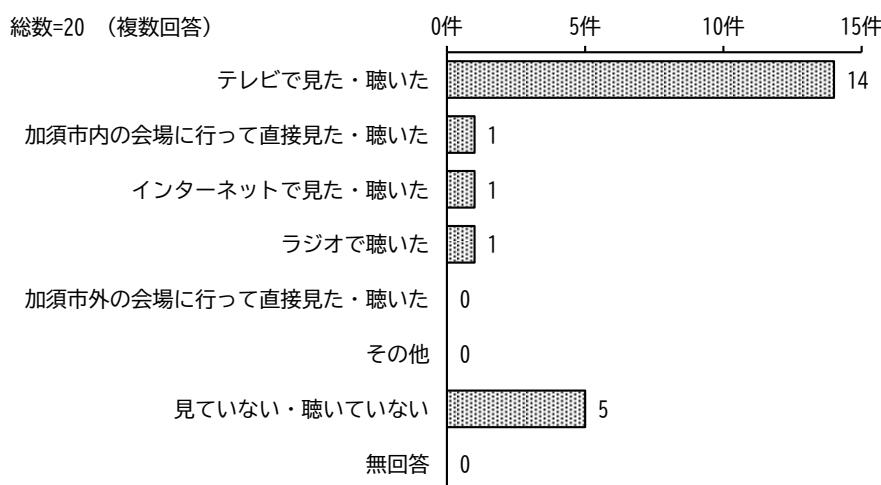
■この1年間のスポーツ大会やスポーツの試合の観戦状況（18歳以上市民）



■この1年間のスポーツ大会やスポーツの試合の観戦状況（小学生・中学生・高校生）

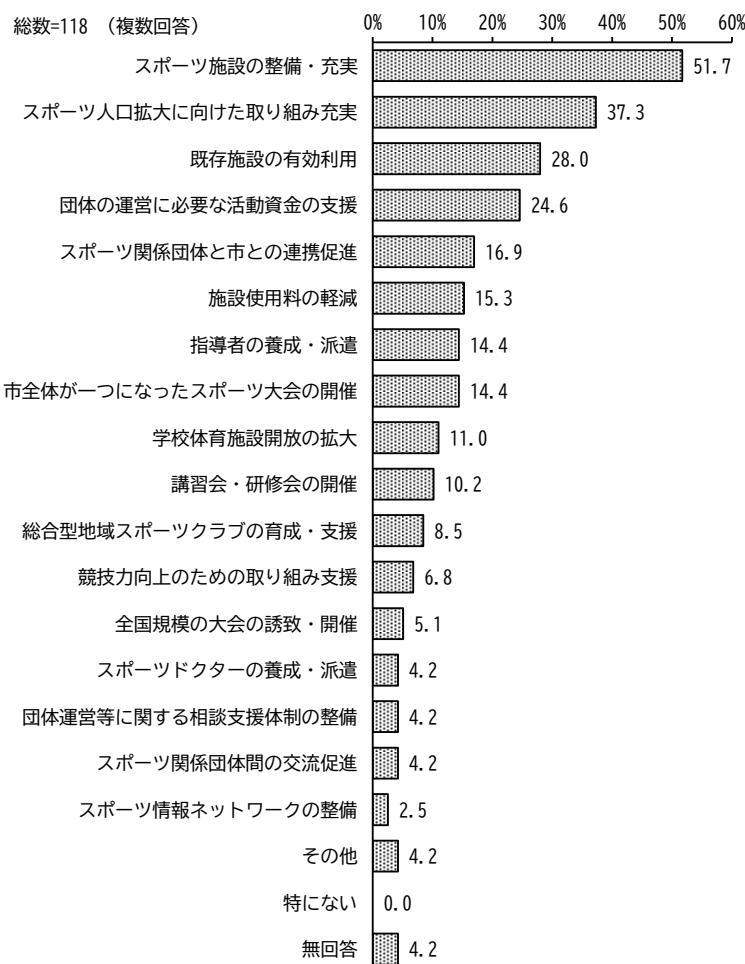


■この1年間のスポーツ大会やスポーツの試合の観戦状況（障がい者手帳をお持ちの方）

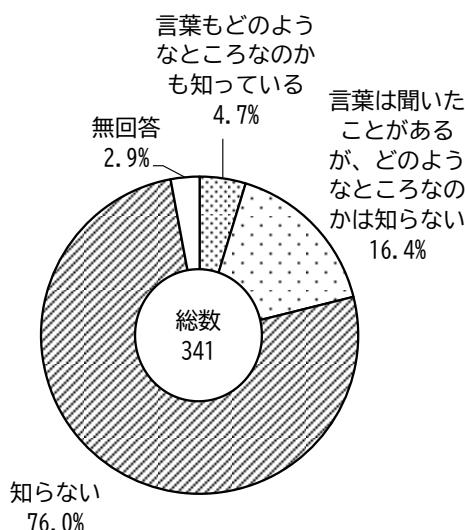


【スポーツ環境の整備について】

■スポーツ施策を推進するために行政に期待すること（スポーツ団体）



■総合型地域スポーツクラブの認知度（18歳以上市民）



(4) アンケート調査から見える主な現状と課題

◆健康づくり推進、食育推進、歯・口腔の健康推進、地域医療体制確保について◆

【病気の予防について】

○普段の自分の健康について、『気をつけている』（「よく気をつけている」 + 「気をつけている方だと思う」）が 75.4%、『気をつけていない』（「あまり気をつけていない」 + 「気をつけていない」）が 22.5%で、『気をつけていない』は前回調査より 6.0 ポイント増加しています。

年齢別では、15 歳から 40 代で『気をつけていない』が 4 割前後と多くなっており、こうした層に対し、アプリなどの I C T を活用した健康管理の利用や健康講座の周知を行うなどの取組を行い、実際に生活を見直すきっかけとなる啓発を進めることが必要です。

○健康に気をつけていない方の理由としては、「仕事や学業などが忙しく、気をつけていられないから」が 35.6%で最も多く、前回調査より 14.7 ポイント増加しています。

○過去 1 年間の 3 か月以上の継続的な通院状況について、「3 か月以上継続的に医者にかかった」が 47.8%で半数近くを占めています。年齢別では、15 歳から 20 代では 10.7%ですが、年齢が上がるほど割合が多くなり、70 代では 69.3%となっています。

○「3 か月以上継続的に医者にかかった」と回答した方の病気は、「高血圧」が 45.4%で最も多く、次いで「高脂血症」が 17.1%、「糖尿病」が 15.4%となっています。

○過去 1 年間の健康診査の受診状況について、「どれも受診しなかった」が 23.9%となっています。受診しなかった主な理由では、「医者にかかっている（入院中・通院中）」が 35.0%で最も多く、次いで「受診する機会がない」が 11.4%、「忙しくて受診する時間がない」が 8.6%となっています。

○過去 1 年間のがん検診の受診状況について、「どれも受診しなかった」が 54.4%で半数以上となっています。年齢別では、年齢が若いほど割合が多く、30 代・40 代で 6 割台、15 歳から 20 代で 92.9%となっています。

受診しなかった主な理由では、「医者にかかっている（入院中・通院中）」が 17.9%で最も多く、次いで「受診する機会がない」が 14.7%、「健康だから（受診する必要がない）」が 11.3%となっています。

【こころの健康について】

○この 6 か月間の不安や悩み、ストレスなどの有無について、『あった』（「大いにあった」 + 「多少あった」）が 63.8%となっています。

ストレスが『あった』と回答した方の不安や悩み、ストレスなどの内容については、「仕事のこと」が 48.9%で最も多く、次いで「自分の健康・病気」が 32.4%、「家族との関係」「収入・家計・借金」「家族の健康・病気」「他人との関係」「生きがい・将来のこと」が 2 割台となっています。特に「仕事のこと」は、前回調査より 10.5 ポイント増加しており、年齢別では、30 代、40 代で 7 割前後と多くなっています。また、「収入・家計・借金」は 30 代、「自分の健康・病気」は 70 代以上で、約半数と多くなっています。

○悩みやストレスなどがあるときに、気軽に相談できる人の有無について、「いる」が 74.1%、「いない」が 23.5%となっています。前回調査から大きな違いは見られず、第 3 次加須市健康づくり推進計画の令和 7 年度の目標値 82%より 7.9 ポイント低くなっています。相談できる人がいないという方が、悩みストレスを抱えたまま孤立することがないよう、気軽に相談できるような仕組み、関係づくりを進めていくことが求められます。

○地域の人々とのつながりが強いと思うかについて、『そう思う』（「強くそう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」）が 29.7%となっています。一方、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」 + 「全くそう思わない」）が 31.7%で、15 歳から 40 代で 4 割台と多くなっています。

○社会活動の参加状況について、「参加していない」が、町内会や地域行事などの活動では 46.4%、ボランティア活動、スポーツ関係のグループ活動、趣味関係のグループ活動、その他のグループ活動では 7 割前後で大半となっています。

このため、地域とつながるきっかけづくり、参加したいと思える活動などに取り組んでいくことが求められます。

○普段の睡眠で十分な休養がとれているかについて、『とれている』（「十分とれている」 + 「だいたいとれている」）が 73.2%で大半を占めていますが、年齢別では、30 代・50 代で 5 割台と少なくなっています。前回調査から大きな違いは見られず、第 3 次加須市健康づくり推進計画の令和 7 年度の目標値 84%より 10.8 ポイント低くなっています。睡眠時間の不足や睡眠の質的悪化は、うつ病などのこころの病や生活習慣病につながることから、日常的に質・量ともに十分な睡眠を確保できるようにしていくことが大切です。

【飲酒・喫煙について】

○飲酒の頻度について、「ほとんど飲まない」が 52.2%で半数を超えており、一方、週 1 日以上飲むという回答は 32.7%で、年齢別では、40 代と 60 代で 4 割とやや多くなっています。さらに、「ほぼ毎日飲む」という回答は 17.6%で、年齢別では、60 代で 23.4%とやや多くなっています。

○喫煙状況について、「吸わない」が 64.2%で最も多く、次いで「以前吸っていた」が 21.8%、「吸う」が 12.5%で、前回調査から大きな違いは見られません。第 3 次加須市健康づくり推進計画の目標指標「喫煙習慣のある人の割合」の令和 7 年度の目標値 11%より 1.5 ポイント高くなっています。「吸う」という回答については、年代別では、40 代で 20.3%、50 代で 18.3%とやや多くなっています。また、喫煙年数は 40 年以上という回答が 43.8%、1 日の平均喫煙本数は 20 本以上という回答が 43.8%となっています。

喫煙による健康被害を減少させるため、引き続き、喫煙率の減少に努めていくことが求められます。

○過去 1 か月間の望まずに自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）について、週に 1 回以上という回答が 25.6%で、4 人に 1 人が経験しています。さらに、「ほぼ毎日」という回答は 9.9%で、10 人に 1 人が経験しているという状況にあります。このため、分煙対策や周囲に配慮した喫煙などの受動喫煙防止対策の強化が求められます。

【食生活について】

○自分の食生活について、問題があると「思う」が 51.0%で過半数を占めています。年齢別では、40代が 71.0%、30 代が 64.4%で多くなっています。

○食生活で実践していることでは、「野菜をしっかり食べる」が 58.5%で最も多く、次いで「肉・魚を食べる」が 46.6%、「規則正しく食事をする」が 45.2%となっています。「野菜をしっかり食べる」については、前回調査から 7.3 ポイント減少しており、第 3 次加須市健康づくり推進計画の令和 7 年度の目標値 68%より 9.5 ポイント低くなっています。また、「規則正しく食事をする」は、前回調査から 8.6 ポイント減少しています。

このため、食生活に関する意識を高める取組を推進していくことが求められます。

○塩分の摂り方について、注意していることが「ある」という回答が 58.4%で半数を超えていましたが、前回調査から 6.7 ポイント減少しており、第 3 次加須市健康づくり推進計画の令和 7 年度の目標値 85%より 26.6 ポイント低くなっています。若い頃から塩分の摂り方を注意する意識を高め、食生活で実践できるようにしていくことが大切です。

○1 週間の朝食の摂取状況について、「ほとんど毎日」食べるが 78.7%で大半を占めていますが、第 3 次加須市健康づくり推進計画の令和 7 年度の目標値 85%より 6.3 ポイント低くなっています。

「ほとんど毎日」食べる以外を回答した方の朝食を食べない理由は、「食べる時間がない」が 31.3%で最も多く、次いで「朝食を食べる習慣がない」が 27.0%、「食欲がない」が 24.3%となっています。

このため、特に、普段、朝食をとらない割合の多い若年層を中心に、朝食をとることの必要性について啓発していくことが重要です。

○加須市及び近隣地域、県内の生産物を意識して選ぶことについて、「ある」が 42.0%で、前回調査から大きな違いは見られず、第 3 次加須市健康づくり推進計画の令和 7 年度の目標値 44%より 2.0 ポイント低くなっています。地元の食材を生かした学校給食の提供などを通じて、こどもの頃から地元農産物への関心を持てるようにしていくことが大切です。

【歯の健康について】

○歯の健康に気をつけているかについて、「はい」が 80.5%で大半を占めています。

○かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が 78.3%で大半を占めています。一方、「いない」が 18.9%で、年齢別では、40 代で 43.5%と多くなっています。

○過去 1 年間の歯科検診の受診状況について、「受けた」が 54.4%で半数以上となっており、年齢別では、15 歳から 30 代で 6 割台と多くなっています。一方、「受けていない」は 43.0%で、年齢別では、40 代で 56.5%と多くなっています。

特に 40 代に歯科検診の重要性を啓発していくことが必要です。

【医療体制について】

○かかりつけ医の有無について、「いる」が 60.8%で半数以上を占めています。一方、「いない」は 36.3%で、年齢別では、15 歳から 50 代でほぼ 5 割以上となっています。

○自分の健康を支える地域の医療を守るために、自分は何をしたらよいと思うかについて、「かかりつけ医を持つ」が 68.3%で最も多く、次いで「診療時間内の受診を心がける」が 52.2%、「休日や夜間に診療を行っている医療機関をあらかじめ確認しておく」「病歴や症状を伝える準備をしておく」「救急車を適正に利用する」が 3 割前後となっています。これらはいずれも前回調査より割合が大幅に増加しており、特に「かかりつけ医を持つ」は 36.1 ポイント、「診療時間内の受診を心がける」が 27.8 ポイント増加しています。

○加須市の地域医療体制に対する満足度について、『満足』（「満足」 + 「やや満足」）が 35.8%で、前回調査より 10.7 ポイント減少しています。

一方、『不満』（「やや不満」 + 「不満」）は 7.5%となっています。その理由としては、「医療機関が少ない」「紹介状がないと診察してもらえない」「総合病院でも医者がいないため、診療していない日、科がある」「365 日対応といつても、断られたり、医者不在（担当医いない）となって、不十分」「通院したくても交通が不便」などの声が挙がっています。

地域医療資源の確保並びに救急医療体制の充実を進めることが必要です。

◆スポーツ推進の調査◆

【スポーツを通じた健康づくりの推進について】

○1日の歩数は、「2,000～4,000 歩未満」「4,000～6,000 歩未満」「2,000 歩未満」が2割前後で多くなっています。全体の平均は、4,997 歩となっています。

○過去1年間の運動やスポーツの実施状況について、実施したという方は55.2%で、『週に1回以上』（「週に3回以上」+「週に1～2回」）になると32.6%で、前回調査から大きな違いは見られません。第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画の指標「成人者の週1回以上スポーツ（運動）をする人の割合」の令和7年度の目標値65.0%より32.4ポイント低くなっています。運動やスポーツをする理由については、「健康や体力の維持・増進のため」が68.6%で最も多く、次いで「運動不足を解消するため」が56.9%、「ストレス解消（気晴らし）のため」が42.0%となっています。

一方、運動やスポーツを「していない」という回答は44.9%で、前回調査から14.2ポイント増加しています。運動やスポーツをしていない理由としては、半数の方が「仕事や家事・育児などで時間がないから」と回答しています。

運動やスポーツをする習慣がある人の割合が増えるよう、スポーツ活動を推進していくことが求められます。

○過去1年間の運動やスポーツの実施状況について、実施したという回答が小学5年生、中学2年生、高校1・2年生で8割以上となっています。『週に1回以上』（「週に3回以上」+「週に1～2回」）したという回答では、中学2年生が76.9ポイント、高校1・2年生が56.8%で、高校1・2年生のほうが20.1ポイント低くなっています。

『好きではない』（「あまり好きではない」+「好きではない」）は小学5年生、中学2年生、高校1・2年生で2割前後となっています。好きではない理由としては、「運動が得意ではないから」が小学5年生、中学2年生、高校1・2年生（※）で8割以上、「運動すると疲れるから」が中学2年生で57.5%と多くなっています。このため、学校での体育の授業や部活動などを通じて、児童・生徒が運動やスポーツをすることの楽しさや喜びなどを感じることができるように、取組を進めていくことが重要です。

【誰もが多様なスポーツに参加できる機会の創出について】

○各団体が活動の中で感じているものとして、「全体的に参加者（加入）が減少している」「小・中学生の参加者（加入）が減少している」「一般（大学生、成人）の参加者（加入）が減少している」「参加者（加入者）の高齢化が進んでいる」「指導者が高齢化している」といった項目が挙がっており、団体で活動する人の減少、高齢化という課題への対応が求められています。

○スポーツに関するボランティア活動の有無について、「ある」が9.4%、「ない」が88.3%となっています。

「ない」と回答した方の今後のスポーツに関するボランティア活動の意向では、『してみたい』（「ぜひしてみたい」+「できればしてみたい」）が9.7%、『したくない』（「あまりしたくない」+「まったくしたくない」）が60.8%となっています。

○どのようなきっかけや動機づけがあれば、スポーツのボランティア活動をするかについて、「好きなスポーツの普及・支援」が 23.8%で最も多く、次いで「地域での居場所、役割、生きがい」が 17.0%、「出会い・交流の場」が 15.5%となっています。

市民のニーズを踏まえ、スポーツボランティアの活動のきっかけや機会等を提供していくことが求められます。

○加須市で行っている大会や教室の認知度及び参加または観戦について、「参加または観戦したことがある」は、地域・地区体育祭が 33.1%、加須こいのぼりマラソン大会が 22.9%で、各種スポーツ教室・体験会（ニュースポーツ教室、クライミング体験会など）、ふじの里駅伝大会、全国高等学校女子硬式野球選抜大会、スポーツクライミング（KAZOカップ、全国高校生選抜大会）は 1 割未満となっています。

一方、「知らない」は、ふじの里駅伝大会が 50.7%、各種スポーツ教室・体験会、スポーツクライミング、全国高等学校女子硬式野球選抜大会が 4 割台となっています。

市民が参加や観戦をしたいと思うような魅力ある大会や教室等について情報発信していくことなど取組の周知が求められます。

○過去 1 年間のスポーツ大会やスポーツの試合の観戦状況について、見たという方は 74.5%で、「テレビで見た」が 67.4%で最も多く、次いで「インターネットで見た」が 14.4%、「加須市外の会場に行って直接見た」が 10.9%となっています。

○過去 1 年間のスポーツ大会やスポーツの試合の観戦状況は、「テレビで見た」が小学 5 年生、中学 2 年生、高校 1・2 年生で 7 割弱と多くなっています。また、「インターネットで見た」が小学 5 年生で 20.7%、中学 2 年生が 32.6%、高校 1・2 年生が 29.9%、「加須市外の会場に行って直接見た」が小学 5 年生で 18.3%、中学 2 年生で 21.7%、高校 1・2 年生で 31.3%となっています。一方、「見ていない」が小学 5 年生、中学 2 年生、高校 1・2 年生で 2 割前後となっています。

【スポーツ環境の整備について】

○スポーツを推進するために行政に期待することでは、「スポーツ施設の整備・充実」が 51.7%で最も多く、次いで「スポーツ人口拡大に向けた取り組み充実」が 37.3%、「既存施設の有効利用」が 28.0%となっています。上位 3 項目のうち第 1 位と第 3 位がスポーツ施設に関する内容となっており、第 1 位の「スポーツ施設の整備・充実」は、前回調査より 5.3 ポイント増加しています。

○総合型地域スポーツクラブについて、認知度は、「知らない」が 76.0%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、どのようなところなのかは知らない」が 16.4%となっています。「言葉もどのようなところなのかも知っている」は 4.7%にとどまっています。

総合型地域スポーツクラブの認知度が向上し、地域における市民のスポーツ活動の受け皿となることが期待されます。

第4節 本市の現状を踏まえた課題

(1) 病気の予防のための対応

7割を超える人が普段から健康に気をつけているものの、若い世代や働き盛りの年代で健康に気をつけられない人が4割前後となっています。また、過去1年間の3か月以上の継続的に通院した人は約半数を占めており、年齢が上がるほど割合が多くなります。通院した人の病気は、高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病の割合が高くなっています。健康講座、相談の取組を今後も継続し、健康への意識を高めることが必要です。

過去1年間のがん検診未受診者は54.4%と高い割合となっています。受診を勧める活動や健康意識を高める活動など、受診率を高める取組に力を入れていく必要があります。

市民の8割以上の人人が生活を見直すことで健康が増進すると考えており、こうした層に対し、アプリなどのＩＣＴを活用した健康管理の利用や健康講座の周知を行うなどの取組を行い、実際に生活を見直すきっかけとなる啓発を進めることができます。

本市では、これまで妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援を進めてきましたが、今後もこれらの支援を継続するとともに、子育てを取り巻く環境が変化している中で、産前・産後の不安や悩みを解消し、安心してこどもを産み育てることができるようになります。

(2) スポーツを通じた健康づくりの推進（身体活動・運動）のための対応

身体活動量の減少は肥満や生活習慣病が発症しやすくなるだけでなく、高齢者の自立度低下や虚弱の原因となります。健康寿命の延伸のために、身体活動・運動の重要性が広く市民に認知され実践される必要があります。

(3) 休養・こころの健康推進のための対応

この6か月間の不安や悩み、ストレスなどがあった人は、6割を超え、働き盛りの世代でその傾向が強くなっています。悩みやストレスなどがあるときに、気軽に相談できる人がいる人は、74.1%と前回調査からは大きく変化していませんが、第3次加須市健康づくり推進計画の令和7年度の目標値より7.9ポイント低くなっています。相談できる人がいないという人が、悩み、ストレスを抱えたまま孤立することがないよう、気軽に相談できるような仕組み、関係づくりを更に進めていくことが必要です。

普段の睡眠で十分な休養がとれている人は、7割を超えていますが、前回調査から大きな違いは見られず、第3次加須市健康づくり推進計画の令和7年度の目標値84%より10.8ポイント低くなっています。睡眠時間の不足や睡眠の質の低下は、うつ病などのこころの病や生活習慣病につながることから、日常的に質・量ともに十分な睡眠を確保できるよう啓発していく必要があります。

地域のつながりを強く感じている人は3割程度となっています。特に若い世代で地域との関わりが薄い傾向があります。社会活動への参加率は低く、町内会や地域行事への参加も半数程度にとどまっています。地域のつながりが健康に影響することが言われており、地域とつながるきっかけづくり、参加意欲が増す活動などに取り組んでいく必要があります。

(4) 飲酒・喫煙対策の推進のための対応

飲酒の頻度は、ほとんど飲まない人がほぼ半数、一方、ほぼ毎日飲む人は2割弱となっており、前回調査と大きな変化がない結果となっています。市民の健康増進のために、今後も、飲酒による健康への影響について啓発する取組を継続することが必要です。

喫煙状況について、吸わない人が64.2%で最も多く、吸う人が12.5%で、前回調査から大きな違いは見られません。しかしながら、第3次加須市健康づくり推進計画の目標指標（喫煙習慣のある人の割合）の令和7年度の目標値に対し、1.5ポイント未達成の状況です。市民の健康増進のために、たばこの害と健康への影響について啓発する取組を継続することが必要です。

また、受動喫煙について、週に1回以上という人が4人に1人、ほぼ毎日という人が10人に1人が経験しているという状況にあります。分煙対策や周囲に配慮した喫煙などの受動喫煙防止対策の強化が必要です。

(5) 感染症対策の迅速・適切な実施のための対応

新型コロナウイルスは収束し、現在は安定した生活が取り戻せていますが、平時からの備えを怠らないことが重要であると気が付かされた経験でした。今後、様々な感染症の発生時の備えや、平時での備え（医療体制、情報共有、訓練等）を進めていく必要があります。

(6) 食育の推進のための対応

自分の食生活に問題があると思う人がほぼ半数となっており、特に30～40代で高くなっています。自分の食生活の改善について意識はありますが、野菜をしっかり食べる、規則正しく食事をする、塩分の摂り方について注意することを実践している割合は前回調査から減少しています。肥満や高血圧、糖尿病などの生活習慣病の市民を減らすため、栄養バランスや食の正しい知識を広めるための取組を強化するとともに、若い世代の啓発に力を入れていく必要があります。

また、1週間の朝食の摂取状況について、ほとんど毎日食べる人の割合は8割近くなっていますが、第3次加須市健康づくり推進計画の令和7年度の目標値85%より6.3ポイント低くなっています。若年層では朝食を抜く人が目立ち、時間のないこと、習慣がないことが理由となっており、朝食をとることの必要性について啓発していく必要があります。

地元の農産物を意識して選ぶことがある人は一定数いるものの、若い世代では関心が薄く、今後も地元の食材を生かした学校給食の提供などを通じて、子どもの頃から地元農産物への関心を持てるようにしていく必要があります。

(7) 歯・口腔の健康推進のための対応

多くの人が歯の健康に気をつけており、かかりつけの歯科医を持つ人も多くなっています。一方、加須市成人歯科検診では、定期的に歯科検診を受けている人は34.8%となっています。令和元年度の実績値より改善していますが、第2次歯と口の健康づくり基本計画の令和7年度の目標値40.0%より5.2ポイント低くなっています。検（健）診の受診率を上げるために、ホームページや広報等で周知を続けていく必要があります。

(8) 地域医療体制の確保のための対応

かかりつけ医の有無について、「いる」が60.8%で半数以上を占めています。

また、自分の健康を支える地域の医療を守るために、自分は何をしたらよいと思うかについて、「かかりつけ医を持つ」が68.3%で最も多く、次いで「診療時間内の受診を心がける」が52.2%となっています。

加須市の地域医療体制について、不満を感じる人は7.5%で、前回調査と大きく変わりません。不満の原因としては、医療機関の不足やアクセスの不便さ、診療体制の不十分さが挙がっています。引き続き地域医療の満足度を上げるために、前ビジョンからの課題も踏まえ、今後も地域医療の連携、地域医療資源の確保、救急医療体制の充実などの取組の推進が必要です。

(9) スポーツを通じた健康づくりの推進のための対応

過去1年間の運動やスポーツについて、成人者の週1回以上スポーツ（運動）をする人は約3割で、前回調査から大きな違いは見られません。しかし、第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画の令和7年度の目標から大幅に低く、目標値65.0%より32.4ポイント低くなっています。運動やスポーツをする習慣がある人の割合を増やすためのスポーツ活動推進の取組を強化していく必要があります。

また、過去1年間の運動やスポーツについて、実施している小学5年生、中学2年生、高校1・2年生は8割以上となっていますが、運動やスポーツが好きではない、疲れる等の理由でしていない児童・生徒も多くなっています。運動やスポーツが好きな児童・生徒が増えるように、学校での体育の授業や市内でのスポーツ行事などを通じて、児童・生徒が運動やスポーツを「する」ことの「楽しさ」や「喜び」などを感じることができるように、取組を進めていく必要があります。

(10) 誰もが多様なスポーツに参加できる機会の創出のための対応

市民の「スポーツをする」を増やすために、全国規模の大会をはじめとする各種大会を「みる」ことで、スポーツへの関心を高めることも重要です。多くの市民はスポーツ観戦を楽しんでおり、主にテレビやインターネットを通じて観戦していますが、ふじの里駅伝大会、各種スポーツ教室・体験会、スポーツクライミング、全国高等学校女子硬式野球選抜大会など、十分には知られていない大会、教室もまだ少なくない状況です。

このため、市民が参加や観戦をしたいと思うような魅力ある大会や教室等について情報発信していく必要があります。また、世代により主に利用する情報の入手方法が異なるため、対象に応じた広報媒体を活用し、スポーツに関する情報発信を行っていく必要があります。

スポーツの指導者の高齢化が進んでいます。また、スポーツに関するボランティア経験者は少なく約1割となっており、今後も積極的に関わりたいと考える人は限られています。

スポーツを通じたまちづくりのためには、指導者や審判のほか、多くのボランティアなどの「ささえ」人が必要であり、スポーツ推進委員や関係団体と連携した人材育成の取組強化や、市民のニーズを踏まえながらスポーツボランティアの活動のきっかけや機会等を提供していく必要があります。

(11) スポーツ環境の整備のための対応

市内のスポーツ施設の多くは老朽化が進んでおり、近年の暑さ対策も踏まえ、行政にスポーツ施設の整備・充実することが期待されています。今後も、将来的な需要分析、財政状況を踏まえ、スポーツ施設の統廃合や快適に利用できる機能整備等の検討が必要です。また、学校体育施設、彩の国KAZOヴィレッジなどの活用、総合型地域スポーツクラブとの連携など、今後もスポーツ等に親しめる場の活用の取組が必要です。

第3章 計画の基本的な考え方

第1節 計画の基本理念

第2章でまとめた加須市における課題に対応するため、以下のとおり本計画における基本理念を掲げ、各章の取組を一体的に連携させながら、市民と一緒に健康寿命の延伸を推進し、目標の達成に向けて様々な取組を行っていきます。

**地域の医療体制を確保し
市民一人ひとりが「いきいき」と健康で
スポーツを通じて「はつらつ」と元気で
笑顔に暮らし続けることができるまち 加須**

日常生活においてスポーツに親しむ人を増やす取組は、健康づくりを進めるとともに、スポーツの「楽しさ」、「喜び」を通じて豊かな人生を送ることができる人を増やすことであり、その推進により、市民がより幸せで豊かな生活を送ることが期待できます。

加えて、乳幼児期から高齢期まで継続した病気の予防、生活習慣の改善、食生活の改善、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりの取組を、市民、関係機関・団体、行政がともに進めることにより、“地域の医療体制を確保し 市民一人ひとりが「いきいき」と健康で スポーツを通じて「はつらつ」と元気で 笑顔に暮らすことができるまち”を目指します。

本計画の全体の達成度を反映する指標として健康寿命を設定し、「埼玉一の健康寿命のまち」を目指します。

指 標	現状値(R6)		目標値(R12)
健康寿命の延伸 (65歳に到達した人が「要介護2」以上 になるまでの期間)	男性	18.06歳	18.72歳
	女性	20.82歳	21.18歳

第2節 計画の目標

基本理念を実現するために、次の分野別の9項目を基本目標とし、「こども」「成人壮年期」「高齢者」「女性」のライフコースの視点から、目標指標の達成を目指します。

1. 健康づくり推進の取組【加須市健康づくり推進計画】

1. 病気の予防

主要な死亡原因であるがんや循環器疾患、重大な合併症を引き起こすおそれのある糖尿病などの早期発見、早期治療につながる特定健康診査やがん検診等の受診勧奨を行い、受診率の向上を図るとともに、合併症など重症化予防に重点を置いた対策を推進します。

2. スポーツを通じた健康づくりの推進（身体活動・運動）

様々な人々に対して心身への健康効果があるとされているスポーツなどの身体活動・運動の意義と重要性を啓発するとともに、ライフコースに応じたスポーツの機会の充実を図り、スポーツを通じた健康づくりを推進します。

3. 休養・こころの健康推進

心身ともに健康に生活を送ることができるよう、相談体制の充実や相談窓口の周知を行います。また、地域の身近な人が相談者として寄り添い、関係機関につなぐためのゲートキーパーの養成を行い、こころの健康を図る環境づくりを推進します。

4. 飲酒・喫煙対策の推進

予防可能ながんリスク因子とされる飲酒について、健康影響や適正な飲酒の普及啓発を推進します。喫煙者自身のたばこによる健康への悪影響だけでなく、非喫煙者がたばこの煙や、喫煙者の呼気に含まれる有害物質を吸引することで生じる受動喫煙について、周知・啓発を推進します。

5. 感染症対策の迅速・適切な実施

感染症の発生時にも安定した生活が送れるよう、様々な感染症に備え、平時から備え（医療体制、情報共有、訓練等）を推進します。

2. 食育推進の取組【加須市食育推進計画】

1. 食育の推進

市民が健康な身体を育むために、ライフコースに応じたバランスに配慮した食事について啓発します。また、正しい食の知識や食文化、共食、減塩などの啓発活動、情報発信を推進します。

3. 歯・口腔の健康推進の取組【加須市歯と口の健康づくり基本計画】

1. 歯・口腔の健康推進

出生前期から幼児、児童生徒、成人、高齢者、歯科医療を受けることが困難な人など、生涯を通じた歯・口腔の健康づくりを進めます。生活習慣病の一つであるむし歯や歯周病の予防に加え、口腔機能の獲得、維持、向上を図りオーラルフレイルの予防など、ライフコースに応じた取組を進めるとともに、歯科口腔保健の知識の普及啓発を推進します。

4. 地域医療体制確保の取組【加須市地域医療ビジョン】

1. 地域医療体制の確保

地域全体で市民に対し質の高い医療を提供するため、地域医療の連携、地域医療資源の確保、救急医療体制の充実を推進します。

5. スポーツ推進の取組【加須市スポーツ・レクリエーション推進計画】

1. スポーツを通じた健康づくりの推進

スポーツの「楽しさ」や「喜び」を通じた活力と魅力あるまちづくりの実現に向けて、こどもから高齢者、障がいのある人を含め、すべての市民に対して様々なスポーツ・レクリエーションを「する」ことのできる機会の充実を推進します。

健康長寿社会の実現の目指し、市民の主体的な健康づくりやスポーツ活動への取組を支援するため、関係団体と連携強化を推進します。

2. 誰もが多様なスポーツに参加できる機会の創出

すべての市民がスポーツを「する」ことができ、「楽しさ」や「喜び」などを感じることのできるスポーツの場の充実を推進します。

全国規模の大会をはじめとする各種大会を「みる」ことで、スポーツの関心を高めることにより、市民のスポーツへの参加意欲の向上を図ります。

さらに、市民がスポーツに親しむ上で不可欠になる、スポーツの指導者やボランティアなど、「ささえ」人を育成する取組を推進します。

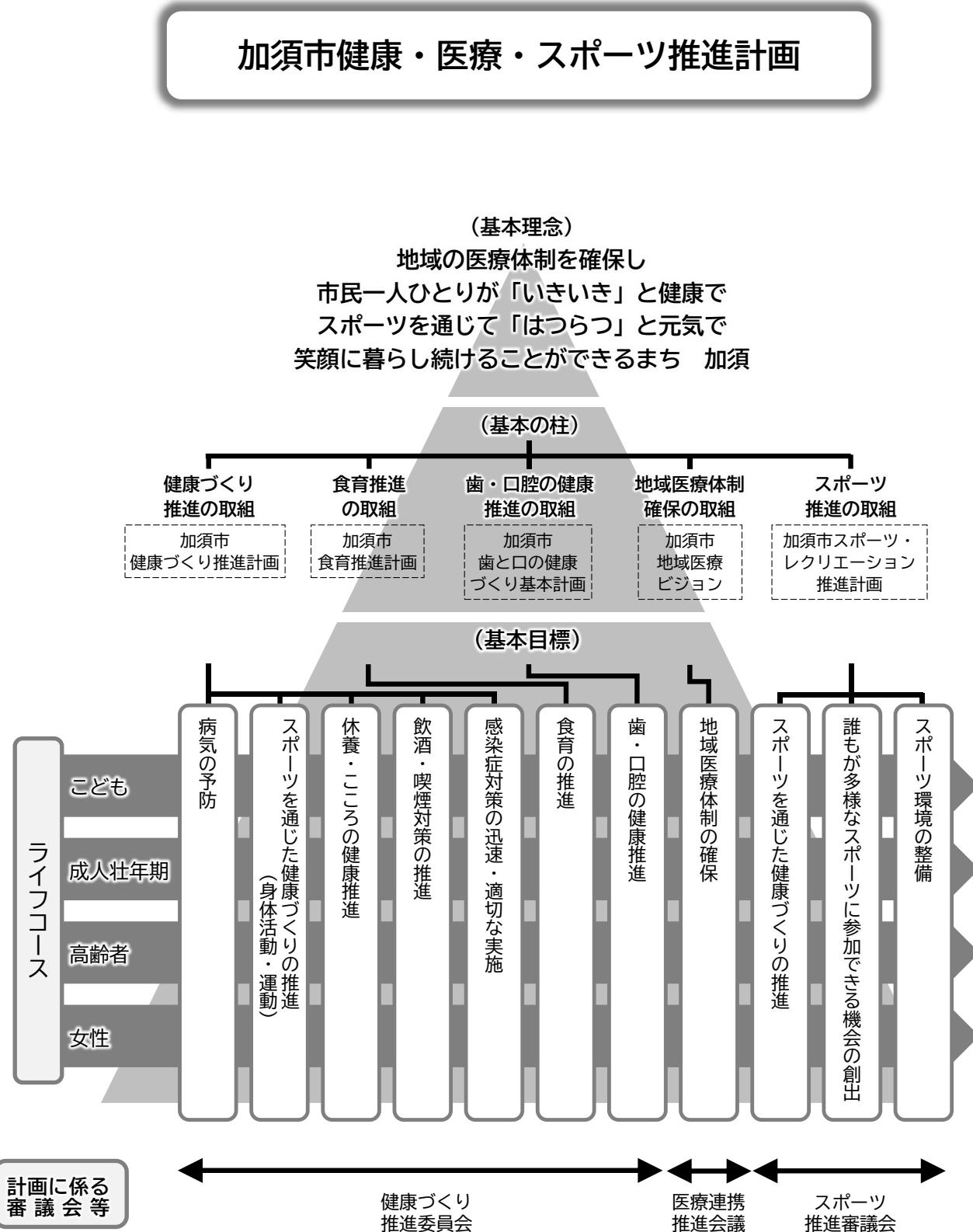
また、国が定めた第3期スポーツ基本計画で盛り込まれた、スポーツを「する」「みる」「ささえ」ことを真に実現できる社会を創るため、「つくる・はぐくむ」の視点から、社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれず柔軟に見直し、改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出すことを推進します。

3. スポーツ環境の整備

市内にある多くのスポーツ施設は、整備後30年以上が経過し老朽化による施設の劣化等が見受けられます。将来的な需要分析、人口減少、財政状況を踏まえ、令和8年3月策定の「加須市スポーツ施設整備計画」に基づき、スポーツ施設の統廃合や快適に利用できる機能整備等を検討するとともに、市スポーツ施設のほか、学校体育施設、彩の国KAZOヴィレッジ、総合型地域スポーツクラブとの連携など、幅広い視点からスポーツ・レクリエーションに親しめる場の活用を推進します。

第3節 計画の体系

以下に、上で示した基本理念、基本目標に基づいた体系図を示します。



以下に、前ページの体系図に対応し第2編で展開する、本計画の構成を示します。

第1章 健康づくり推進の取組【加須市健康づくり推進計画】

基本目標1 病気の予防

1. 生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進
2. 検（健）診の重要性の普及啓発
3. 妊産婦と子どもの健康づくりの推進

基本目標2 スポーツを通じた健康づくりの推進（身体活動・運動）

1. 身体活動と運動習慣の形成

基本目標3 休養・こころの健康推進

1. こころの健康に関する教育・啓発
2. 相談支援体制の充実
3. 地域活動等の社会参加の促進

基本目標4 飲酒・喫煙対策の推進

1. 節度ある飲酒の啓発及び禁煙と受動喫煙の防止

基本目標5 感染症対策の迅速・適切な実施

1. 感染症予防対策の推進

第2章 食育推進の取組【加須市食育推進計画】

基本目標1 食育の推進

1. 健康な身体を育む
2. 食の正しい知識を養い、豊かな心を培う
3. 食を通じて自然に健康になれる環境づくり

第3章 歯・口腔の健康推進の取組【加須市歯と口の健康づくり基本計画】

基本目標1 歯・口腔の健康推進

1. 歯科疾患の予防
2. 生活の質の向上に向けた口腔機能の獲得・維持・向上
3. 定期的な歯科検（健）診及び保健指導の推進
4. 歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健の推進

第4章 地域医療体制確保の取組【加須市地域医療ビジョン】

基本目標1 地域医療体制の確保

1. 地域医療連携の推進
2. 地域医療資源の確保
3. 救急医療体制の充実

第5章 スポーツ推進の取組【加須市スポーツ・レクリエーション推進計画】

基本目標1 スポーツを通じた健康づくりの推進

1. ライフコースに応じたスポーツの推進
2. 誰もが楽しめるスポーツの推進

基本目標2 誰もが多様なスポーツに参加できる機会の創出

1. スポーツ人材の充実
2. トップスポーツチーム等を身近に感じる機会の充実
3. 多彩なスポーツ大会、イベントの誘致・開催

基本目標3 スポーツ環境の整備

1. スポーツに親しめる場の充実

第4節 SDGsにおける17の目標と本計画の基本目標の対応

項目	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー
							
1-1 病気の予防			●	●			
1-2 スポーツを通じた健康づくりの推進（身体活動・運動）			●				
1-3 休養・こころの健康推進			●				
1-4 飲酒・喫煙対策の推進			●				
1-5 感染症対策の迅速・適切な実施	●	●	●				
2-1 食育の推進			●				
3-1 歯・口腔の健康推進			●				
4-1 地域医療体制の確保			●				
5-1 スポーツを通じた健康づくりの推進			●	●	●		
5-2 誰もが多様なスポーツに参加できる機会の創出			●	●	●		
5-3 スポーツ環境の整備			●				

8 成長・雇用	9 イノベーション	10 不平等	11 都市	12 生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段
									
									●
									●
									●
									●
●	●								●
									●
									●
●									●
		●							●
		●							●
			●						●